

ムトス飯田まちづくり 活動報告集



ムトス飯田



第31回ムトス飯田賞
天龍峡昭和乙女の会



第31回ムトス飯田賞
りんご並木に花を植える会

平成27年度
ムトス飯田推進委員会

「ムトス」という言葉は、広辞苑の最末尾の言葉「んとす」を引用したもので、「…しようとする」という意味が込められており、行動への意志や意欲を表す言葉です。

飯田市は、昭和57年3月に市が作成した「10万都市構想」において、理想とする都市像の実現に向けての行動理念・合言葉として「ムトス」を使用しました。

飯田市自治基本条例（平成19年4月1日施行）にも、まちづくりに進んで参加するムトスの精神について謳われております。「ムトス」を地域づくりの合言葉にして、私たち一人ひとりの心の中にある「地域を愛する想い、自分ができることからやってみよう」とする自発的な意志や意欲、具体的な行動をあらわし、住みよいまちづくりをめざしています。

ムトス飯田表彰事業は、「ムトス飯田の精神を広めるために役立ててください」という一市民の寄付が契機となり、昭和60年度に創設されました。以来、「ムトスの精神」が際立ち、飯田の将来に向けて示唆的で主張ある活動をしている団体・個人を表彰してきました。この賞には、受賞者のムトスの活動をたたえ励ます気持ちと、受賞者の生き生きとした活動の姿が、私たち一人ひとりの秘めているムトスを呼び起こし、市民活動が発展していくことへの「期待」が込められています。ムトス飯田賞は、創設から今回の第31回までに、66団体と2個人に授与され表彰されております。

ムトス助成事業は、平成3年度からふるさと創生の1億円を基金として、公益的な地域づくり活動を支援するために、独創的で波及効果のある地域づくりの活動に対して助成事業を開始しました。毎年、団体・個人からの助成金申請に対して、会長（飯田市長）と各分野で活動する市民でつくる「ムトス飯田推進委員会」が審査し、ムトスの精神にふさわしい団体等に助成をしています。平成26年度までに411の団体・個人の活動を支援してきました。

飯田市のまちづくりは、多様な主体の協働により、団体や個人、NPO・NGO、各地区のまちづくり委員会などに支えられています。社会経済状況が好転に向かう兆しが見え隠れする昨今、市民協働においても益々の広がりが期待されています。市民を軸に、多様な主体が地域で連携して取り組む「結い」が、今後の飯田市のまちづくりには大変重要と思います。

ムトス飯田推進委員会では、市民の皆様の活動状況を広く情報提供して、今後のまちづくりや協働の参考にしていただくよう、ムトス飯田に関係する団体等を中心にした「活動報告集」を毎年発行しています。新たな繋がりや構築や連携、地域づくり活動の一助としていただければ幸いです。

この活動報告集を作成するにあたり、情報提供をいただきましたムトス飯田助成団体、歴代ムトス飯田賞受賞団体、まちづくり委員会等及びNPO法人の皆様のほか、ご協力いただきました方々に、深く感謝を申し上げます。

皆様のご活躍と、今後の更なるご発展を心よりご祈念申し上げます。

平成28年2月

ムトス飯田推進委員会

— 目 次 —

I 第31回 ムトス飯田賞受賞団体のご紹介	ページ
・ 天龍峡昭和乙女の会	1
・ りんご並木に花を植える会	2
II 平成27年度 ムトス飯田助成事業 助成団体活動報告	ページ
まちづくり・地域づくり応援事業	
・ 川路8区	3
・ 中郷自治会	5
・ 千代野外音楽祭実行委員会	7
・ NPO法人南信州クラブ	9
・ 羽場まちづくり委員会 振興部	11
・ 天龍峡マルシェ実行委員会	13
・ りんご並木に花を植える会	15
・ 権現堂参道桜並木整備プロジェクト委員会	17
・ 炭窯夢倶楽部	19
・ 松尾郷土芸能まつり実行委員会	21
・ 小沢川小水力発電事業体設立準備委員会	23
・ NPO法人国際りんご・シードル振興会	25
・ 冒険遊び場プロジェクトinいいだ	27
・ 羽場セントラルパーク愛護会	29
・ 下黒田東有志の会「繫」	31
・ 千代河鹿がえるまつり実行委員会	33
・ やらまいかの会	35
・ 天龍峡この指とまれ	37
・ 上村まちづくり委員会 環境衛生委員会 (ヤナギラン)	39
・ 上村まちづくり委員会 環境衛生委員会 (ヤマメ)	41
・ 天龍峡観光開発整備推進協議会	43
・ 麻績の里振興委員会	45
・ 駄科りんの会	47
・ 笑ったり寄ったり	49
・ いいださんぽ会	51
・ 丸山まちづくり委員会	53
・ 上久堅公民館	55
・ りんご並木コンシェルジュ	57
多様な主体が連携する協働活動	
・ 竜丘地域自治会 (児童自由画保存顕彰委員会)	59
・ 龍江四区地域づくり委員会・NPO法人七和の会 「龍江4区の元気を創造する活動」	61
・ 東野まちづくり会議・橋南まちづくり委員会・橋北まちづくり委員会「防犯カメラ設置」	63
・ 橋北面白倶楽部「プロジェクトンマッピング」	65
・ NPO法人南信州おひさま進歩「プロジェクトンマッピング」	67
・ 上久堅地区まちづくり委員会「神ノ峯城史跡整備事業」	69
・ 神ノ峯活性化委員会「神ノ峯城史跡整備事業」	71

Ⅲ 市民活動団体のご紹介（情報提供いただいた団体）

1 ムトス飯田賞 受賞団体（受賞年度順）

			ページ
・ 飯田東中学校 学友会	昭和60年度	第1回受賞	73
・ 伊那史学会	平成元年度	第5回受賞	74
・ 鼎壮年団	平成4年度	第7回受賞	75
・ 飯田少年少女合唱団	平成9年度	第13回受賞	76
・ 千代小学校 児童会	平成9年度	第13回受賞	77
・ 飯田市連合婦人会	平成11年度	第15回受賞	78
・ 上飯田夕市グループ	平成12年度	第16回受賞	79
・ 飯田観光ガイドの会	平成12年度	第16回受賞	80
・ 朗読奉仕の会「声の輪」	平成13年度	第17回受賞	81
・ 飯田子ども劇場	平成13年度	第17回受賞	82
・ 黒田人形保存会	平成14年度	第18回受賞	83
・ 飯田交響楽団	平成15年度	第19回受賞	84
・ 科学工作教室推進研究会	平成16年度	第20回受賞	85
・ 下栗里の会	平成17年度	第21回受賞	86
・ 秋葉街道を愛する会	平成20年度	第24回受賞	87
・ 杵原学校応援団	平成20年度	第24回受賞	88
・ おもしろ科学工房	平成21年度	第25回受賞	89
・ 麻績の里振興委員会	平成21年度	第25回受賞	90
・ 遠山山の会	平成22年度	第26回受賞	91
・ 社会医療法人栗山会 飯田病院	平成22年度	第26回受賞	92
・ 北方古老に聞く会	平成23年度	第27回受賞	93
・ NPO法人 飯田ボランティア協会	平成23年度	第27回受賞	94
・ みんなの家 ぬくぬく	平成24年度	第28回受賞	95
・ 南信州竹宵の会	平成24年度	第28回受賞	96
・ 大宮通り桜保存会	平成25年度	第29回受賞	97
・ 南信州獅子舞フェスティバル実行委員会	平成26年度	第30回受賞	98
・ 長野県飯田OIDE長姫高等学校 高校戦隊テックレンジャー	平成26年度	第30回受賞	99
・ 地域ぐるみ環境ISO研究会	平成26年度	第30回受賞	100
・ NPO法人 南信州おひさま進歩	平成26年度	第30回受賞	101

2 ムトス飯田助成事業 平成25、26年度の助成団体

	ページ
・ キッズ山本大作戦推進委員会	102
・ 花依	103
・ 龍江天龍峡桜街道さくら並木愛護会	104
・ 薪人	105
・ りんご並木iプロジェクト実行委員会	106
・ 遠山郷観光協会	107

3 まちづくり委員会等	ページ
・ 橋北まちづくり委員会	108
・ 橋南まちづくり委員会	109
・ 羽場まちづくり委員会	110
・ 丸山まちづくり委員会	111
・ 東野まちづくり会議	112
・ 座光寺地域自治会	113
・ 松尾地区まちづくり委員会	114
・ 下久堅地区まちづくり委員会	115
・ 上久堅地区まちづくり委員会	116
・ 千代地区まちづくり委員会	117
・ 龍江地域づくり委員会	118
・ 竜丘地域自治会	119
・ 川路まちづくり委員会	120
・ 三穂まちづくり委員会	121
・ 山本地域づくり委員会	122
・ 伊賀良まちづくり協議会	123
・ 鼎地区まちづくり委員会	124
・ 上郷地域まちづくり委員会	125
・ 上村まちづくり委員会	126
・ 南信濃まちづくり委員会	127

4 特定非営利活動法人（NPO法人）	ページ
・ よつば	128
・ あやめ	129
・ みんなの手	130
・ 飯伊学生防犯対策支援協会	131
・ 環境わくわく体験スクール	132
・ ひなた	133
・ 日和向晴会	134
・ 川路グリーンカルチャー	135
・ 緑のそよ風	136
・ 飯田ブルーベリー振興会	137

天龍峡昭和乙女の会

～「人心の美」を追求する女将たちの“おもてなし”～

旅館、観光農園、おみやげ店などを経営する女将(おかみ)たちが、かつて先人たちが努力し築き上げてきた名勝天龍峡のにぎわいを復活させようと立ち上がった。

天龍峡再生プログラムに掲げる「自然の美」「人為の美」「人心の美」をキーワードに、地域住民が一丸となって取り組む中、天龍峡昭和乙女の会は「人心の美」を具現化する活動を展開中。お客様に喜んでいただけるよう、遊歩道の清掃、伝統芸能・縁日などの催事に取り組んでいる。手作りの甘酒・お漬物ほか地場産品による接待は、個性豊かな魅力となって観光客にも大変喜ばれ、天龍峡を盛り上げている。

おそろいの法被姿、笑顔と心のこもったおもてなしは好評。研修を重ね、しぐさが一層磨かれて魅力が満ちている。女将の活躍は、頑張る女性たちの鑑となり、老若男女に元気と活力をもたらす。

今、天龍峡がおもしろくなっている。

◆代表者 北原 郁

◆発 足 平成20年度

◆会 員 20名



りんご並木に花を植える会

～ 敬愛と親しみを育む人々の広がり ～

りんご並木が毎年、色鮮やかな花々で彩られているのをご存知だろうか。

本会は橋南地区の住民やりんご並木に想いのある方々で構成され、飯田東中学校の生徒さんと連携して、りんご並木の景観向上に尽力してきた。初冬にチューリップ球根とパンジーの株をたくさん植えつけておくことで、春になると赤や黄色の可憐な花が一斉に咲き並び、やまびこマーチやゴールデンウィークにおいでになる市民や観光客の目を楽しませている。

植栽活動は地道であるが、徐々に賛同者や協力者を増やして取り組みの幅を広げてきた。年間を通じて、チューリップの球根の掘り取り作業のほか選別と外皮剥き作業そして備蓄管理までおこない、次の年の開花準備も入念に行なうことから、市民主導による環境美化活動のお手本と言えよう。

飯田市のシンボルであるりんご並木の保全および中心市街地の活性化に貢献し、四季折々、人々に安らぎと憩いの時間を提供している。

- ◆代表者 原 勉
- ◆発 足 平成14年度
- ◆会 員 30名



取組名称	マレットゴルフを通じコミュニティーの輪を広げる。
団体名	千登勢 ^{川路} 高齢者クラブ (8区マレットゴルフ場維持管理事業)
代表者氏名	(区長) 中島克臣
地区名	飯田市川路8区

取組みの目的	誰もが気軽に集まりながら健康推進を図る。 マレットゴルフを通じコミュニケーションを図り明るく楽しい憩いの場にする。
--------	--

具体的内容	区民大会には子供からお年寄り多勢の参加が盛大に実施 高齢者クラブの皆々による月例大会(4月～11月毎週毎月開催) 整備作業は毎月実施、年4回の除草作業(除草剤散布含む) 高齢者クラブ、執行委員合同で諏訪神社の除草、草刈実施
-------	--



説明 除草剤散布作業



説明 作業協力者



説明 作業の休憩時間



説明 除草剤散布作業

取組の経過	<p>4/11. マレットゴルフ場 オープンに向けて全員で整備作業実施</p> <p>5/7. 6/7. 同ゴルフ場の整備作業実施</p> <p>7/10. 日よけ及びテント修理</p> <p>7/15 コース内除草剤散布、土手草刈</p> <p>9/7. コース整備作業</p> <p>10/7 " "</p> <p>10/26 コース内除草剤散布、土手草刈</p>
取組の効果	<p>毎月整備にしている為、きれいに保たれている。</p> <p>作業中あるいは作業後は、全員でお茶を飲みコミュニケーションも活発になり輪の広がりを感じる。</p> <p>市民、区民の皆さんは気軽に使ってもらえる様に、活動が定着してきている様に感じる。</p>
今後の取組	<p>現在 国から土地（マレットゴルフ場の返却）を求められており、どの様になるのか不透明ではあるが、活動は続ける事に考えています。</p> <p>年間行事の中で、親睦旅行（日帰り）も計画されており、多くの元気で高齢者の方達に、口平のかけ更に活動を盛り上げたい。</p>

○取組経費 (単位:円)

	事業費総額(見込み)	125,520
	うち助成金(見込み)	87,000
主な経費内訳 (上位3項目)	自動噴霧器	125,520

*活動状況がわかる写真を入れてください。

*取組が完了していない場合は、取組経費は決算見込み額で記入してください。

その場合は、事業費総額及びうち助成金の()内に見込みと記入してください。

*この様式で助成金は確定しません。遅くとも3月13日までに実績報告書を提出してください。

取組名称	流宮岩(ながれみやのいわ)を活用した地域づくり (花桃の里整備事業)
団体名	中郷自治会
代表者氏名	自治会長 熊谷 金光
地区名	飯田市上村

取組みの目的	<p>中郷地区は、国道152号の沿線に位置しているにもかかわらず「素通りの中郷」といわれ、観光客が通過してしまっている。一昨年飯田美術博物館の坂本先生に依頼し、観光資源の発掘に取り組んできた結果、国道沿いある巨石が約2億年前の地層のかけらであると発見できた。非常に価値のある岩石であるため、この岩を活かした地域づくりに取り組み地域に元気を取り戻すことを目的に事業を実施した。</p> <p>今年度は、周辺及び対岸の斜面に花桃の苗を植栽し、花桃の里としての整備に取り組んだ。</p>
--------	--

具体的内容	<ul style="list-style-type: none"> ○花桃の苗の植栽 ○巨石周辺の整備
-------	--



説明 巨岩周辺に苗を植栽



説明 喫茶かみ駐車場入り口にも植栽



説明 対岸の急斜面への資材運搬



説明 急斜面は歩くのも大変です

取組の経過	<p>4月19日 花桃の植栽(地区住民26名参加)</p> <p>5月31日 巨石周辺の環境整備</p> <p>7月12日 流宮岩苔落とし作業</p> <p>9月13日 流岩周辺整備作業</p>
取組の効果	<p>南アルプスがユネスコエコパークに登録された以降、遠山郷地域の新たな魅力が発信された年であり、全国ジオパークの見学コースにも選ばれ情報発信をすることが出来た。</p> <p>さらにこの流宮岩は国道152号の沿線に位置するため目立ち、車をとめて見学するにも条件が良いことから、見学する人も数多く見受けられるようになり素通りの中郷と言われたが汚名を晴らすことが出来た。</p> <p>地域住民が一丸となり植栽や周辺整備を行い“自分のこと”と捉え、地域を盛り上げて行こうという機運になった。</p> <p>また、隣接する喫茶かみでは、岩をモチーフにしたクッキー“ロックッキー”を考案・販売するなど地区住民、事業所が一体となって取組ことができた。</p>
今後の取組	<p>巨石周辺及び対岸一体に花桃をさらに植え、環境整備を行う。また、四季を通じて楽しめるような環境づくりをしたいと考えています。</p>

○取組経費 (単位:円)

事業費総額(見込み)		40,770
うち助成金(見込み)		28,000
主な経費内訳 (上位3項目)	原材料費	40,770

*活動状況がわかる写真を入れてください。

*取組が完了していない場合は、取組経費は決算見込み額で記入してください。

その場合は、事業費総額及びうち助成金の()内に見込みと記入してください。

*この様式で助成金は確定しません。遅くとも3月13日までに実績報告書を提出してください。

取組名称	千代野外音楽祭
団体名	千代野外音楽祭実行委員会
代表者氏名	森山 賢治
地区名	飯田市千代

取組みの目的 「千代野外音楽祭」として開催し、千代地区に関係する様々の音楽ジャンルのプロやセミプロの演奏を聴く機会とし、千代地区の地区民が音楽に楽しむ機会とすると同時に飯田下伊那地区の人達にも千代地区に来て頂き、地区を知ってもらい、交流する機会とする。又「学輪飯田」や「ワーキングホリデイ」などで千代地区を訪れる全国各地の人達にも呼びかけ参加してもらうことにより、「自然と人情と文化の豊かな千代」を、音楽を通して理解して頂く機会とする。

具体的内容 飯田市千代地区にある「野外ステージ」を会場に、飯田ウエーブ「ザ・ファイナル」の入賞者や千代地区にゆかりのあるミュージシャンに、様々なジャンルのミュージックシーンを演出して頂き、千代地区を訪れたことのない飯田下伊那の皆様や、「学輪飯田」や「ワーキングホリデイ」で千代地区に関わりのある皆様に、更には多くの千代地区民に、この音楽祭を通じて千代地区の良さを感じ、又再確認して頂く、又飯田ウエーブに参加の皆様には出演、動員等のご協力をお願いし、援助して頂く。又多くの人達を動員する為に、楽しみの一環として、音楽+仕掛け花火、打上げ花火、屋台の設営も行う。



説明 千代野外音楽祭ポスター



説明 和太鼓演奏 トカラ



説明 千代山村広場観客席



説明 仕掛け花火

取組の経過	<p>3月27日 千代野外音楽祭実行委員会設立 4月30日 第1回実行委員会 自己紹介、全体会 5月20日 第2回実行委員会 出演者選考、出演プラン作成 6月 5日 第3回実行委員会 広報 チラシ、ポスター試作 6月16日 第4回実行委員会 屋台(出店者 メニュー)等 7月10日 第5回実行委員会 全体会 8月18日 第6回実行委員会 最終打ち合わせ 8月23日 第1回千代野外音楽祭実施 第1部 高校生のバンド演奏 第2部 アマチア、プロによる演奏 第3部 音楽+仕掛け花火、打上げ花火 会場には地区内、外約400名以上の観客、屋台の品も予定より早く完売、会場、ステージ一体となり盛大な音楽祭が出来ました。</p>
取組の効果	<p>この企画をきっかけに若い人と中高年の皆様との交流、地区民どうしの新たなつながりができました。又地元の「地域振興委員会」「くるみの会」「商工会千代支部」等に出店を協力して頂き、地区民にアピールできました。チラシ、ポスター等活用した結果地区外からの来客も多く千代を知って頂く機会となり、来年に向けての足掛かりとなりました。</p>
今後の取組	<p>○実行委員会の早期立ち上げ、(各区から選任し年齢層を幅広くする又女性委員を多く選任する) ○出演者の選任、(地元のアーティストを中心に様々なジャンルのアマチア、プロを選ぶ) ○集客、(実行委員を中心に各種団体との連携を強化し集客に努力する)</p>

○取組経費 (単位:円)

事業費総額		670,800
うち助成金		270,000
主な経費内訳 (上位3項目)	花火代	270,000
	音響、重機、発電機リース	259,200
	出演者謝礼	75,000
	その他	66,600

*活動写真を入れてください。

*取組が完了していない場合は、取組経費は決算見込み額で記入してください。

その場合は、事業費総額及びうち助成金の()内に 見込み と記入してください。

*この様式で助成金は確定しません。遅くとも3月13日までに実績報告書を提出してください。

取組名称	今田平河川敷 芝生化
団体名	NPO法人南信州クラブ
代表者氏名	小澤 健
地区名	

取組みの目的	<p>マレットゴルフ場の駐車場になっていて、普段あまり利用されていない河川敷のスペースを芝生化することにより、そこを地区のこどもたちの遊び場として有効活用し、また温暖化防止・砂塵防止に寄与するとともに、小学生ラグビーの大会・練習の開催場所として利用し、子どもたちの歓声が響く場所にしたいと考えるため。</p> <p>また、共同手作業による取り組みを通して地区の一体感の醸成とグラウンド・地域への愛着心を持てるようにする。</p>
--------	--

具体的内容	<p>実施した場所は既に平坦である事に加え、広さが約80m×50mあり、小学生ラグビーのコートが確保できる。そこを全国で行われている校庭緑化用の芝(ティフトン)を用いることで、芝生代も高麗芝と比較した場合短期間で安く、また散水設備もスプリンクラーではなく農業用散水設備を用いることで安価になる。</p> <p>河川敷であるため農薬を用いず、有機肥料を使用する。</p> <p>また、地区の大人やこどもたちそしてラグビースクールの親子が手作業で芝生を植える作業を行う。</p>
-------	---



説明	施肥作業	説明	芝植える作業
----	------	----	--------



説明	散水作業	説明	砂まき作業
----	------	----	-------

取組の経過	<p>5月10日 整地作業 5月11日 有機肥料(プライムアグリ)搬入、施肥・耕耘作業 5月16日 目印用の線引き作業、散水設備設置 5月23日 芝生植え作業 9月21日まで80日散水作業 6月14日 補植作業 9月21日 散水設備撤去 9月30日 目土用砂搬入 10月 9日 砂撒作業 12月 6日 同上 12月26日 同上 作業完了</p>
取組の効果	<p>ラグビースクールの親子だけではなく龍江地区の大人から子どもまでの有志の方々に芝植え作業を手伝っていただいた。地区内の多世代の方々が共に共通の目標を持って作業していただいたことにより地域の一体感の醸成とグラウンド・地域への愛着心につながった。そして、ボランティア精神の寛容に資することも出来たと感じている。</p> <p>残念ながら今年度中には肥料不足もあり全面芝にはならなかったが、地域の方々から楽しみにしている等の話を聞く事が多く、明るい地域作りに貢献できたものとする。</p>
今後の取組	<p>結果的に完成が年度をまたがってしまうことになったが、本格的な冬を迎える前に砂まき作業が終了したので、後は春になり芝が自然に伸びてつながるのを待つだけとなった。芝がつながった段階からは定期的な芝刈り作業に取りかかる。</p> <p>また、面積的にはスペースが残っているため2年後の平成29年度は残りの部分を芝生化していきたい。</p> <p>この度、今回の方法により安価に芝生化が出来ることの確証が得られた。今後この方法により保育園や学校を含め数多くの場所を芝生化する取り組みにつなげていき、リニア開通時には全国・全世界からスポーツを通して集まることが出来る施設環境と住んでみたいまちづくりに貢献していきたいと考える。</p>

○取組経費 (単位:円)

事業費総額(見込み)		456,384
うち助成金(見込み)		300,000
主な経費内訳 (上位3項目)	砂代	189,000
	肥料代	94,600
	施設(散水)施設代	172,784

*活動写真を入れてください。

*取組が完了していない場合は、取組経費は決算見込み額で記入してください。

その場合は、事業費総額及びうち助成金の()内に 見込み と記入してください。

*この様式で助成金は確定しません。遅くとも3月13日までに実績報告書を提出してください。

取組名称	サル去れ警備隊、囲いわな追い込みサル退治！
団体名	羽場まちづくり委員会
代表者氏名	佐々木 祥二
地区名	羽場地区

取組みの目的	<ul style="list-style-type: none"> ○当委員会(振興部)では26年度、有害鳥獣対策としてサル去れ警備隊を発足し、オレンジベスト着用して巡回し花火等でサルの追い払いを重ねている。 ○27年2月、飯田地区有害鳥獣対策協議会が正永町にサル囲いわな(棚)を設置した。今後は「追い払いから捕獲へ」と作戦を展開して、サル退治をしたい。 ○サルが農園や住宅地に近づかないよう、警備活動や被害を防ぐ対策を行う。
具体的内容	<ul style="list-style-type: none"> ○26年度のムトス助成金を活用し「サル去れ警備隊」の必要品を整備したが、オレンジベストも花火も足りない状況となった。現在65名の隊員が4つの地区においてチームを組み週1回約1時間の警備活動を実施している。 ○追い払いの効果も出てきてサルを見かけなくなったと言う声も聞くが、個体数は減っていないので今後は「サル囲いわな」を活用し「追い払いから捕獲へ」と作戦を展開する。 ○スタンプカードを作成し、警備活動ごとに押印スタンプして、10回押印(行動参加)で追い払い花火等と交換し隊員の意識啓発をする。 ○日常生活でサルを見かけた時は、近隣隊員に出動を依頼し、即時に追い払いを実施する



サル去れ警備隊用具



パトロール風景



平成27年7月17日学習会



平成27年11月22日講習会

取組の経過	<ul style="list-style-type: none"> ○年間 各地区警備隊班ごとに、週1回約1時間のパトロール実施 サルを見たらすぐ追い払う活動を行う ○4月 スタンプカードと煙火交換実施と、各班に煙火配布 ○5月8日 サル去れ警備隊活動計画作成 ○6月～ 警備隊ベストと動物駆除用煙火発注 ○7月17日 信大 泉山教授による学習会開催 34名参加 ○11月22日 煙火取扱い講習会の実施 44名参加 他地区(丸山・東野・切石・飯田地区有害鳥獣対策協議会)の活動報告の 発表と意見交換会を実施
取組の効果	<ul style="list-style-type: none"> ○活動は地域の連帯感や、サル去れの認知度も上がり隊員が増加した。 ○日常の追い払い活動と、飯田地区有害鳥獣対策協議会設置の「囲いわな」の活用により、サルの群れの出没が極端に減収した。 ○サル去れ活動の地区住民の関心と理解度が高まった。
今後の取組	<ul style="list-style-type: none"> ○各地区の警備隊と情報を交換し合い、連携して活動を行う。 ○広報等を通じて、警備隊の活動状況や成果を住民に知らせ、地域全体の理解を深め、より多くの住民に協力をいただく活動とする。 ○まちづくり委員会や各自治会でも鳥獣被害対策事業の予算化を行い、継続した活動が出来るように体制整備をする。 ○警備活動や追い払い活動に加え、果実等の取り残しをなくして餌場にしない対策をとり、隠れ場所をなくし、果樹園や畑を守る活動を検討する。 ○隣接する丸山地区や鼎地区とも情報を共有し、相互協力を行う。

○取組経費 (単位:円)

事業費総額(見込み)		242,107
うち助成金(見込み)		163,000
主な経費内訳 (上位3項目)	動物用駆除用煙火購入費用 550本	150,000
	煙火用フォルダー費用 15本	31,500
	警備隊用ベスト 20着	40,608
	その他 学習会費他	19,999

*活動状況がわかる写真を入れてください。

*取組が完了していない場合は、取組経費は決算見込み額で記入してください。

その場合は、事業費総額及びうち助成金の()内に見込みと記入してください。

*この様式で助成金は確定しません。遅くとも3月13日までに実績報告書を提出してください。

取組名称	天龍峡マルシェ開催
団体名	天龍峡マルシェ実行委員会
代表者氏名	北澤章博
地区名	天龍峡(川路・龍江)

取組みの目的	<p>落ち込んだ天龍峡を何とかしたい！ この思いに駆られた仲間が集まり、三遠南信自動車道開通をラストチャンスと位置づけ、天龍峡再生に寄与するために開催した。その為に年一回のイベントを開催し、天龍峡IC使用開始の暁には「南信州マルシェ」として南の飯伊地方まで網羅した情報発信をできるようにする。</p>
具体的内容	<ul style="list-style-type: none"> ・担当者会議の開催 ・テント市・クラフト市各部門委員会の内容調整(月1回) ・テント市・クラフト市」の部門委員会の開催(月1回) ・テント市(地元野菜・農産物加工品・浜松からみかん、お茶等)出店30 ・クラフト市54ブース ・アトラクション参加9団体 ・やぎの放遊 ・マスコミ事前説明(信濃毎日・南信州・中日(飯田支局及び本社)、飯田ケーブルTV等



説明 アトラクション・杜の学校



説明 テント市・浜松春の茶



説明 クラフト市・賑わう遊歩道



説明 ヤギ放遊・売木から

取組の経過	<ul style="list-style-type: none"> ・第1回実行委員会開催 27年1月23日 以後月1回定例開催 ・全体会議 5月14日、9月24日、10月19日 ・第2回天龍峡マルシェ開催 平成27年10月24日(土) ・反省会 11月18日
取組の効果	<ul style="list-style-type: none"> ・ハロウィンとの同時開催もあり多くの来客で久しぶりに天龍峡に活気が出た。 ・大勢の客様が来て地元商店街から「よかった・良かった」の声を多数聞いた。 ・地元中学生によるボランティア活動があり、地域と一体となった活動ができ学生にとっても望外な喜びと感じた模様 ・地元天龍峡以外の多くの人が実行委員会に加わり、広範囲な活動となった。特にクラフト市は主力となり活躍してくれたことは特筆すべきことであった。
今後の取組	<ul style="list-style-type: none"> ・反省会に出た意見を真剣に検討する中から次回に繋げることとする。すなわち、 ・龍江・川路と分散することによる集客力の低下及び開会式・アトラクションのギャラリーの少なさ ・駐車場の分散から来るシャトルバスの運行についての苦情 ・りんご観光の時期との重なり等から来る労力不足等等について早急に今年の実行委員会を立ち上げ、解決を図る ・将来は三遠南信自動車道天龍峡ICにおいて、南信州マルシェ(仮)が開催できるよう進める。

○取組経費 (単位:円)

	事業費総額	632,335
	うち助成金	300,000
主な経費内訳 (上位3項目)	宣伝費	186,104
	催事費(アトラクション・甘酒サービス・りんごクイズ)	133,844
	会場費	70,400

*活動状況がわかる写真を入れてください。

*取組が完了していない場合は、取組経費は決算見込み額で記入してください。

その場合は、事業費総額及びうち助成金の()内に見込みと記入してください。

*この様式で助成金は確定しません。遅くとも3月13日までに実績報告書を提出してください。

取組名称	りんご並木の周縁における花々の定植・景観美化活動
団体名	りんご並木に花を植える会
代表者氏名	原 勉
地区名	飯田市橋南地区・その他有志団体・個人・企業 活動拠点は「りんご並木の周囲」

取組みの目的	りんご並木は飯田市民の心の拠り所であり、かつての大火からの復興を象徴するシンボルとして、また観光拠点のひとつとして、今でも多くの人々が訪れる憩いの場所となっています。私たちはそんな地域を代表する場所の周囲にチューリップを中心とした花々を定植させることにより、当地の景観美化に努めています。もともと橋南地区に住む1人の方が自発的に始めた活動だったのですが、その輪が少しずつ広がり、今や飯田東中学校の皆さんの「並木活動」ともリンクし、多くの有志が参加する団体となりました。今後も私たちはりんご並木を花々で彩り、美しい飯田市、美しい「丘の上」を維持できるような環境作りを目指していきます。
具体的内容	◎昨年初冬にチューリップを中心とした花々を植え付けしました。 ■チューリップ球根約6,000球、パンジー500株 この花々は通常ゴールデンウィーク前後に満開となり、毎年「やまびこマーチ」や「ゆるキャラフェスタ」などの大きなイベント時にも来訪者や通行人の目を楽しませています。 ◎本年も開花後はチューリップ球根を一斉作業により掘り取り、収穫した球根は次年度も使えるように下処理をして備蓄する予定です。 ◎作業に合わせて周囲に生えた雑草などの除去作業も行い、りんご並木の環境保全に努めています。



説明 2015年春 開花の様子



説明 各ブロックごとにチューリップの色を変えています



説明 球根植えの様子



説明 東中の皆様との合同ミーティング(はじめの会)の様子

取組の経過	<p>[1年間の主な活動]</p> <p>◎5月下旬:開花したチューリップ球根の掘り取り作業、および雑草の除去作業、清掃等 【毎回約40名参加】(飯田東中学校との合同作業)</p> <p>◎5月下旬:掘り取ったチューリップ球根の選別・外皮むき作業</p> <p>◎6月～11月:次年度に向けたチューリップ球根の備蓄管理</p> <p>◎11月～12月:活動支援の募集活動</p> <p>◎12月初旬:チューリップ、その他花々の植付け作業 【毎回約40名参加】(飯田東中学校との合同作業)</p> <p>◎1月～冬季:植えた土壌の状態確認、大雪時における対応など</p> <p>■球根の掘り取り作業、植え付け作業は、いずれも飯田東中学校の皆様と日程を事前に調整して、摘花作業やりんごの収穫作業に合わせ、相互に協力し合いながら行っています。</p> <p>■春の「球根掘り取り作業」、そして初冬の「球根植え作業」の2大作業は、いずれも地元在住の皆様、地元企業の皆様、その他有志を含め、総勢約40名の人海戦術によって行っています。</p>
取組の効果	<p>◎りんご並木の周囲が色鮮やかなチューリップ、さらにその他の花々で彩られることにより、一層の景観向上が図られ(添付写真を参照下さい)、当地を訪れる来訪者、通行者、さらに地元の方々にとっての憩いの場所となっていると自負しています。</p> <p>◎飯田市の象徴「りんご並木」の環境が整備され、中心市街地活性化の一助となっています。</p> <p>◎飯田東中学校の「並木活動」を地元市民がサポートするという好循環が自然と生まれ、世代や住所、所属を超えた、新たなユニバーサルの協力体制が広がっています。</p>
今後の取組	<p>◎当会の周知活動を活発化し、地域や属性によらず、賛同者の和を広げていきたい。</p> <p>◎賛同して頂いた方が気軽に作業に参加できるように、用具の整備と充実を図っていきたい。</p> <p>◎チューリップ主体の定植を軸としながらも、他の花種を今まで以上に増やし、さらなる景観美化を構築していきたいと考えています。</p> <p>◎開花時期に合わせた鑑賞会、写真撮影会などの企画実施。</p> <p>◎収穫球根の一部を市民に頒布できるような催しも企画していきたい。</p> <p>◎当会のホームページの開設。</p> <p>◎飯田東中学校と連携を確固たるものとし、並木活動への支援体制をさらに強化していきたい。</p>

○取組経費 (単位:円)

事業費総額(見込み)		260,000
うち助成金(見込み)		182,000
主な経費内訳 (上位3項目)	チューリップ球根の購入費	80,000
	スコップ・鍬ごてなどの補充・買替費	70,000
	パンジー株購入費	50,000
	その他	60,000

取組名称	権現堂参道桜並木整備プロジェクト
団体名	権現堂参道桜並木整備プロジェクト委員会
代表者氏名	佐々木 祥二
地区名	羽場地区

取組みの目的
 元山白山神社参道の桜並木は、飯田大火以前から親しまれた桜の名所であったが、老木化が進み、樹木医の診断では伐採を余儀なくされている。住民の思い出深い拠り所であり、神社祭典時には13自治会の神輿がきおう場所なので、今後は花と桜のエリアに再生したい。土地所有者(神社関係者)の承諾と協力応援体制は得ている。関係者が結集し「権現堂参道桜並木整備プロジェクト委員会」を立ち上げ、数年かけて、住民みんなで桜並木一帯を整備する。市道の改良も必要なので、行政にも参画頂き、りんご並木の再整備のようにデザインコンペを取り入れ進めたい。本件は羽場地区「羽場未来構想」の重点施策である、「健康増進&交流エリア」と成るよう、羽場セントラルパークと連動した整備を目指す。

具体的内容

- 先進地視察 :4月～5月に龍江天竜峡桜街道や川路駅周辺を視察する。
 - ・川路まちづくり委員会が整備した「ウォーキングロード」について、整備内容とウォーキング実施状況の動向など見聞する。
 - ・桜の名所づくりアドバイザー森田和市氏を講師に学習会を開催する。
- プランニング会議
 - ・桜並木からセントラルパークまで「健康増進&交流エリア」と位置づけで、どのように再生整備可能か検討する。
- 老木桜の伐採と意識付け
 - ・老木化した桜を伐採するにあたり、「権現堂桜お別れ会」を開催し、地区住民に桜並木再生の意識啓発をする。また倒木を再利用した木工品の記念品もつくる。



川路まちづくり委員会の指導



川路ウォーキングロードの視察



龍江天竜峡桜街道の視察



羽場地区「健康増進&交流エリア」予定地

取組の経過	<p>○4月29日 ・龍江桜並木と川路ウオーキング視察と研修 ・「権現堂参道桜並木整備プロジェクト委員会」設立総会開催 役員選出と規約・予算・今後の進め方等討議を行った。</p> <p>○6月23日 ・権現堂参道の桜並木の再生に関する地元説明会開催</p> <p>○6月26日 ・羽場地区市政懇談会にて本プロジェクトの内容説明を行った。</p> <p>○8月21日 ・プロジェクト委員会開催</p> <p>○10月19日 ・プロジェクト委員会開催</p>
取組の効果	<p>○視察研修において、権現堂桜並木の再生をどうするか意識が高まった。</p> <p>○地元説明会を実施した結果、一部近隣住民から現状の桜並木管理状態が悪く、害虫や落ち葉等の問題が指摘された。権現堂参道の再生自体については賛成されている。</p>
今後の取組	<p>○市(建設部)に入ってもらい、並木を含む市道全体について協議検討を行う。</p> <p>○桜の専門家に聞いて学習を深め、桜の賛否をはじめ、適する機種等を検討する。</p> <p>○過去の桜並木の歴史等地区内の関係者の意見を聞きながら進める。</p> <p>○参道の再生後については、管理部署と管理方法を明確にする。</p>

○取組経費 (単位:円)

事業費総額(見込み)		221,000
うち助成金(見込み)		164,000
主な経費内訳 (上位3項目)	視察研修先への手土産	11,565
	視察昼食代	23,840
	宮本町集会所使用料	200

*活動状況がわかる写真を入れてください。

*取組が完了していない場合は、取組経費は決算見込み額で記入してください。

その場合は、事業費総額及びうち助成金の()内に見込みと記入してください。

*この様式で助成金は確定しません。遅くとも3月13日までに実績報告書を提出してください。

取組名称	森のめぐみ体験 炭焼きをしっとるかな
団体名	炭窯夢倶楽部
代表者氏名	北澤 建雄
地区名	飯田市千代

取組みの目的	<p>未来を担う子供達に、地域の宝である山の魅力と炭焼きに注目し、体験や交流を通して伝えていく。森の恵みを肌で感じることで里山の再生、活用を実感してもらうための炭焼き窯を作る。又、窯を使い炭焼き体験をしてもらう。</p>
具体的内容	<p>実際の炭焼きとはどういうものかを見学できる窯(炭150kg～200kg生産可能)と体験者自身が炭が出来上がるまでを体験できる窯(炭30kg生産可能)を作り、体験してもらう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・広く活用してもらう窯として看板設置や広報をして民泊の共通プログラムとして活用する。 ・小学生の体験学習に利用してもらう。 ・木炭を使った食事づくり体験を実施する。



説明 新設した2基の炭窯



説明 炭窯に木を詰める作業



説明 樹種による炭の断面調査



説明 炭で焼いたサンマを味わう

取組の経過	<p>8月頃より少しづつ作り始めて、9月の中旬にはほぼ出来上がりました。 本格的な窯(長さ160cm×幅130cm×高さ85cm) 体験用の窯(長さ90cm×幅60cm×高さ60cm) 9月30日には「ふるさと夢学校」の一環として千代、千栄、上久堅小学校の生徒7名が来て、炭の出来る経過を説明して、実際に木を詰め点火する行程までを行いました。 11月13日には千代小学校5年生5名が訪れ、炭焼きの実践に挑戦しました。(事前に教室にて炭に関わる様々の学習をした)その後、12月2日に炭出しを行いました。</p>
取組の効果	<p>木炭を使った食事体験の一つにサンマを焼いて食べたのですが、こんなおいしいサンマは初めて食べたと喜んでくれました。子供達がとっても真剣に取り組んでいる姿がとても印象的でした。</p>
今後の取組	<ul style="list-style-type: none"> ・倶楽部だけでなく、広く活用してもらおう窯として看板の設置や広報活動を行う。 ・民泊の農家の共通プログラムとして活用してもらおう。 ・木炭を使った食事づくりを通して、林業への興味を深めてもらう。 ・活動の活かし方や共働が広がる方法を今後考えていく。

○取組経費 (単位:円)

事業費総額(見込み)		303,912
うち助成金(見込み)		200,000
主な経費内訳 (上位3項目)	玉石	83,200
	赤土	29,200
	垂木、貫	25,600

*活動状況がわかる写真を入れてください。

*取組が完了していない場合は、取組経費は決算見込み額で記入してください。

その場合は、事業費総額及びうち助成金の()内に見込みと記入してください。

*この様式で助成金は確定しません。遅くとも3月13日までに実績報告書を提出してください。

取組名称	第2回 松尾郷土芸能まつり
団体名	松尾郷土芸能まつり実行委員会
代表者氏名	実行委員長 小木曾 博人
地区名	松尾地区

取組みの目的

松尾地区内の各区に残る郷土芸能には、獅子舞やお囃子、太鼓など様々なものがあるが、他区の住民が観覧する機会が少ない実態がある。
 こうしたことから、地区内の伝統芸能等が一堂に会し、共演する祭りを開催することにより、それぞれの郷土芸能の保存伝承、後継者の育成につなげるとともに、住民の郷土意識の高揚や地区の一体感の醸成のため開催した。
 また、この催しを通じて、鳩ヶ嶺八幡宮を中心とした八幡町旧街道が見直され、新たな住民の交流や賑わいが創出されることを目指している。

- 具体的内容
- 開催日時 4月18日(土) 12:30~16:00
 - 会場 鳩ヶ嶺八幡宮境内及び八幡町旧街道
 - 郷土芸能団体等の演舞
 - ・松尾地区内の郷土芸能等10団体(獅子舞、お囃子、太鼓等)の出演
 - 交流イベント
 - ・緑ヶ丘中学校吹奏楽部、松尾小学校金管バンドの演奏
 - ・商工会議所松尾支部、JAみなみ信州松尾支所による五平餅、豚汁等の物販催事の開催
 - ・写生大会、フリーマーケットの開催
 - ・築200年の犬塚邸の公開



説明 会場の賑わい(緑ヶ丘中吹奏楽部)



説明 初参加の子どもたち(上溝)



説明 天狗(寺所)と稚児(代田)のハイタッチ



説明 完売した出店(商工会、JA)

取組の経過	<p>平成26年8月27日 松尾郷土芸能まつり準備会(開催趣旨、開催内容、組織体制等)</p> <p>9月30日 第1回実行委員会(開催趣旨、まつり名称、開催内容等)</p> <p>11月4日 第2回実行委員会(参加団体確認、専門部会の編成等) ※総務・芸能・催事・会計の4部会を開催して詳細を検討。</p> <p>12月17日 第3回実行委員会(各部会からの報告、協賛金等)</p> <p>平成27年1月19日 第4回実行委員会(全体調整)</p> <p>2月19日 第5回実行委員会(全体調整)</p> <p>4月16日 スタッフ会(日程、業務分担、留意事項の確認)</p> <p>4月18日 松尾郷土芸能まつり開催</p> <p>5月26日 反省会</p> <p>6月4日～ 写生大会絵画展(松尾公民館ロビー)</p>
取組の効果	<p>祭り当日は天候にも恵まれて、多くの来場者があり、地区内に残る郷土芸能等を再認識することができた。</p> <p>また、まちづくり委員会や郷土芸能団体、商工会議所松尾支部、JAみなみ信州など、イベントを創り上げる過程から、多くの皆さんに関わっていただき催しを実施できたことが大きな成果である。</p> <p>緑ヶ丘中学校、松尾小学校の児童・生徒の皆さんに大勢参加していただいたが、郷土意識の醸成にもつながり、人づくりの観点からも成果があったと考えます。</p>
今後の取組	<p>今回は2回目の開催であったが、伝統芸能の保存伝承のため、祭りの継続実施を検討するとともに、様々な機会を捉えて郷土芸能団体等の活性化を図りたい。</p>

○取組経費 (単位:円)

事業費総額(見込み)		1,420,439
うち助成金(見込み)		244,000
主な経費内訳 (上位3項目)	出演団体交付金	965,000
	音響機器設置費	130,000
	広告宣伝費	73,440

*活動状況がわかる写真を入れてください。

*取組が完了していない場合は、取組経費は決算見込み額で記入してください。

その場合は、事業費総額及びうち助成金の()内に見込みと記入してください。

*この様式で助成金は確定しません。遅くとも3月13日までに実績報告書を提出してください。

取組名称	上村御膳プロジェクトの推進
団体名	小沢川小水力発電事業体設立準備委員会
代表者氏名	委員長 前島 衛
地区名	飯田市上村地区

取組みの目的	<p>上村地区の地域活性化の切り札となる小沢川小水力発電事業からの売電収益を、上村地区の活性化に活用する地域振興事業化を検討しています。具体的には、売電収益を活用して、上村の食文化を活かした「上村御膳」を開発し、四季折々の食を、上村に訪れた方々に提供して地域を活性化していくコミュニティビジネスの創出を目指しています。</p>
具体的内容	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の伝統食である「三角寿司」を中心とした上村御膳の開発を目指します。これまで検討してきた三角寿司の試験販売を行います。この結果を踏まえて、専門家のアドバイスを受けながら、三角寿司を中心とする上村御膳に必要な地域の食材や栄養、健康といった訪問者が興味を持つような付加価値づけについて検討します。 ・この検討経過の中で、地域の伝統食について研究し、上村御膳の付加価値づくりにもつなげていきます。 ・また単に食の提供にとどまらず、食の提供を通じた地域の農業の6次産業化からの活性化につながる取り組みの方策について検討します。



説明 三角寿司の試験販売(はんぱ亭)



説明 ムトス飯田交流会での三角寿司試食



説明 長野原そばの会みなさんとの交流



説明 専門家を交えての検討会

取組の経過	<p>5月29日～30日 部会での検討会 上村御膳第一弾として販売促進する予定の「三角寿司」の実験販売の振り返りと、上村御膳プロジェクトの方向性と今後の進め方について検討しました。</p> <p>7月3日～4日 部会での検討 歴史から見た上村の伝統食についてと前回に引き続き、上村御膳プロジェクトの方向性と今後の進め方について検討しました。また、翌日にはムトス飯田事業助成金交付団体が一堂に会した交流会にも参加し、三角寿司の試食を行いました。</p> <p>8月29日～30日 長野原そばの会の皆さんとの意見交換・交流会 ムトス飯田交流会に参加した郷土食を活用して地域づくりに取り組む団体との懇談会として、市内竜丘地区で活動する「長野原そばの会」の皆さんとの意見交換を行いました。この交流を踏まえて、地域の活動として上村御膳プロジェクトをどのように実施する課についても意見交換を行いました。</p> <p>9月29日～30日 部会での検討 三角寿司に続く上村御膳のメニュー開発に着手しました。またこれを地域の理解を得ながら進めていくための手法についても検討しました。</p> <p>11月16日～17日 部会の開催 地域住民も巻き込みながら上村御膳プロジェクトを推進する必要があるとの観点から検討した地域の連携体制も含めて、プロジェクトの推進体制とそれを踏まえた今後の進め方について検討を重ねました。</p> <p>以下実施予定 2月 部会の開催 3月13日 上村御膳の活動報告会</p>
取組の効果	<ul style="list-style-type: none"> ・上村御膳プロジェクトのキャッチフレーズ(キーワード)は「上村の活性化は「食」から」という共通認識を持つことができました。これにより、上村地区の伝統食マップを作成することができました。これをもとに、三角寿司にとどまらず、クルミ、しょうゆまめ、エゴマ等を活用した新たな上村御膳メニューの開発にも着手できました。 ・招聘した専門家である石原綾子氏が栄養士、食育指導士の資格を持ち、食の6次産業化の専門家として農水省の事業にも関わっていらっしゃるため、中身の濃いアドバイスを受けられました。 ・長野原そばの会の皆さんとの意見交換会、交流会を通じて、同じ地域で食からの地域活性化に取り組む新たなつながりができ、その先進的な取り組みが上村御膳プロジェクトの今後の進め方に大いに参考になりました。
今後の取組	<p>地域内での料理(上村御膳)の提供 ⇒空き家等を活用(拠点)した上村御膳の提供、ここに来なければ食べられない料理を上村ならではのおもてなし(例:上村の木材を使った食器や伝統食器等)で提供する。このことを通じて、上村の魅力情報を発信し、リピーターを増やす等して「上村ファン」をつくります。</p> <p>上村御膳を提供する事業体(組合や会社等)の設立 ⇒今後、販売していくにあたって発生する売上金の管理やプロジェクトを推進していくための母体となる組織化を目指します。</p> <p>オール上村体制での上村御膳プロジェクトの推進 ⇒現在上村地区で行われている遊休農地活用プロジェクトとも、地域おこし協力隊員の仲立ちで連携して、上村御膳の食材の地域内確保に努めつつ、地域の農家にも応援してもらえるような仲間作りを進めます。</p>

○取組経費 (単位:円)

事業費総額(見込み)		292,000
うち助成金(見込み)		198,000
主な経費内訳 (上位3項目)	専門家謝礼(6回分)	234,000
	三角寿司ロゴマーク作成	40,000
	上村御膳お披露目イベント経費	18,000

*活動状況がわかる写真を入れてください。

*取組が完了していない場合は、取組経費は決算見込み額で記入してください。

その場合は、事業費総額及びうち助成金の()内に 見込み と記入してください。

*この様式で助成金は確定しません。遅くとも3月13日までに実績報告書を提出してください。

取組名称	りんご及びシードルによる地域経済活性化研究事業
団体名	NPO法人 国際りんご・シードル振興会
代表者氏名	後藤 高一
地区名	

取組みの目的	<p>リンゴのまち、シードルの聖地飯田を実現するには、ポム・ド・リエゾン資格者の活動により、リンゴ・シードルによる地域振興、経済活性化に関心がある事業者や市民団体をつなぎ、それぞれの立場の関心を、行動に結びつけ、事業化することが必要である。●市民が自らの選択で、リンゴ食べ、シードル等飲料を飲む文化の創造 ●リンゴのまち飯田の市内外への周知 ●シードル醸造機能の市内誘致に関する研究のため、以下の事業を実施した。</p> <p>(1) 飯田市民を対象とした、クッキングアップル及びシードルの食文化の提案 (2) 持続可能なリンゴ生産を目的とする加工用途別リンゴ栽培の研究</p>
--------	--

具体的内容	<p>(1) 飯田市民を対象とした食文化の提案 ア クッキングアップル・レッスン: 市内においてリンゴを調理して食す文化を普及し、リンゴの地域内消費を促すとともに、市外への発信に耐える食文化の構築へつなげるため、飯田下伊那産リンゴを使った料理教室を実施した。●市民向け講座:9月、10月。 ●プロ向け:平成28年2月に飯伊調理師会研修会にて、リンゴを使った料理を提案。フランスより講師の招聘及び企画立案を行う。イ 飯田りんご等出展: 市民に広くシードルを認知してもらうために、飯田りんご、南信州酒メッセ等既存の催事に出展し、試飲提供を行った。</p> <p>(2) リンゴ生産専門研究会 リンゴ生産にかかる市内農家等を対象に、シードルや製菓等加工用途品種や栽培方法を研究し、持続可能なリンゴ生産について検討する。加工用品種栽培先駆者による講義、自己商標酒造卸売業免許の勉強会、委託醸造先の事例として日本ワイン農業研究所の視察を実施した。</p>
-------	--



説明 クッキングアップルレッスン



説明 りんご等出展



説明 生産者研究会①先進農家講義



説明 生産者研究会②東御市視察

取組の経過	<p>(1) 女子ポム・ド・リエゾン プロデュース リンゴのまちのシェフから学ぶ シードルと一緒に楽しむ クッキングアップルレッスン(一般向け講座) : (1)9月12日(土)15時~17時「リンゴでイタリアン」では、旬の6種類リンゴ品種の食べ比べ及び解説、ナチュラルキッチンTESSHINの宇佐美健一シェフを講師とした料理教室を行った。(2)平成27年 10月 31日(日)10時~12時「リンゴでフレンチ」では、旬の7種類のリンゴ品種の食べ比べ及び解説、ポム・ド・リエゾン有資格者の荏野幸紀シェフ(かんでんばば勤務)を講師とした料理教室を行った。2回とも、定員の12名の参加者を集めた。毎回、ポム・ド・リエゾン有資格者のボランティアによる多品種のリンゴの食べ比べや解説、リンゴ並木の歴史やシードルの紹介などリンゴに関わる情報提供があり、受講生に対し、既存の地域の魅力を再評価する機運を高めることができた。</p> <p>(2)リンゴ生産者専門研究会:飯田市飯伊地区の果樹生産者、研究機関、団体職員及び行政機関から、32名(農家:非農家=22:10、男:女=24:8)が参加した。7月1日(水):シードル製造販売におけるコンプライアンス:松本税務署 酒類指導官 清水太氏/7月9日(木):東御市先進農家訪問、日本ワイン農業研究所(株) 視察/7月14日(火):シードル用リンゴ栽培の取組み 松本市の果樹生産者 林甲氏より、研修先であるフランスのリンゴ加工用途栽培の実態、日本で直面する課題や可能性を聴講。/7月23日(木):リンゴ生産からシードル販売までの流通モデル検討。健全な農業経営の上に、加工部門の構築が必須であることが確認できた。</p>
取組の効果	<p>③取組みの効果(何がどのように変わるのか、地域などへの波及効果があるか)</p> <p>(1) 飯田市民を対象とした食文化の提案 ア クッキングアップル・レッスン:クッキングアップル需要開発に波及する。家庭でのリンゴ消費拡大、さらには市内飲食店のリンゴを使ったメニュー開発に発展し、地域食文化の多様性の創造につながる。イ 飯田りんご等出展: 飯田市民にシードルが認知され、市民が自らの選択でシードル等飲料を飲む文化を構築することにより、リンゴを育む地域に住むことへの誇りを醸成する。また、市民が地域外からの来客に対し、自らの味覚からシードルを薦める機運を高める。</p> <p>(2) リンゴ生産者専門研究会:市内リンゴ農家による自己商標シードルが市内飲食店等に流通したり、加工用途栽培(加工用品種の育成や省力新わい化栽培)の需要創出に波及することで、果樹農家の規模拡大や果樹のある農村景観の維持に寄与するとともに、リンゴのまち・シードルのまちの実現につながる。</p>
今後の取組	<p>1 次年度以降も継続し、引続きリンゴ及びシードルの消費促進を図る。</p> <p>2 市内農業者、飲食・食品関連企業との関係を構築し、地元産クッキングアップルの需要を創出。地域経済振興、農村振興につなげる。</p> <p>3 飯田市にて国内外シードル醸造家や生産者を参集したサミットを開催する。</p>

○取組経費 (単位:円)

事業費総額(見込み)		599,000円
うち助成金(見込み)		300,000円
主な経費内訳 (上位3項目)	講師謝礼	272,514円
	賃借料(視察バス等借上げ)	160,180円
	広告宣伝費(印刷製本、WEB更新委託料)	56,500円

*活動状況がわかる写真を入れてください。

*取組が完了していない場合は、取組経費は決算見込み額で記入してください。

その場合は、事業費総額及びうち助成金の()内に見込みと記入してください。

*この様式で助成金は確定しません。遅くとも3月13日までに実績報告書を提出してください。

取組名称	冒険遊び場作り
団体名	冒険遊び場プロジェクトinいいだ
代表者氏名	木下 孝子
地区名	鼎

取組みの目的	<p>ア 年間通した冒険遊び場の運営を実施する。</p> <p>イ 冒険遊び場の活動について広く周知する。</p> <p>ウ 関係団体等へ働きかけを行い協力者の拡大を図る。</p> <p>エ 長野プレーパーク連絡会（塩尻、原村、高遠、上田、飯田）において連携を深めると共に外遊びの大切さ、子どもに対しての大人の役割、怪我や事故などの対応、リスクとハザードの理解と対応などについて学習する。</p>
具体的内容	<p>ア 年間7回の冒険遊び場を実施する。</p> <p>イ 年間を通した冒険遊び場を実施すること、広報の仕方（チラシ、フェイスブックなど）を工夫することで活動について周知する。</p> <p>ウ 鼎地区まちづくり委員会、PTAなどに報告及び協力依頼する。</p> <p>エ 長野プレーパーク連絡会への参加、研修、視察を行う。</p>



説明

小学生のお兄ちゃんと



説明

定番です。焼肉！



説明

ふるさと鼎ふれあい広場・文化祭



説明

ロケットストーブワークショップ

取組の経過	<p>6月7日、7月28日、9月6日、11月15日、1月31日(予定)、2月28日(予定)</p> <p>計6回冒険遊び場実施</p> <p>9月6日 座談会『語り合おう！子どもへのまなざし』講師 横山紀子氏</p> <p>11月15日 ロケットストーブワークショップ</p> <p>11月7日、8日「ふるさと県ふれあい広場・文化祭」にて出店</p>
取組の効果	<ul style="list-style-type: none"> ・遊びを通して、子どもたちは生きていくために必要なさまざまな力(自主性、ものごとをやり抜く気力、創意工夫する力、協調性、思いやり、周りの人とのコミュニケーション能力、忍耐力、判断力、勇気、危険を回避する安全能力)を身につけ成長することができる。 ・子どもが抱えている問題が比較的小さい場合は、遊びこむことで、子どもの心の中、体の中で抱えている問題を自ら解決し、自然と昇華させることができる。 ・冒険遊び場作りを行うことによって様々な年代にわたる交流の場や居場所を作り出し、地域への愛着を醸成し、災害や犯罪につよい地域づくりにつなげることができる。 ・冒険遊び場作りを通じて、子育て世代の地域住民がまちづくりの中心的な担い手となり、生き生きと活動すれば、子どもたちに住民参加のまちづくりのモデルを示すことができる。また、大人にも次の時代を託す元気な子どもたちを私たちの地域で育てるという意識を改めて作ることができる。
今後の取組	<p>子どもたちがいつでも遊びに行ける常設の冒険遊び場を作ることを目的とし、</p> <ol style="list-style-type: none"> ①冒険遊び場実施回数を増やす。(目安として、来年度8～12回) ②冒険遊び場の運営のノウハウ、遊びに関わる大人の関わり方についての学習の場を作る(増やす)。 ③プレーリーダーを養成する。 ④関係団体に働きかける。 ⑤長野県プレーパーク連絡会で連携し、またともに学びあう場を作る。

○取組経費 (単位:円)

	事業費総額(見込み)	175,940
	うち助成金(見込み)	123,000
主な経費内訳 (上位3項目)	印刷費	37,500
	謝礼(交通費込み)	75,000
	消耗品費	50,000
	保険料	13,440

*活動状況がわかる写真を入れてください。

*取組が完了していない場合は、取組経費は決算見込み額で記入してください。

その場合は、事業費総額及びうち助成金の()内に見込みと記入してください。

*この様式で助成金は確定しません。遅くとも3月13日までに実績報告書を提出してください。

取組名称	羽場地区&セントラルパークのクリーンアップアクション
団体名	羽場セントラルパーク愛護会
代表者氏名	佐々木 祥二
地区名	羽場地区

取組みの目的	羽場セントラルパークの周辺住民や羽場地区民が、市建設部(公園緑地係)の指導のもと、公園周辺の美化や公園利用環境の向上に努める。 羽場地区まちづくり基本構想基本計画「羽場の未来構想」の重点施策「清潔で花あふれる羽場」に沿い、飯田市環境美化を推進する市民条例「環境美化重点区域」の指定に向け、公園でのポイ捨てを撲滅する手段を講じるなど、公園を安全安心に利用出来ることを目指す。
具体的内容	<ul style="list-style-type: none"> ○公園愛護会が中心となり、定期的に掃除や巡回を行う。また清掃用具保管の倉庫を設置する。 ○公園内に防犯カメラを設置し、不審者の警戒、ポイ捨て行為の未然防止、路上駐車等の違反行為を確認する。 ○地区住民や地区内企業、環境美化団体グリーンバードと共催し、公園や公園周辺主要道路のクリーンアップアクションを行う。 ○公園内水路の分水場所の清掃を定期的に行い、公園内水路は清水だけが流れる様に清掃する。



防犯カメラと清掃用具保管庫の設置



クリーンアップアクション参加者220名



セントラルパーク定期清掃



クリーンアップアクション主要道路清掃

取組の経過	<p>○公園内定期清掃・・・月1回 各自治会清掃当番 実施計画 :4月 実施日 :4月19日・5月10日・6月14日・7月12日・8月9日・9月6日 10月12日・10月15日・12月13日</p> <p>○防犯カメラ 設置計画:4月 設置日:11月12日</p> <p>○清掃用具保管庫 設置計画:4月 設置日:11月11日</p> <p>○クリーンアップアクション 実施計画:8月 実施日 11月24日(日)</p>
取組の効果	<p>○セントラルパークの定期清掃は、各自治会当番制で月1回実施しているが、各自治会とも清掃活動が定着、地区住民の公園に対する美化意識が向上した。</p> <p>○防犯カメラの設置により、公園利用者に違反行為の啓蒙が出来た。また清掃用具保管庫の設置により、便利性が良くなった。</p> <p>○クリーンアップアクションは、地区住民と地区内の企業、NPO法人のグリーンバードの共催で、セントラルパークと地区主要道路の美化活動を総勢224名で行った。特に主要道路のゴミ拾いは、のぼり旗を先頭に参加者全員ベストを着用し約1時間地区内の清掃を行い、ポイ捨て等地区内外に対して美化啓蒙の多大な効果があった。</p>
今後の取組	<p>○セントラルパークは地区内外を含め、大勢の方々が利用している。特に休日は家族づれ等多数の利用者で、美化活動は継続して実施する必要がある。美化活動は愛護会が中心で継続して行う。</p> <p>○今年度実施したクリーンアップアクションについては、年2回実施するよう計画をする。</p> <p>○近い将来、羽場地区を「環境美化重点区域」にするよう体制を整備する。</p>

○取組経費 (単位:円)

事業費総額(見込み)		378,000
うち助成金(見込み)		258,000
主な経費内訳 (上位3項目)	防犯カメラ設置	111,672
	清掃用具保管庫設置	125,280
	クリーンアップアクション	131,960
	その他	9,088

*活動状況がわかる写真を入れてください。

*取組が完了していない場合は、取組経費は決算見込み額で記入してください。

その場合は、事業費総額及びうち助成金の()内に見込みと記入してください。

*この様式で助成金は確定しません。遅くとも3月13日までに実績報告書を提出してください。

取組名称	野底山秋の彩事業
団体名	下黒田東有志の会 繋
代表者氏名	野牧 詔男
地区名	飯田市上郷黒田(下黒田東地区)
取組みの目的	<p>地域資源のアピールと賑わいの創出。回数を重ねるごとに訪れる人が増えてきた。地元の人でさえ知らなかったという人もいたくらいで、ライトアップ事業で地域資源の魅力を再発見し発信出来ていると感じる事が出来る。</p> <p>今年はライトアップとイルミネーション範囲拡大と夜の演奏会の充実に加え、昼間の見物人へもアピールしたい。昼間は夜より多くの人を訪れる事から、期間中の週末など、昼間のおもてなしも実施してみたい。</p> <p>また、他団体の事業の取組みの研究もしていく。</p>
具体的内容	<p>野底山におけるもみじライトアップ、公園施設内イルミネーション設置、毎年好評の演奏会は今年は二晩開催した。</p> <p>イルミネーションは約1ヶ月、ライトアップは約3週間であったが、毎晩、点灯時間内は休憩所を設けて、足を休めてもらいながら、談笑の出来る場所を提供した。飯伊地域外より足を運んで下さった方の中には、毎年楽しみにしていると言われる方もおり、大変励みになった。昼間は、近隣のデイサービス等から高齢の方もお見えになったり、結婚式の撮影なども行われていた。地区内の幼稚園、装飾の下黒田東PTA支会の協力があり、親子連れの様も多く秋の山ののんびり味わってもらえたと思う。</p> <p>6月に市街地で開催された「竹宵まつり」の際に、八幡竹宵の会竹を貰い受け使用。竹からこぼれる優しい灯りが好評であった。今年はおみじの色づきがあまり良くなく、また、彩コンサート2日目は雨となってしまい残念であったが、期間中のべ500余名の方に観て頂くことができた。</p>



説明 イルミネーションの一部



説明 もみじライトアップの一部



説明 八幡竹宵の会の竹を再利用



説明 彩コンサート(女子高邦楽クラブ)

取組の経過	<p>事業実施にあたり、初めて地元事業所を中心に協賛金をお願いした。お陰様で当初予定をはるかに超える80社より協賛頂くことができた。ムトスの採択を受けた事業ということで、事業所の方にも思いを伝えやすくなり、信頼してもらい協賛いただけた。</p> <p>10月17日より公園内にてイルミネーションの点灯を開始。地元幼稚園の園児の皆さんの似顔絵やお御輿、下黒田東PTA支会による飾り付けもあり、公園内が賑やかなものとなった。電飾も使用していない物をお借りしたり、無償で貰い受けた物も多くあった。もみじライトアップは11月より開始予定であったが、多くの方からまだ？との声をお聞きし、予定より1週間早めて開始した。</p> <p>彩コンサートは2日間の開催で、新しい管理棟と林間学校の2か所で開催した。1日目については夕方より多くの方にお越し頂き、軽食の出店ブースではほぼ完売の状態であった。2日目は朝から雨となってしまう、来場者がわずかな中でのコンサートとなってしまった。出演団体は2日間で8団体。出演者の方からは、素敵な場所で演奏出来て嬉しかった、との声を多く聞くことができた。また、コンサート内容もジャンルが多様であったため、いろいろな演奏が聴けて良かった、紅葉と相まって素敵だった、と感想を頂いた。</p> <p>昨年までとは違い、打ち合わせも回数を重ねることができた。</p>
取組の効果	<p>一人でも多くの人に野底山を知ってもらい、足を運んでもらい、上郷を知ってもらうきっかけになったのではないかと、思う。昨年までは秋の夜は冷える為、小さいお子さんなどはあまり見かけなかったが、今年は老若男女の多くの方に観てもらえた。地元幼稚園、保育園、下黒田東PTA支会の協力があつた為であると思う。</p> <p>コンサート出演の団体の皆さんや出店して頂いた業者の方との繋がりもできたので、今後の活動に役立てることが出来ると思う。</p> <p>竹宵については、紅葉も竹宵も、和、ということで相性が良く雰囲気も馴染むので、良い演出となった。</p> <p>回数を重ねる事でより事業がしやすくなってきたと感じた。</p> <p>上郷全戸へチラシを配布したが、あまり効果的ではなかったように思う。</p>
今後の取組	<p>イルミネーションについては、テーマを決めて電飾の飾付けを行うようにし、公園内を効果的に使っていきたい。子供たちの作品はやはり誘客には大変有効であるので、次回も協力をお願いしていきたい。一方で、企業の装飾については、就業時間外での作業などは厳しいとの声もあることから、呼び掛けはするものの、もっと一般の方の参加も呼び掛けたらどうかと思う。</p> <p>ライトアップでは、撮影に来られた方から、ライトの向きについてアドバイスがあったので、ただ光をあてるのではなく、効果的な当て方を研究していく。</p> <p>期間について、長期間開催になると、コンサートに来てもらいにくくなるのではないかと、メンバーの出労の負担等もあることから、検討し調整していく。</p> <p>事業そのものが大きくなってきたので、内容を吟味し、負担と無駄のないようにしていきたい。</p> <p>早目に計画し進めていき、運営方法や効果的なチラシ配布の仕方等を研究する。メディア等へ取り上げてもらいやすくするため、積極的に発信をしていく。</p>

○取組経費 (単位:円)

事業費総額(見込み)		403,000
うち助成金(見込み)		140,000
主な経費内訳 (上位3項目)	印刷費(ポスター・チラシ)	129,276
	事業費(警備員2日間×3名)	70,540
	事業費(仮設電気工事)	32,497

*活動状況がわかる写真を入れてください。

*取組が完了していない場合は、取組経費は決算見込み額で記入してください。

その場合は、事業費総額及びうち助成金の()内に見込みと記入してください。

*この様式で助成金は確定しません。遅くとも3月13日までに実績報告書を提出してください。

取組名称	第20回 千代河鹿がえるまつり
団体名	千代河鹿がえるまつり実行委員会
代表者氏名	北川 均
地区名	飯田市千代米川

取組みの目的	地域の財産である自然を守り地域活性化に利用する事と、子供たちの記憶に残るお祭りにする事を主たる目的にしています。
具体的内容	清流にしか生息できない河鹿蛙を保護するため、一級河川「米川」の環境保全に務め、子供たちに環境保護を啓蒙し記憶に残るためのお祭りを開催しました。お祭り開催日二週間前に河川清掃を行い、雨対策仕様のLED竹灯籠を400本用意し、開催当日のメインイベントのちょうちん行列をより幻想的に演出した。



説明 河鹿がえるまつり会場風景



説明 ちょうちん行列風景



説明 河川清掃



説明 雨対策LED竹灯籠

取組の経過	この日は朝から小雨の降る天気でしたが、雨天決行で中学生以下のの子供の参加者が250名～300名位あり、全体として400名位はいたと思います。雨はお祭りの間中降っていたためメインイベントのちょうちん行列に参加してもらえたのは子供たちが150名位で全体では250名位でした。
取組の効果	例年に比べ来場者は変わらなかったが、ちょうちん行列への参加者が少なかったことが残念でした。また、今回採用のLED竹灯籠は消えることも無く幻想的な雰囲気は演出出来たと思う。
今後の取組	来場者順調に増えているが、スタッフが少ないことが問題です。スタッフを増やすことへの取り組みが必要です。

○取組経費 (単位:円)

事業費総額(見込み)		150,000
うち助成金(見込み)		105,000
主な経費内訳 (上位3項目)	LEDろうそく代	64,800
	弓張り提灯代	21,600
	ポスター・チラシ印刷代	21,600

*活動状況がわかる写真を入れてください。

*取組が完了していない場合は、取組経費は決算見込み額で記入してください。

その場合は、事業費総額及びうち助成金の()内に見込みと記入してください。

*この様式で助成金は確定しません。遅くとも3月13日までに実績報告書を提出してください。

取組名称	温かいサロン「どうだの椅子」交流事業
団体名	やらまいかの会
代表者氏名	岡庭 登子
地区名	山本地区

取組みの目的	山本の中心市街地がシャッター通りとなっている状況と車いすに乗れない高齢者が家から出かけてゆく場所がないことに危機感を覚え市街地の甲程にあるJA山本店舗におかれたい、壊れた椅子を修理再利用することにより、ここが住民の集り所、住民交流の場作りをしたい。
具体的内容	<ul style="list-style-type: none"> ★ 修理した椅子に座布団をおきテーブルを設置し誰でもいつでも気軽に寛げる場を作る。 ★ 自由に使える場所ということを看板、ポスターなどでお知らせ。 ★ 多くの人にこの場所を知らせる為にイベントを行う。 ★ 不定期に周辺清掃整備、安全確認をする。



説明 オープン(どうだの椅子)の様子



説明 地元との交流会



説明 フラワー作りと花壇作業



説明 どうだの椅子のXmas

取組の経過	<p>4月12日 「どうぞの椅子」 オープン</p> <p>6月27日 フォンターカバー作り. 花入アウンター販売</p> <p>7月11日 前回事業反省会及び次の事業打合せ</p> <p>8月29日 地元住民交流会①</p> <p>9月26日 — " — ②</p> <p>10月24日 — " — ③</p> <p>11月19日 X'mas会事業打合せ</p> <p>12月20日 X'mas会. ビンゴゲーム. とん汁. フィーと歌 演奏会. パー</p> <p>3月 日 読めよの会</p>
取組の効果	<ul style="list-style-type: none"> ★ いい場所ができて. ニュースにも利用したいという声多数有 ★ 地元住民の方で 手伝った方が増えた ★ 他地区の方から. 自今地区にもこういう所ほしいと要望を受ける ★ 高齢者が主には対象だったが. 小甲字生がおしゃべりや勉強の場として利用してくるようになった ★ イベント交流会に他地区住民との交流ができた.
今後の取組	<ul style="list-style-type: none"> ★ イベントの回数を増やし広報活動に力を入れたい ★ 会費の年から地元住民の手へ徐々に移行したい ↳ 次の地区へも「どうぞの椅子」を作りたい

○取組経費 (単位:円)

事業費総額(見込み)		140000
うち助成金(見込み)		60000
主な経費内訳 (上位3項目)	イベント材料費	130000
	講師謝金	6000
	イベントポスター	4000
	その他	10000

*活動状況がわかる写真を入れてください。
 *取組が完了していない場合は、取組経費は決算見込み額で記入してください。
 その場合は、事業費総額及びうち助成金の()内に見込みと記入してください。
 *この様式で助成金は確定しません。遅くとも3月13日までに実績報告書を提出してください。

取組名称	天龍峡この指とまれ食プロジェクト
団体名	天龍峡この指とまれ
代表者氏名	松尾 真由美
地区名	川路 龍江

取組みの目的

天龍峡では来峡者に気楽に提供できる名物の食べ物がないと数年前からの課題があってもそのままになっている現状がある。そこで地元の食材を利用して、天龍峡オリジナル名物を目指して、観光客や地元住民に提供できればと「天峡まん」を、開発販売をH25年秋から取り組んでいる。26年は、ムトス助成金をいただき、必要品など揃えることができ、地元イベントなど19回の販売を行う事ができたので、名物として自信ある商品として、販売提供が継続できるようにし、地域活性化に取り組む。

具体的内容

- ・天龍峡オリジナルふかしまん「天峡まん、(肉野菜入り、おたふくこしあん入り)」を天龍峡でのイベント、市内イベントなどで販売し、地元催事の盛り上げと天龍峡のPRを行う。
- ・実地講習を行い、仕込みなどでの課題の改善を行う。
- ・飯田女子短大などで、試食交流会を行い、商品の確立を行う。
- ・人材育成講義を参考に、仕込みから販売のできる人材確保をしていく。



説明

かぼちゃマルシェ



説明

実践講習会



説明

中根社長講演会



説明

横浜反町フェスタ参加

取組の経過	<p>*「天峡まん」販売実施日 ・4/19(天龍峡花祭り) ・4/25(天龍峡八重桜祭り) ・4/25,26(テント市) ・5/5(みつばつつじ祭り)・6/5(六角橋商店街大六の市) ・7/4(ムトス飯田交流会で提供) ・7/18, 19(天龍峡花の里そば祭り) ・7/25(かわらんべ祭り) ・8/8(川路8区夏祭り) ・9/5(天龍峡をどり) ・9/20,21(天龍峡花の里そば祭り)・10/24(天龍峡かぼちゃマルシェ) ・10/31(ココロマルシェイベント) ・11/3(丘の上フェスタ) ・11/7(野底山もみじライトアップ彩コンサート) ・11/21,22(テント市) ・11/28(反町フェスタ) 全18回、肉野菜入り、おたふくこしあん入りの2種類を販売しました。</p> <p>*6/11飯田女子短大ご当地グルメサークル8名と試食交流会実施 *7/15ココロファーム中根社長の講演、懇親会実施 *10/5吉江先生による実践講習会(地活レジェンド受講生との交流会) *2/19 人材育成講義開催予定 *この指とまれ会議(4/8,5/15,6/19,7/15,8/21,10/5,11/13,12/18,1/29,2/) *「天峡まん」商品検討会3/25,4/1)</p>
取組の効果	<p>・「天峡まん」を販売することで、観光客や地元住民に、気楽に食べてもらえた。 ・「丘の上フェスタ」「野底山彩コンサート」の販売や、「ムトス交流会での提供」などで地区外の方にも天龍峡のPRができた。 ・講習会で、仕込みでの課題が解消できた。 ・地元の食材を使うことで、地元農産物のPRにつながり、地産地消につながった。</p>
今後の取組	<p>・イベント販売だけでなく、天龍峡で定期的に販売できる体制をつくり、天龍峡のオリジナル名物として自信を持ってお客様に提供したい。(空き店舗活用につなげたい) ・仕込みから販売までの人材確保を確立したい。 ・天龍峡の賑わい作りのきっかけにしていく。 ・天龍峡地元住民への影響力がひろがり、数十年前の賑わいのある天龍峡を取り戻すきっかけにしたい。</p>

○取組経費 (単位:円)

事業費総額(見込み)		208,381
うち助成金(見込み)		145,000
主な経費内訳 (上位3項目)	消耗品	70,000
	使用料	32,800
	講習会費	32,000

*活動状況がわかる写真を入れてください。

*取組が完了していない場合は、取組経費は決算見込み額で記入してください。

その場合は、事業費総額及びうち助成金の()内に 見込み と記入してください。

*この様式で助成金は確定しません。遅くとも3月13日までに実績報告書を提出してください。

取組名称	甦るヤナギラン・植栽事業
団体名	上村まちづくり委員会 環境衛生委員会
代表者氏名	委員長 所澤 治人
地区名	上村

取組みの目的	<ul style="list-style-type: none"> ・ 古くから地域内に自生していた植物『ヤナギラン』であるが、鳥獣による食害で、数年前から姿を消していた。これを蘇らせたいという思いから、活動がスタートしている。 ・ この『ヤナギラン』は、地域内でも特に、しらびそ高原周辺に群生していた。多くの観光客の目を楽しませてきたこともあるため、復活させて観光の活性化につなげたい気持ちがある。 ・ しらびそ高原を含む一帯が、2014年南アルプスユネスコエコパーク登録となった。自然環境や景観を守る気持ちが一層高まっている。
--------	---

具体的内容	<ol style="list-style-type: none"> 1. 有志の協力で、残っていた花から種を採り、苗を育てている。 2. 6月に、しらびそ高原周辺へ植栽する。(まちづくり委員会や地域へ呼びかけ、参加者を募る。) 3. 経過観察を行う中で、問題点を把握し、対応を考える。(過去には、野兔に食されてしまったことがあり、柵や網の設置を行っている。) 4. 順調にいけば、7月下旬から8月上旬頃に開花。 5. 開花したら(開花が見込まれたら)、インターネットやマスコミを利用して地区外へ情報発信し、花を見に来てもらう。 6. 採種し、1に戻る。
-------	---



説明 平成25年に造成した植栽地



説明 鳥獣(野兔)除けの金網を補修



説明 育てた苗を植え付け



説明 成長したヤナギラン(の葉)

取組の経過	<ul style="list-style-type: none"> 平成27年6月13日 上村しらびそ高原にて、ヤナギランの苗植栽作業実施。
取組の効果	<ul style="list-style-type: none"> 金網設置により、鳥獣による食害は受けていない。 茎と葉の成長はみられたが、開花には至らなかった。
今後の取組	<ul style="list-style-type: none"> 「開花まで時間(年月)がかかるのでは？」という意見もあるので、金網を補修しながら、生育の様子をみていく。 翌年に、新芽が出ないなど、絶えてしまった場合は、改めて採種・苗作りを行う。

○取組経費 (単位:円)

事業費総額		24,500
うち助成金(見込み)		
主な経費内訳 (上位3項目)	金網	19,500
	飲料	0
	バス運転手謝礼(ただし、参加者に対するもの)	5,000

*活動状況がわかる写真を入れてください。

*取組が完了していない場合は、取組経費は決算見込み額で記入してください。

その場合は、事業費総額及びうち助成金の()内に見込みと記入してください。

*この様式で助成金は確定しません。遅くとも3月13日までに実績報告書を提出してください。

取組名称	大きく育て・ヤマメ放流事業
団体名	上村まちづくり委員会環境衛生委員会
代表者氏名	委員長 所澤 治人
地区名	上村

取組みの目的	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の将来を担う子供たちに、ふるさとの自然環境美化に対する意識を高めてもらう。 ・子供たちの意識が高まることで、将来の地域づくりへつながる。 ・ヤマメ放流事業が、毎年継続して実施できるしくみをつくる。
--------	---

具体的内容	<ul style="list-style-type: none"> ・上村川のごみ拾いを行う。 ・きれいになった川へ、10月中旬、稚魚を放流する。 ・「来年の稚魚代をカンパしてください！目標額25,000円」を掲げて、参加者や賛同者に対し呼びかける。(観光施設等へ募金箱を設置する) ・感想の作文を、地域の文化祭で発表(展示)し、小学生の気持ちを、地域の人々を知る機会とする。参加者と賛同者の方々にも、感想を送付しお礼する。 ・上村小学校の協力を得て、小学生を主な参加者とするが、情報誌やインターネットを利用して、地域住民だけでなく、地域外からの参加者を募り、賛同者を増やす。
-------	--



説明 放流前に、説明を聞く小学生



説明 放流した魚を追いかけて、川に親しむ



説明 上村川へアマゴ稚魚450尾を放流

写真

説明

取組の経過	<ul style="list-style-type: none"> 平成27年7月5日 上村総合文化祭において募金箱を設置し、当事業に対してのカンパを募る。 平成27年11月17日 上村小学校全校児童が、上村川へアマゴ稚魚450尾を放流する。
取組の効果	<ul style="list-style-type: none"> 文化祭に来場していた地区内外の方々から、5,138円の募金をしていただくことができた。 募金コーナーを目にした方々に、当事業への関心をもってもらえることが出来た。 放流当日は、和田小学校6年児童が交流授業で来校し、ふるさとの川づくりに参加してもらえた。
今後の取組	

○取組経費 (単位:円)

事業費総額		38,940
うち助成金(見込み)		
主な経費内訳 (上位3項目)	アマゴ稚魚450尾	35,000
	飲料 30本	3,940

*活動状況がわかる写真を入れてください。

*取組が完了していない場合は、取組経費は決算見込み額で記入してください。

その場合は、事業費総額及びうち助成金の()内に見込みと記入してください。

*この様式で助成金は確定しません。遅くとも3月13日までに実績報告書を提出してください。

取組名称	尾林焼き展と名勝天龍峡秋の彩展
団体名	天龍峡観光開発整備推進協議会
代表者氏名	会長 松尾長門
地区名	川路・龍江

取組みの目的	<p>～天龍峡観光の活性化を図る～</p> <p>三遠南信自動車道・リニア中央新幹線の開通を見据え、将来的には天龍峡へ観光客を誘導するきっかけとなるよう天龍峡の歴史と文化を掘り起こし、他の各種イベントと合わせて内外に発信することにより知名度を上げるとともに、地区住民には、天龍峡が地域の宝(名勝指定＝重要文化財)であるとの認識を深めて貰うことにより天龍峡観光の活性化につなげたい。地区住民の自主的な取組を促して連携を深め、一体感を共有できる活動に結びつけたい。</p>
具体的内容	<p>①尾林焼展(10/3～10/5龍峡亭)</p> <p>江戸時代後期から龍江尾林に伝わる天龍峡焼の源流である尾林焼18点と明治時代に龍江今田で焼かれた東焼3点を展示。</p> <p>②天龍峡の焼き物展(11/1～11/20地区内17店舗)</p> <p>篆刻を施した独特の伝統工芸文化である天龍峡焼とこれを引き継いだ地元の焼き物を展示。</p> <p>③ドーム菊を中心に花木で地区内を彩ってもてなす。(10/20～11/17)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・天竜川右岸再生道路東法面にドーム菊80本を植栽し、笑顔の人面を演出。 ・ドーム菊鉢植え105鉢を天龍峡周辺の公共施設に配置。 ・旧中村陶苑店舗において菊花鉢植えと3本仕立大菊展・盆栽展を開催。



説明 尾林焼展(龍峡亭)



説明 ドーム菊(龍峡小唄碑)



説明 ドーム菊(再生道路法面)



説明 菊花展(中村陶園)

取組の経過	<p>4/7 打ち合わせ全体会(以後2回開催)</p> <p>4/30 再生道路法面ドーム菊管理作業(以後7回の除草・施肥・消毒)</p> <p>6/24 尾林焼展実行委員会(以後2回開催)</p> <p>10/3 尾林焼展開催(10/5まで)</p> <p>10/20 鉢植えドーム菊105鉢配置展示(11/17展示終了)</p> <p>10/31 盆栽展(11/1まで)、鉢植菊花・大菊展(11/6まで)開催</p> <p>11/1 天龍峡の焼きもの展開催(11/20まで)</p>
取組の効果	<p>○尾林焼展は、江戸時代末期に瀬戸から移り住んで龍江尾林に窯を再興した水野儀三郎から現代の4代目水野雅史に至る脈々たる尾林焼の歴史を辿ることにより、天龍峡焼との繋がりへの理解が深まった。また、龍江今田地区で一時期焼かれた東焼の作品も地域の歴史として再認識された。「和遊楽」の日程に合わせて実施したことも効果的であった。</p> <p>○天龍峡の焼きもの展は、3年目の事業として各店舗が工夫を凝らした展示をしており、地域の文化を紹介する催しとして定着している。</p> <p>○公共施設に105鉢を配置した鉢植えドーム菊と再生道路法面のドーム菊人面模様は地域一帯に華やかさをもたらし、期間中の10月24日に開催した天龍峡かぼちゃマルシェの賑わいにも文字どおり花を添えて内外の訪客に好評を博した。</p> <p>○駅前の空き店舗を利用した菊花展・盆栽展は、今年も特に秘境駅ツアー客の関心を集め、駅前の賑わいに大きく役立つことができた。</p>
今後の取組	<p>3年継続して実施してきたことで地域全体に定着し、今後も事業の継続を要望する声が多いので、川路・龍江の団体・住民が一体となって天龍峡の歴史と文化を掘り起こしつつ、活性化に向けた活動をたゆまず継続したい。</p>

○取組経費 (単位:円)

事業費総額(見込み)		290,332
うち助成金(見込み)		180,000
主な経費内訳 (上位3項目)	鉢植ドーム菊栽培費	140,900
	広告宣伝費	77,112
	尾林焼展	30,000
	その他	42,320

*活動状況がわかる写真を入れてください。

*取組が完了していない場合は、取組経費は決算見込み額で記入してください。

その場合は、事業費総額及びうち助成金の()内に 見込み と記入してください。

*この様式で助成金は確定しません。遅くとも3月14日までに実績報告書を提出してください。

取組名称	麻績の里おもてなし事業 PART2
団体名	麻績の里振興委員会
代表者氏名	今村 衛
地区名	座光寺

取組みの目的	<p>麻績の里の活性化を目指す。昨年度に取り組んだ御開帳を契機とする『おもてなし事業』の取り組み効果により麻績の里一帯(門前町、元善光寺、麻績舞台桜、麻績校舎、南本城跡等)を訪れる方々が増加している。</p> <p>今回は『おもてなし事業』の効果により地域を訪れる方々が一部未整備の遊歩道で滑る事例が多いことから、安全で安心して地域を巡る整備環境と併せ、麻績の景観づくりを整える。</p> <p>これにより地域による「おもてなし力」と「麻績の里のブランド力」を高める。</p>
具体的内容	<p>地域のランドマークである元善光寺門前町から麻績舞台校舎、舞台桜、南本城までのアプローチの一部(遊歩道)を整備する。整備は麻績の里振興委員と地元住民で行う。</p> <p>○整備延長 L=24.0m W=0.9m ○整備内容 未整備の畦道に石敷き(板石)をする。</p>



説明 現在まで整備されている部分



説明 未整備部分の現地を確認



説明 整備中



説明 麻績の里振興委員メンバー

取組の経過	<p>1. おもてなし事業についての検討 (1)4/29 昨年の「おもてなし事業」における反省会の開催 昨年度のおもてなし事業の効果により、地域を訪れる方々が増加した。反省の中で「事業期間中に遊歩道において高齢者による転倒が起きた」ことから、安全に安心して地域を巡る環境づくりが必要と纏まる。引き続き、地域のおもてなし事業を継続することで決定。 (2)5/17 第1回 麻績の里振興委員会総会(おもてなし事業の継続について承認) (3)5/22 事業箇所の現地確認と事業内容の検討 (4)6/ 5 ムトス助成申請 (5)7/15 運営委員会(助成決定、実施日、参加周知について) (6)8/21 運営委員会(チラシの内容、工程について) (7)9/ 8 運営委員会(事前の準備等について)</p> <p>2. おもてなし事業Part2についての周知 (1)8/24 組合回覧(170部)、委員参加の周知、座光寺ホームページへ掲載</p> <p>3. おもてなし事業Part2の実施 (1)9/19 遊歩道整備作業 午前8時～正午 遊歩道路盤及び石板敷き整備 L=24.0m</p>
取組の効果	<p>1. 昨年度の取り組みの『おもてなし』事業の効果と反省から、次の課題解決に向けた取り組みを見出している。(ムトス精神の持続) 2. 訪れる方々が安心・安全に地域を巡る環境が整える。 3. 麻績の里一体の景観づくりが整える。 4. 地域の「おもてなし力」と「麻績の里ブランド力」の向上</p>
今後の取組	<p>委員が汗を流した活動記録(文書・画像)の充実を行いたい。また、リニアを踏まえた更なる地域発展のため、新たな発想で地区住民の理解を得ながら、委員の資質向上はもとより、若者・女性の参加ができる仕組みを検討していきたい。</p>

○取組経費 (単位:円)

事業費総額(見込み)		344,844
うち助成金(見込み)		241,000
主な経費内訳 (上位3項目)	板石120.0枚	317,520
	敷きモルタル	27,324

*活動状況がわかる写真を入れてください。

*取組が完了していない場合は、取組経費は決算見込み額で記入してください。

その場合は、事業費総額及びうち助成金の()内に見込みと記入してください。

*この様式で助成金は確定しません。遅くとも3月13日までに実績報告書を提出してください。

取組名称	認知症予防事業
団体名	駄科りんの会
代表者氏名	林 重子
地区名	竜丘 駄科

取組みの目的	<p>一人暮らし、高齢者世帯、昼間高齢者世帯が多く、人と話す機会が少ない。 月に一度、公民館に集まって、歌ったり体操をしたり、昼食を共にして気分転換の場を設ける。 風呂のないデイサービスを、地域でボランティアで支えたい。 歌を歌うときにカラオケ機材があったら、一層楽しめて、認知症の予防につなげたい。</p>
--------	--

具体的内容	<ul style="list-style-type: none"> ・学習会……乗合タクシー利用法、健康講話、詐欺予防、交通安全 ・昼食会……旬のもの行事食など工夫 ・歌う会……ピアノ塾の先生指導、上達している、文化祭に出場参加 ・体操……手足頭の体操 ・余興……知人を頼んで楽しみの会 ・ゲーム……賞品たまに出している。安物のあめ玉でも夢中になる。
-------	--



説明

ビンゴゲームに夢中



説明

鈴岡公園まつり参加



説明

歌手の佐野さんとクリスマス会



説明

カラオケ機器お披露目

取組の経過	<ul style="list-style-type: none"> ・4/15 歌の指導、体操、ゲームを楽しむ。昼食はたけのご御飯。 ・5/3 鈴岡公園まつりに出かけ、お弁当をいただく。 歩くのが困難な人のトイレ特別車を通してもらえて、区民の理解がありがたい。 いつも杖が必要な人も宝投げに飛び出して行きびっくり。怪我がなくてよかった。 ・6/25 上郷「ともしび会」の皆さんの余興で大笑い。昼食はエンドウ御飯。 ・7/17 ひもくじゲームで賞品ゲット。グループ対抗にして仲間づくり。昼は夏野菜カレー。 ・8/31 詐欺予防と交通安全の勉強会。お巡りさん3人の寸劇で詐欺の手口を学びました。 ・9/25 音楽鑑賞「コスモスの会」演奏会。アコーディオンとコカリナで楽しむ。昼は栗御飯。 市担当者から乗合タクシー利用方法を教えてもらう。深刻な課題ゆえ質問多数あり、 やってよかったと喜んでます。 ・10/21 歌、体操、昼はサツマイモ御飯で、昔食べたと喜んでもらいました。 ・11/20 保健師の健康講話。簡単なことが出来なくなり毎日やりたいと思う。 ・12/4 カラオケ機器が届く。 ・12/18 ソプラノ歌手の佐野さんを依頼しミニクリスマス会。抹茶をいただく。心得のある人が 自慢げでした。 ・1/20 雪のため中止 ・1/29 カラオケ機材お披露目 ・2/7 文化祭に認知症予防体操で参加する(予定)
取組の効果	<p>○歌の時間においては、始めは声が出ずクチパク状態でしたが、段々と大きな声になり上達を感じます。</p> <p>○歳を重ねるごとに食事作りが億劫になります。昼食は大変喜んでもらっています。</p>
今後の取組	<p>○カラオケ機器をどんどん活用していきたい。</p> <p>○何でもすぐに忘れちゃうので、繰り返し、繰り返し、詐欺や交通安全等の勉強会をしていきたい。</p> <p>○マイナンバーはどうしたらよいのか判らず、3月に市の担当者から説明を受ける予定。</p>

○取組経費 (単位:円)

事業費総額(見込み)		216,643
うち助成金(見込み)		54,000
主な経費内訳 (上位3項目)	カラオケ機器の購入	43,848
	余興時の謝礼	17,000
	ゲーム等の賞品	18,875

*活動状況がわかる写真を入れてください。

*取組が完了していない場合は、取組経費は決算見込み額で記入してください。

その場合は、事業費総額及びうち助成金の()内に見込みと記入してください。

*この様式で助成金は確定しません。遅くとも3月13日までに実績報告書を提出してください。

取組名称	【南信州長野原産】の農産加工品をより多くの方に伝え広めていく
団体名	笑ったり寄ったり
代表者氏名	前澤道子
地区名	飯田市竜丘長野原

取組みの目的
長野原で生産した農産物加工品を【南信州長野原産】と明記し県内外にアピールしていく。各地のイベントに積極的に参加し、リピーターや、ファンを増やし、購入するために竜丘に立ちよれるアンテナショップも作り、女性の力でさらなる竜丘の活性化につなげる。

具体的内容
1、遊休農地を活用し、安心・安全な色々な野菜作りをする。(野菜の会)
2、今まではラベルも平凡であったが、共通カットを使い、長野原産をアピールしていくために、【南信州長野原産】をラベルに記載する。見やすく統一的ラベルにして宣伝効果につなげる。販売所では、のぼり旗、看板も作り、よりお客様の目に留る工夫をする。
3、加工品を作った時は、レシピ・工夫・具体的伝えたい事などチラシを配る。
4、製品は地域の方々にも食べてご意見を頂き味の安定につなげる。(高齢者クラブ・そばの会・野菜の会等々)。新品種については料理人の指導を受ける。
5、天竜峡のイベントや、横浜六角橋商店街で対面販売し、今後の交流につなげる。(チラシ配布・会話で加工品・飯田・竜丘の良さを伝える)
6、流通展開の品ぞろえの為に冷蔵庫で保管し対応していく。
7、『ここに行けば手に入る』アンテナショップを作り、看板を出し、より多く方に、南信州長野原産を伝えていく。



横浜反町での販売



ピアゴでの販売



アンテナショップの看板



ラベルの明記

取組の経過	<p>1【南信州長野原産】をアピールする為の対面販売を計10回行う（天竜峡春・秋の秘境の駅テント販売・天竜峡かぼちゃマルシェ販売・横浜反町イベント販売3回・JA祭販売・ピアゴうまいもの市販売）</p> <p>2、対面販売では、笑ったり寄ったの、のぼり旗(6月購入)を立て、ポップで提示して長野原で作った安心・安全で体に良い加工品であることを伝え、試食し納得して購入につなげる。</p> <p>3、【南信州長野原産】と【笑ったり寄ったり】をアピールする為に統一ラベルにし、アンテナショップも記載する(パソコン・プリンター10月購入)</p> <p>4、業務用冷蔵庫を購入し、より安全な保存に心がける。(11月)</p> <p>5、アンテナショップに加工品があることを知らせるため看板を作る。(1月)</p> <p>6、長野原の活動の視察を2団体より受け9月・11月に行う。</p>
取組の効果	<ul style="list-style-type: none"> ・ムトスに参加したことからいろいろな所よりお声をかけて頂き、昨年より多く対面販売をすることができた。横浜には3回販売に行き、前回買っておいしかったからと次の回も来てくれたり、「次は、梅干しを作ってきて」と注文を受けたり、楽しみに待っていてくれ、飯田のことを話したりかかわりがもててきた。また天竜峡での販売も浜松の方と親密になり名産物を送って頂いたり、活動の幅が広がり、飯田と南信州長野原産のことが少しずつ伝わってきていることを感じる。 ・アンテナショップをラベルに明記したことで県外の方や、地元の方が購入してくれるようになる。 ・冷蔵庫が購入できたことから無駄にすることが無く安心して保存ができ、販売回数が増えても商品が間に合い対応できた。 ・視察で長野原の遊休農地を活用しての野菜作りから加工品作り、地域の方との連携・仲間作りの様子など評価を頂き、また地域の原動力になってきた。
今後の取組	<ul style="list-style-type: none"> ・ピアゴ販売を通して、丘の上の高齢の方の大切な販売場所であることを感じ、また対面販売が高齢者のコミュニケーションの場になる事も感じ今後も商品を売るだけでなく、人とのつながりも大切にできる対面販売になれるようにしていきたい。 ・地域(鷲流峡)の竹やぶの竹を粉碎した竹の粉をまぜた竹の酵素入りたくあん漬けを販売した。地域の物産や有機野菜での商品作りなど、体に良い物を提供できるようにしていきたい。 ・【笑ったり寄ったり】のあの商品が欲しいと言われてもらえるように、さらなる味の充実心がける。 ・いろいろな処からの誘いに来れる限り参加し、県内外への発信を今後も続けていく。

○取組経費（単位:円）

事業費総額(見込み)		370,004
うち助成金(見込み)		196,000
主な経費内訳 (上位3項目)	備品 冷蔵庫	190,000
	ラベル製作費	82,804
	宣伝費	67,900
	包装費 他	29,300

*活動状況がわかる写真を入れてください。

*取組が完了していない場合は、取組経費は決算見込み額で記入してください。

その場合は、事業費総額及びうち助成金の()内に見込みと記入してください。

*この様式で助成金は確定しません。遅くとも3月13日までに実績報告書を提出してください。

取組名称	いいだ台地のさんぽ
団体名	いいださんぽ会
代表者氏名	樋口貴彦・木下知美
地区名	飯田市 橋南・橋北

取組みの目的	<p>昨年度の取組みで、戦後の大火にともない整備された都市インフラとされている裏界線が、近世の水路から発達した成り立ちを確認することができ、水的路を意識した地図を作成し、さんぽコースに反映させた。本年度の活動は、この裏界線の歴史的・地理的な成り立ちに着目して、さんぽの範囲を飯田台地全体に広げて、魅力的な路地を発掘し、地図化してさんぽコースとして活用を促進する。そのために市民参加による①水路や裏界線等の路地の現状調査と、それらをまとめた②地図資料の作成、市内の展示施設を活用した③調査結果に関する企画展と既に裏界線等の路地の研究を行なっている④専門家を招いたワークショップと、⑤古道や裏界線等、路地を巡る「いいだいちのさんぽ会」を開催したい。</p>
具体的内容	<p>上記①は本年7月から12月にかけて、月1回6回程度、いいださんぽ会と市民有志を中心にさんぽ会を行なう。今後の路地の活用計画の基礎的資料とするため位置、幅、路地に面した植栽や塀、空き地等を観察し景観の実態を把握する。②は①に基づいて作成されるもので、⑤で活用することを念頭に、携帯しやすい形状にデザインする。また③は、3月3日～8日の期間、市内アートハウスで開催を予定する。④は松本市において市街地の湧水マップを活かしたまちづくりに取り組む一ノ瀬彩氏(茨城大学助教)の講演とワークショップを3月6日(日)に予定する。④と⑤は③の開催期間と連携して行なう。</p>



説明 6月28日 白山神社の参道をさんぽ



説明 1月1日 上郷黒田のトロッコ線をさんぽ



説明 5日 地域史研究集会での丘の上さんぽ



説明 完成したさんぽ会マップ(初回版)

取組の経過	<p>①6月28日 本町、通り町、白山町、羽場町を経て白山神社への参道沿いの水路と路地を巡る。</p> <p>②9月5日 飯田市教育委員会主催の地域史研究集会にて丘の上さんぽを実施(東栄町、二本松、仲ノ町、馬場町、主税町、追手町を巡る)</p> <p>③10月4日 愛宕町、大久保町、箕瀬町、知久町を巡る。</p> <p>④11月1日 伝馬町、浜井場町、上郷下黒田、大門町、諏訪町を経て旧トロッコ線沿線を巡る。</p> <p>⑤11月22日 扇町、常盤町、水の手町、愛宕町を巡る。</p> <p>⑥1月10日 市外研修 松本の市民団体が作成した水めぐりマップの制作者の案内で市街地の湧水を巡り、水場を活かした地図づくり、美術館との連携事業のノウハウを学ぶ。</p> <p>⑦2月14日 「いいだいちのさんぽ」のモデルコースを巡る。(予定)</p> <p>⑧3月6日 「いいだいちのさんぽ」三連蔵での講演会+さんぽ開催(予定)</p> <p>⑨3月3日～8日「いいだいちのさんぽ」展アートハウスにて開催(予定)</p> <p>*8月に予定したさんぽ企画は、猛暑のため中止しました。</p>
取組の効果	<p>毎回のさんぽ企画は、Facebook上に作成したアカウント「いいださんぽ会」で参加呼びかけと報告を行った。本事業によって作成される裏界線等の飯田台地の路地を網羅した地図資料(データ)は、多目的に活用してもらえるように、中央図書館や飯田市歴史研究所に配布した。その他、利用を希望する研究者や市内のまちづくり団体や商業系経営者、地域住民の希望者に提供した。このマップを活かした事業の成果としては9月5日に行われた「歴史的景観」をテーマとした飯田市教育委員会主催の研究集会において、シンポジウム参加者による「丘の上さんぽ」が行われた。</p>
今後の取組	<p>これまでのさんぽ企画それに向けた調査、3月に市民の参加を募り開催を予定する「いいだいちのさんぽ」の成果をふまえた、改訂版のさんぽ会マップを作成し、希望者に配布する。裏界線や古道等の路地の成り立ちや活用に対する地域住民への理解を高める、「さんぽ会」を定期的に開催しつつ、作成した地図を活用してもらえるように、路地のスケール感や回遊性を活かしたイベントの企画を、市内のまちづくりの諸団体との交流を深めつつ検討する。</p> <p>また飯田市歴史研究所の研究活動や各地のまちづくり団体と連携しつつ、活動対象地を徐々に広げ、市街地(丘の上)と周辺部を結ぶ散歩道や、旧街道、山里などにおける散歩道の可能性を検討し調査・企画・地図資料化を行なっていく。</p>

○取組経費 (単位:円)

事業費総額(見込み)		87,000
うち助成金(見込み)		60,000
主な経費内訳 (上位3項目)	印刷費(見込み)	44,000
	講師招聘費(見込み)	15,000
	講師謝礼(見込み)	20,000
	講演会+展示会場費(見込み)	8,000

*活動状況がわかる写真を入れてください。

*取組が完了していない場合は、取組経費は決算見込み額で記入してください。

その場合は、事業費総額及びうち助成金の()内に見込みと記入してください。

*この様式で助成金は確定しません。遅くとも3月13日までに実績報告書を提出してください。

取組名称	未来へつなぐ 風越山麓わくわくプロジェクト
団体名	丸山まちづくり委員会
代表者氏名	会長 小澤 伸好
地区名	丸山

取組みの目的	平成26年度策定した「丸山地区基本構想・基本計画」のテーマである「風越山とともに 住み続けたい自然豊かなまち 丸山」の実現に向け、今年度から各種事業に取り組んでいく。取組み事業の中でも、特に大切にしたい環境保全計画のテーマである、「みんなで守り育てる自然豊かな美しいまち丸山」を目指し、具体的な事業の実施を行う。
具体的内容	<ul style="list-style-type: none"> 丸山地区のシンボルとなる花木を地域の総意で選定し、各家庭の庭先をはじめ地域内をシンボル花木で埋め尽くし、きれいで美しいまちをつくる。そのために、全戸対象のアンケート調査を実施し、シンボル花木を決定し、次年度以降各家庭や地域内へ植栽する。(アンケート対象戸数1,400戸) 今回は、花木のアンケート調査にあたり専門家の意見をを聴き、候補となる数種の写真入りカラー印刷によるアンケート調査用紙の作成を行う。 地域のシンボルである風越山へ、新たな魅力ある資源として、風越山に自生するヤマザクラの種を採取し、播種から育苗、植栽へと繋げる。植栽する場所は、風越山の中腹で市内から真正面に見える、夕源平(ゆうげんびら)地籍の面積約1haへ植栽し10年後の開花を目指す。今年、専門家の指導を受け役員や地域の子供たちと共に、樹木選定、種の採取、播種し育苗管理を行う。



説明 風越山へのヤマザクラ植栽イメージ



説明 現地でのヤマザクラ種子採取作業



説明 丸山シンボル花木アンケート調査用紙



説明 ベニマンサクの挿木作業(中学生と)

取組の経過	<p>7月27日 プロジェクト構想(検討会議5回開催)</p> <p>5月24日 夕源平現地確認調査(享保会役員とプロジェクト役員)</p> <p>6月17日 夕源平の現地でヤマザクラ種子採取</p> <p>8月17日 ベニマンサク挿木作業(西中生徒と協働)</p> <p>8月18日 夕源平地権者とプロジェクト構想の覚書締結</p> <p>9月 丸山地区シンボル花木アンケート調査(全戸対象)</p> <p>10月 丸山地区シンボル花木決定(花:ナデシコ 木:ベニマンサク)</p> <p>以下実施予定</p> <p>2月 夕源平山林整備計画の検討</p> <p>3月初旬 ヤマザクラ播種、育苗及びベニマンサク育苗</p>
取組の効果	<ul style="list-style-type: none"> ・将来を担う子供たちも参加し世代を超えた地域ぐるみの活動により、地域コミュニティが深まる。地域内の環境を良くすることで、地域の絆を強めると共に犯罪や事故が無く、子育てがしやすく、暮らしやすい地域となる。 ・丸山の先人達が風越山と共に歩んできた歴史を学び、先人と風越山に感謝することで、将来の丸山地区をみんなで良くしようとするきっかけづくりとなる。 ・新たな地域資源を創り、今ある資源と結び付け、より魅力ある地域とすることでリニア時代の交流による地域活性化の受け皿づくりとして今取り組む。
今後の取組	<ul style="list-style-type: none"> ・シンボル花木の育苗を進め、各家庭や地域内へ苗をみんなの手で植え育てる。 ・ヤマザクラの育苗や植栽する場所の整備を進め、地域の幅広い年代層の交流の機会とし、地区外の人にも呼び掛けてこれらの活動を行っていく。(植樹祭は平成30年の春を予定) ・地域の子供たちにも参加してもらうことで、地域愛を育て将来丸山地区へ戻ってきたいと思える夢のある活動に繋げる。

○取組経費 (単位:円)

事業費総額(見込み)		292,248円(見込み)
うち助成金(見込み)		204,000円(見込み)
主な経費内訳 (上位3項目)	シンボル花木アンケート調査用紙印刷代	48,600円(見込み)
	専門家による技術指導費	135,400円(見込み)
	育苗資材費	20,000円(見込み)

*活動状況がわかる写真を入れてください。

*取組が完了していない場合は、取組経費は決算見込み額で記入してください。

その場合は、事業費総額及びうち助成金の()内に見込みと記入してください。

*この様式で助成金は確定しません。遅くとも3月13日までに実績報告書を提出してください。

取組名称	レンズを通してシャッターが人生を語る ～地元出身プロカメラマンに学ぶ～
団体名	上久堅公民館
代表者氏名	館長 橋爪 学
地区名	上久堅

取組みの目的	<ul style="list-style-type: none"> ・地元出身のプロカメラマンを講師に招き、地元の小・中・高生の未来を担う若者が将来の夢を描くための選択肢としての体験談、アドバイスを聞く機会とする。 ・地元出身の講師から上久堅の豊かな自然、風土の良さについて地域を離れてみて見えたことを聞き、地域が魅力を再発見する場とする。
具体的内容	<p>1月1日に開催予定の上久堅地区文化祭に地元出身のプロカメラマンを講師として招き、カメラ撮影監督作品「母べえ」(日本アカデミー賞撮影賞受賞作品)映画鑑賞会と地元若者とのトークショーの実施。</p> <p>地域が一丸となって取り組むことで地域全体が元気になるきっかけとしたい。地域住民が今住む地域への愛着をもてる場としたい。</p>



説明

トークショーの様子①



説明

トークショーの様子②

写真

写真

説明		説明	
----	--	----	--

取組の経過	H27.5.22 第1回打合せ会議 H27.6.26 第2回打合せ会議 H27.8.5 第3回打合せ会議 H27.9.3 第4回打合せ会議 H27.10.4 第5回打合せ会議、撮影監督と打合せ H27.10.6 開催チラシ配布 H27.10.23 文化祭従事者説明会(最終打合せ) H27.10.31 前日準備 H27.11.1 当日
取組の効果	<ul style="list-style-type: none"> ・地区民を中心に約200名の集客 ・開催後の参加者の感想として、地元を代表する長沼さんの話を聞いてよかった、大きなスクリーンで映画が見られてよかった等の意見があった。 ・実施に関わった役員からは、地区の多様な団体や地区民一人ひとりがそれぞれの思いを合わせて「みんなで成功させよう。楽しんでもらおう。」と取り組むことで心を一つにできたことが達成感となっている、地域を元気にする一歩が踏み出せたなどの意見があった。 ・トークショーに参加した若者からは、人前で話をすることに緊張したがいろいろな方にお世話になり役を務められた。地元出身の映画撮影監督と話をする貴重な機会に参加できてよかったとの感想があった。
今後の取組	<ul style="list-style-type: none"> ・若者が地域活動に参加しやすい事業の企画立案、若者世代の参画 ・今年参加してくれた若者を中心としてのグループ化、みらい飯田・上久堅を考える会への参加推進

○取組経費 (単位:円)

事業費総額(見込み)		264,191
うち助成金(見込み)		165,000
主な経費内訳 (上位3項目)	映画上映料	194,400
	チラシ印刷料	33,791

*活動状況がわかる写真を入れてください。

*取組が完了していない場合は、取組経費は決算見込み額で記入してください。

その場合は、事業費総額及びうち助成金の()内に見込みと記入してください。

*この様式で助成金は確定しません。遅くとも3月13日までに実績報告書を提出してください。

取組名称	おみやげプロジェクト第2弾・移動カーゴ「ポム」号製作プロジェクト
団体名	りんご並木コンシェルジュ
代表者氏名	杉田 直子 浜田 里美
地区名	飯田市内 りんご並木周辺

取組みの目的	飯田のもっとわくわくする楽しみ方を創造する。 まちなか観光力の創造。飯田の魅力を発信。 飯田市の「りんご並木」ならびにその周辺を、子どもからご年配の方まで一緒になって楽しむ交流の場としていきたい。 また、地元市民と観光客が繋がる場としてのブランディング。 飯田の魅力再発見とともに、観光力の創造。
具体的内容	りんご並木のイベントなどに参加する際に使用する「移動式組立屋台」の作製 固定店舗を持たなくても、一日だけのショップが開店できるポップアップショップとして、りんご並木以外にも出張販売ができるという目的もある。



説明 「ポム」号ネームプレート



説明 10月18日獅子舞フェスティバルにて



説明 メンバー集合写真(10月18日)



説明 販売風景(11月3日丘フェスにて)

取組の経過	<p>H27.9 自転車本体発注 到着 H27.10 鉄工作業開始(戸崎鉄工所)～木工作業開始(白子木工所) H27.10.18 りんご並木にて「獅子舞フェスティバル」に参加。 「ポム」号初お披露目。おみやげ販売。 H27.10 幌作製依頼(辻テント)～完成 ネームパネル発注(堀口紙器)～完成 H27.11.3 市民プール跡地公園にて「丘のまちフェスティバル」に参加。 「ポム」号、幌付きの完成形でお披露目。おみやげ販売(新作バッヂ発売) H27.11 「ポム」号保管場所確保。 H27.12 いいだFMラジオにて「ポム」号についてお話する。 H27.12 各協力事業所に支払い完了。</p>
取組の効果	<p>H27.10.18 りんご並木にて「獅子舞フェスティバル」に参加。 「ポム」号初お披露目。おみやげ販売。 →売り上げ 13,000円 H27.11.3 市民プール跡地公園にて「丘のまちフェスティバル」に参加。 「ポム」号、幌付きの完成形でお披露目。おみやげ販売(新作バッヂ発売) →売り上げ 22,700円</p>
今後の取組	<p>H28.1 「お練りまつり」に向けて、オリジナルのおみやげ作製開始。 H28.1 「お練りサロン」にて、お練りグッズの販売開始予定。 H28.3 「お練りまつり」にて「ポム」号を動員。お練りグッズ販売予定。</p>

○取組経費 (単位:円)

事業費総額		202,249円
うち助成金(見込み)		126,000円
主な経費内訳 (上位3項目)	自転車本体	39,000円
	鉄工加工費	70,200円
	木工加工費	27,000円
	幌製作費	13,120円

*活動状況がわかる写真を入れてください。

*取組が完了していない場合は、取組経費は決算見込み額で記入してください。

その場合は、事業費総額及びうち助成金の()内に見込みと記入してください。

*この様式で助成金は確定しません。遅くとも3月13日までに実績報告書を提出してください。

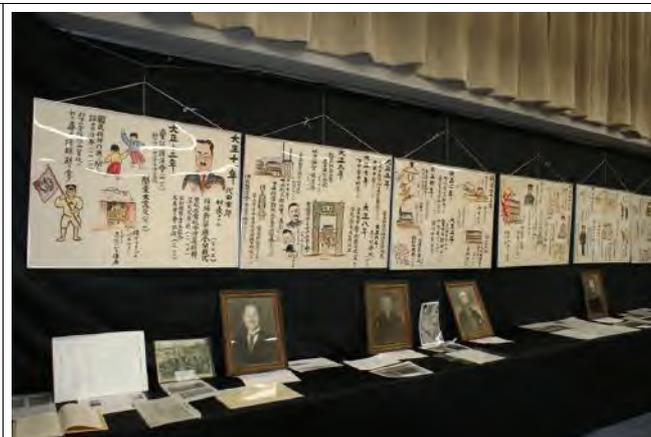
取組名称	木下紫水が描いた学校沿革史の保存とレプリカ(パネル)作成
団体名	竜丘地域自治会
代表者氏名	会長 熊谷 和美
地区名	竜丘

取組みの目的	<p>竜丘地区における自主自立の精神は、大正時代における自由教育に培われた文化的土壌を背景としているが、時代の変化とともに、その歴史や当時の教え等が風化しつつあります。また、少子高齢化・人口減少の進展は、地域のアイデンティティを脆弱化させ、コミュニティの活力低下にもつながりかねない状況です。こうしたことから、教育文化の起点となった自由教育に焦点を当て、自由教育の拠点であった竜丘小学校と協働することで、これまで以上に、自由画等の保存顕彰活動を推進するとともに、当時の自由教育に関する取り組みを学習し、竜丘地区固有のDNAを次代を担う人達に引き継ぐことができるよう、人づくりを進める環境の体系化を目指します。</p>
具体的内容	<p>自治会(区長会、児童自由画保存顕彰委員会、民俗資料保存会)と竜丘小学校が連携して「木下紫水が描いた学校沿革史保存顕彰実行委員会」を立ち上げました。まず、16枚の原画を紫外線等からの劣化等を防ぐため、1枚1枚の現状を確認し、美術博物館よりアドバイスをいただきながら9月に保存作業を行いました。また、レプリカ作成のため業者に原画の画像データへの取り込みと修正作業を委託した後、実行委員会にてデータの修正箇所や色合い等の確認作業を行い10月に完成しました。今回のレプリカ(パネル)作成により学習活動に活用するとともに外部への貸出に対応できるようになりました。具体的には11月の竜丘地区文化祭における特別企画展をはじめ市民大学講座による講演会を開催しました。また、1月には飯田市役所市民協働サロン、2月には駄科文化祭で展示し多くの皆様に見ていただきました。小学校では、6年生が2学期から3学期にかけて学校沿革史レプリカを教材に総合的な学習の授業を展開することができました。</p>



説明

原画の保存作業



説明

竜丘文化祭特別企画展



説明

市民大学講座



説明

竜丘小学校6年生 総合的な学習

取組の経過	<p>◇6月19日 原画の確認作業と事業の進め方検討(兼竜丘児童自由画保存作業)</p> <p>◇9月18日 第1回実行委員会の開催 原画の保存及びレプリカ画像の確認作業</p> <p>◇10月22日 レプリカ(パネル) 納品</p> <p>◇11月6～7日 竜丘文化祭にて学校沿革史パネル(全16枚)を展示 特別企画展「木下紫水の学校沿革史と当時の品々」</p> <p>◇11月6日 市民大学講座 講師:木下 陸奥氏 「竜丘の教育文化に対する紫水の想い」</p> <p>◇1月4日～15日 飯田市役所C棟の市民協働サロンにてパネル6枚を展示</p> <p>◇1月28日 第2回実行委員会の開催(兼竜丘児童自由画保存顕彰委員会) 今後の貸し出し方法等について</p> <p>◇2月7日 駄科文化祭にてパネル8枚を展示</p> <p>◆2学期～3学期 竜丘小学校6年生が総合的な学習の授業で学習</p>
取組の効果	<p>これまで、劣化がひどく、地区外はもとより、地区内でもなかなか実際に目にすることができなかった学校沿革史のレプリカ(パネル)を作成することで、文化祭等、様々な機会に、住民に学校沿革史を通じて竜丘地域の歴史に触れてもらうことができるようになりました。</p> <p>公民館と小学校に自治会も加わり協働で保存とレプリカ作成に取り組むことができた。地域全体が大正時代から保存されている学校沿革史を地域の歴史的価値のある財産として位置づけるとともに、自由教育に培われた文化的土壌によって現在があることを再認識することができました。</p> <p>小学校との連携により、学校教育の中でも学校沿革史のレプリカ(パネル)を活用した授業も行われました。今後も継続した学習の取り組みが可能となり、地育力の充実・強化とふるさと意識を醸成することが期待されます。</p>
今後の取組	<p>今後も地域の誇りである自由教育、自由画教育の気風を後世に繋げていくため、地域と小学校が連携し継続した学習に取り組み、地育力の充実・強化とふるさと意識を醸成していきます。</p> <p>また、竜丘の宝、地域資源として活用し、地域の魅力として広く発信し、竜丘地域としての特徴ある地域づくり活動につなげていきます。</p> <p>基本構想では、「自由画等の保存継承のための資料館建設」を中・長期的重点事業に位置づけており、自由教育の学習等の蓄積が、地域ぐるみの保存顕彰活動に結びつき、資料館建設運動への発展を目指します。</p>

○取組経費 (単位:円)

事業費総額(見込み)		349,752
うち助成金(見込み)		270,000
主な経費内訳 (上位3項目)	2つ折り中性紙ホルダー・かぶせ箱	105,316
	原画複写(カラースキャン・画像修復・カラー印刷出力)等	239,436
	講師謝金	5,000

*活動状況がわかる写真を入れてください。

*取組が完了していない場合は、取組経費は決算見込み額で記入してください。

その場合は、事業費総額及びうち助成金の()内に 見込み と記入してください。

*この様式で助成金は確定しません。遅くとも3月13日までに実績報告書を提出してください。

取組名称	龍江4区の元気を創造する活動
団体名	NPO法人 七和の会 龍江四区 地域づくり委員会
代表者氏名	理事長 川手利明 区長 藤本義隆
地区名	飯田市龍江四区

取組みの目的	龍江4区には7つの神社があり、それぞれが祭礼を行っており、4区全体のお祭りが行われることはなかった。NPO法人が開催してきたほたる祭りを地域全体の祭りとするべく、平成25年から地域づくり委員会を主体とした実行委員会形式にして開催してきている。祭りに使用する什器備品を購入するとともに、地域を元気にすることを目的に講演会を開催し、地域の盛り上げを図る
具体的内容	① 祭りをはじめとした地域の行事に使用する什器備品を購入した ② ほたる祭りを実行委員会を構成する中で開催した ③ 株玄の政所利子先生をお招きして「みんなで考えよう、龍江の良いところ・誇れるところ」の講演会を開催した



説明

テント村の賑わい



説明

活躍する焼き鳥器



説明

綿菓子と金魚すくい



説明

地域の元気を考える講演会

取組の経過	① 5月14日 ほたる祭り第1回実行委員会 ② 6月18日 ほたる祭り第2回実行委員会 ③ 6月27日 第9回ほたる祭り開催 1,000人を超える参加者で賑わう ④ 6月28日 地域づくりを考える講演会『みんなで考えよう、龍江の良いところ・誇れるところ』を開催 50名が聴講
取組の効果	① 9回となったほたる祭りが盛大に開催され、特に子供連れの若い参加者が多く集まった ② 講演会に参加した皆さんから、地域の見方が変わったとの感想が聞かれ、今後の地域づくりに大きなヒントを頂いた
今後の取組	① ほたる祭りを継続して開催していく ② 地域の元気を発掘する事業を継続して取り組む ③ ふれあい七和館を起点とした地域づくりを進める

○取組経費 (単位:円)

	事業費総額	504,250
	うち助成金	270,000
主な経費内訳 (上位3項目)	講演会開催費用	76,350
	祭り開催費用及び4区関係什器購入費	305,000
	七和の会 什器購入費	122,900

*活動状況がわかる写真を入れてください。

*取組が完了していない場合は、取組経費は決算見込み額で記入してください。

その場合は、事業費総額及びうち助成金の()内に見込みと記入してください。

*この様式で助成金は確定しません。遅くとも3月13日までに実績報告書を提出してください。

取組名称	安全安心なまちづくり事業(街頭防犯カメラ設置事業)
団体名	橋北まちづくり委員会・橋南まちづくり委員会・東野まちづくり会議 (協働活動)
代表者氏名	会長 宮崎 栄治(橋北) ・ 会長 原 勉(橋南) ・ 会長 會川 義明(東野)
地区名	橋北・橋南・東野

取組みの目的

平成25年度以降、橋北・橋南・東野地区において、連続して不審火が発生しており、各地区において消防、消防団、警察、防火防犯委員等が巡回等の対策を行ってきた。
 飯田の中心市街地であるこの地域には、市役所をはじめ、飯田駅、動物園、図書館、美術博物館など公共施設が多数あり、また商店街へ食事や買い物を楽しむため来訪される方々に対し、安全安心を提供できる対策として、昨年度に引き続き街頭防犯カメラを設置する。
 巡回等に加えて、街頭防犯カメラが設置されることで面的整備が進み、地域の安全向上が図られる。

具体的内容

- 街頭防犯カメラを4箇所(カメラ4台/箇所)に設置
 - ・橋北1箇所(橋北臨時駐車場)、橋南2箇所(松尾町3丁目、箕瀬町3丁目)、東野1箇所(元町)
- プライバシーの問題や事件発生時には警察とのやり取りがスムーズに行えるよう、地区として設置基準を定め運用する。
- 街頭防犯カメラ設置と合わせ、防犯パトロール等を実施する。

説明

- × 不審火発生箇所
- 今年度カメラ設置箇所
- 昨年度カメラ設置箇所

取組の経過	<p>【街頭防犯カメラ設置事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自治会に設置を呼び掛けるとともに設置希望をとる ・4月 面的整備により更に効果を高めるため、隣接する橋北・橋南・東野地区協働でムトス助成事業に応募 ・6月 ムトス飯田助成金交付決定 ・6月 設置完了(橋南、東野) ・8月 設置完了(橋北)  <p>【防犯パトロール】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各地区において、不審火発生後や年末等に随時実施 ・5地区合同パトロールの実施(6月20日) 右写真 
取組の効果	<p>重大な犯罪に限らず小さなトラブルなども抑止することによって、周辺から安心して買い物客などが街を訪れていただけるようになる。</p> <p>このことは商店街とともに発展してきた地域の為でもあり、まちづくり委員会が安定的に事業を行っていくことにつながる。</p> <p>また、3地区連携して街頭防犯カメラを設置したことにより、面的効果が向上している。</p> <p>(具体例)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・駐車場へのゴミの不法投棄、無断駐車が減少(橋北) ・交通事故及び暴力団抗争捜査等のため警察への画像提供(東野)
今後の取組	<p>単年度では必要箇所に設置しきれないので、引き続き街頭防犯カメラを設置していく。</p> <p>プライバシーの保護も考慮する中で、街頭防犯カメラがあり安心だという意識を周辺地域の方に周知していく。(広報・ICTVなども利用)</p> <p>まち全体の防犯力向上のためには、死角をなくすことが必要である。個人のプライバシーにも配慮しながら、3地区が連携して街頭防犯カメラの設置台数を増やしていきたい。</p>

○取組経費 (単位:円)

事業費総額(見込み)		485,136
うち助成金(見込み)		300,000
主な経費内訳 (上位3項目)	防犯カメラ設置費	485,136

*活動状況がわかる写真を入れてください。

*取組が完了していない場合は、取組経費は決算見込み額で記入してください。

その場合は、事業費総額及びうち助成金の()内に見込みと記入してください。

*この様式で助成金は確定しません。遅くとも3月13日までに実績報告書を提出してください。

取組名称	心きらめくプロジェクションマッピング&ライトアップ事業
団体名	橋北面白倶楽部
代表者氏名	座長 相津博人
地区名	飯田市 橋北地区

取組みの目的	旧飯田測候所が登録有形文化財に指定され、整備された。従来はイルミネーションで装飾して旧飯田測候所を知ってもらうことや住民交流を図ってきたが、整備された建物に電飾の取り付けができなくなった。そこで、新たに整備された建物の壁に、映像をプロジェクションマッピングで映しだすとともに、建物や脇坂門をライトアップして文化財としてのすばらしさを多くの市民に感じてもらうことにより、住民交流の場とし、コミュニティと賑わいを生み出す。エネルギーや環境問題への意識の高揚を図る
--------	---

具体的内容	<p>【面白倶楽部】</p> <p>Aプロジェクションマッピングにて旧飯田測候所を装飾(イベント実施時)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・飯田線の歴史とリニアに移行する姿を映し出す。 <p>B旧飯田測候所の建物と脇坂門をライトアップする。敷地内は従来の電飾にて飾りつけをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・電飾装置設置、片付け(面白倶楽部員ほか地域内協力者を広く募って実施) ・ライトアップ設置、片付け。毎日の電源管理(面白倶楽部員、おひさま進歩ほか協力者にて実施) <p>C環境教材(人力発電装置)を作成し、子供達と遊びながら学習をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・発電機、インバータ、コントローラー、蓄電池等準備し組立てる。(南信州おひさま進歩)
-------	---



説明 プロジェクションマッピング櫓の準備



説明 下伊那農業高校生徒さんの歌



説明 イルミネーション



説明 イルミネーション

取組の経過	<p>6月20日 プロジェクションマッピングソフトの購入</p> <p>11月21日 23日 28日 12月5日 12日 13日 19日 旧飯田測候所敷地内イルミネーションの飾り付け</p> <p>12月20日～1月8日 イルミネーションフェスタ開催 イルミネーション点灯 PM5時半～PM9時まで</p> <p>12月22日 プロジェクションマッピング準備の為PM8時集合 深夜12時30分まで</p> <p>12月23日 AM9時集合 クリスマスイベント準備 PM3時よりイベント開催 PM6時 プロジェクションマッピング上映 (雨天の為 上映1回)</p> <p>12月24日 AM10時 イベントで使ったテントなどの撤去</p> <p>1月 8日 イルミネーション片付け</p>
取組の効果	<ul style="list-style-type: none"> ・地域に関わる映像の投影により、地域の一体感を高める。 ・地区住民に建物や脇坂門への関心を高めてもらう。地域の誇りと感じてもらう。 ・電飾の飾りつけを多くの方に関わってもらい、世代間交流と地域への愛着の醸成につなげる。 ・再生可能エネルギーの普及促進と、地域内にエネルギーへの関心を高める。
今後の取組	<ul style="list-style-type: none"> ・旧飯田測候所をコミュニティの拠点として利活用を進める。 ・プロジェクションマッピングの企画に他団体の協力を呼びかけたい ・橋北地区内のほかの建造物などへも利用を広げたい。 プロジェクションマッピング (教育会館)(創造館)(浜井場小学校円筒校舎) イルミネーション・LEDライト (創造館)(春草公園)(教育会館) ・再生可能エネルギーについて住民の理解を広げ、節電意識の高まりを図る。 ・環境教材(人力発電)を、子どもたちを交えて作成しイベントに使うことを考える。

○取組経費 (単位:円)

	事業費総額(面白倶楽部)	491,380
	うち助成金(面白倶楽部)	200,000
主な経費内訳 (上位3項目)	音響LEDライト関係費	241,678
	プロジェクションマッピング関連費	130,166
	イルミネーション備品購入費	65,249

*活動状況がわかる写真を入れてください。

*取組が完了していない場合は、取組経費は決算見込み額で記入してください。

その場合は、事業費総額及びうち助成金の()内に見込みと記入してください。

*この様式で助成金は確定しません。遅くとも3月13日までに実績報告書を提出してください。

取組名称	心きらめくプロジェクションマッピング&ライトアップ事業
団体名	特定非営利活動法人 南信州おひさま進歩
代表者氏名	松江 良夫
地区名	飯田市 橋北地区

取組みの目的	旧飯田測候所が登録有形文化財に指定され、整備された。従来はイルミネーションで装飾して旧飯田測候所を知ってもらうことや住民交流を図ってきたが、整備された建物に電飾の取り付けができなくなった。そこで、新たに整備された建物の壁に、橋北にちなんだ映像をプロジェクションマッピングで映しだすとともに、建物や脇坂門をライトアップして文化財としてのすばらしさを多くの市民に感じてもらうことにより、住民交流の場とし、コミュニティと賑わいを生み出す。旧測候所は市の環境活動の拠点としての利用も進められており、今年は人力発電装置を作成し、その環境教材を利用して作った電気で電飾を光らせる試みを行う。参加者のエネルギーや環境問題への意識の高揚を図る。
具体的内容	◇旧飯田測候所の敷地内をイルミネーションで装飾。建物をライトアップする。 ・測風塔、東屋、脇坂門、緑地等をイルミネーションで装飾。イルミネーションフェスタ期間中に点灯。 ◇プロジェクションマッピングを旧飯田測候所建物壁面へ投影(イベント実施時) ・橋北地区の鉄道の歴史 リニア新幹線開通をテーマにした映像を投影。 ◇環境教材(自転車発電装置)を作成し、その環境教材を子供達と遊びながら学習できるプログラムを作成し、遊びの力が電気の力になることを学習してもらう。また発電した電気は電飾に利用する。 NPO法人南信州おひさま進歩の会員、面白倶楽部員と協働して実施 ◇手回し発電体験や子供向け環境クイズを実施し、環境問題への意識の高揚を図る。



説明 ライトアップとイルミネーション



説明 自転車発電



説明 自転車発電体験の様子



説明 プロジェクションマッピング

取組の経過	<p>4月初旬:橋北面白倶楽部と南信州おひさま進歩が、「イルミネーションフェスタ2016」にて協働で取り組むことを確認。ムトス飯田まちづくり事業に申請書を提出。</p> <p>10月:自転車発電設計・部材の選定</p> <p>11月初旬:橋北面白倶楽部との打合せ</p> <p>11月中旬:自転車発電部材発注・組み立て</p> <p>11月15日～12月22日:イルミネーションの飾りつけとプロジェクションマッピング準備</p> <p>12月20日～1月8日:イルミネーション点灯(PM5:30からPM9:00)</p> <p>12月23日:プロジェクションマッピング・クリスマスイベント開催(PM3:00～PM5:00)</p> <p>◇環境ブース◇</p> <p>自転車発電体験・環境学習機器を使った太陽光発電、手回し発電体験を実施。子どもたちには環境クイズを実施。</p> <p>◇プロジェクションマッピング◇ PM6:00上映(悪天候のため1回のみの上映となる)</p> <p>12月31日から1月1日:年越しイルミネーション開催</p>
取組の効果	<ul style="list-style-type: none"> ・旧飯田測候所や脇坂門など、古くから大切にされてきた施設を利用し、イルミネーションやプロジェクションマッピングを実施することで、地域の方々の一体感を高めることにつながった。 また、フェスタ期間中は平日でも多くの方の来場があり、地域外の方にも足を運んで頂けたことで、橋北地区の魅力、歴史的な建物の存在を知ってもらえる機会となった。 ・自転車発電体験では、自分の力が電気に変わることの驚きや楽しさ、大変さを体験してもらえた。環境ブースを通して、エネルギーの大切さや環境問題へ関心を向けていただけた。
今後の取組	<ul style="list-style-type: none"> ・旧飯田測候所をコミュニティーの拠点として利活用を進める。 ・環境イベント等で自転車発電体験を実施。電気を生み出す力を体感してもらい、省エネ・環境教育の推進を図る。 ・橋北地区内のほかの建造物などへも利用を広げたい。 <p>プロジェクションマッピング (教育会館)(創造館)(浜井場小学校円筒校舎)</p> <p>イルミネーション・LEDライト (創造館)(春草公園)(教育会館)</p> <p>その際、橋北公民館の太陽光パネルから蓄電した電気を使うなどして、再生可能エネルギーについて住民の理解を広げ、節電意識の高まりを図る。</p>

○取組経費 (単位:円)

事業費総額(南信州おひさま進歩)		152,819
うち助成金(南信州おひさま進歩)		100,000
主な経費内訳 (上位3項目)	自転車発電制作費	110,600
	イルミネーション購入費	37,045
	その他	5,174

*活動写真を入れてください。

*取組が完了していない場合は、取組経費は決算見込み額で記入してください。

その場合は、事業費総額及びうち助成金の()内に見込みと記入してください。

*この様式で助成金は確定しません。遅くとも3月13日までに実績報告書を提出してください。

取組名称	神ノ峯城史跡整備事業
団体名	上久堅地区まちづくり委員会
代表者氏名	塩沢 一志
地区名	上久堅

取組みの目的	三遠南信自動車道のインター供用開始を目前に控えて、地域に残る観光資源を整備することにより環境景観の向上と観光誘客の増加を目指すため、特に地域のシンボルであり戦国時代の城址でもある「神ノ峯」を整備し、史跡としての機能を高める
具体的内容	<ul style="list-style-type: none"> ・史跡内植栽の剪定・下刈りを行うことにより、全体美化に努めるとともに史跡からの眺望・山麓からの城址の視認性を確保する ・つつじ、桜等の消毒を実施し、開花状況の向上を図る ・崖際に転落防止柵を設置し、散策時の安全性向上を図る すべての作業は特別な役割分担をすることなく神之峰活性化委員会と協働して行う



説明 下刈り風景



説明 城址公園内調査



説明 消毒風景(H27参考)



説明 山頂からの展望

取組の経過	<p>○6月1日 会議 本年度計画の確認と今後の方針についての話し合い</p> <p>○7月5日 公園下見 下刈りの範囲について調査</p> <p>○7月12日 公園内下刈り 公園内の灌木下刈りとつつじの剪定など実施</p> <p>○12月25日 公園下見 植栽消毒の範囲と転落防止柵設置場所の確認</p> <p>今後の予定</p> <p>□2月1日 会議 消毒と柵設置作業の役割分担</p> <p>□2月中旬 植栽消毒作業</p> <p>□2月下旬 転落防止柵設置作業</p>
取組の効果	<ul style="list-style-type: none"> ・城址美化、展望域確保、安全対策の実施により観光資源としての価値が向上する ・利便性の向上した城址へ訪れることにより地元住民が地域の地理、歴史、文化等に理解が深まる ・地区外からの訪問者増加に対応する足がかりの構築 ・住民自らが地域のシンボルの整備を手掛けることにより地域を愛する心と将来的な集客に向けての自信の萌芽
今後の取組	<ul style="list-style-type: none"> ・城址整備の事業を継続し、より一層の機能向上をめざす ・城址を利用した行事、イベントの企画 ・地区内外へのPR活動の実施 <p>等、地域全体を巻き込んで地元のシンボルである「神ノ峯」を中心とした振興を図る</p>

○取組経費 (単位:円)

	事業費総額(見込み)	370,040円
	うち助成金(見込み)	300,000円
主な経費内訳 (上位3項目)	転落防止柵設置費	356,400円
	植栽消毒薬剤費	13,640円

*活動状況がわかる写真を入れてください。

*取組が完了していない場合は、取組経費は決算見込み額で記入してください。

その場合は、事業費総額及びうち助成金の()内に見込みと記入してください。

*この様式で助成金は確定しません。遅くとも3月13日までに実績報告書を提出してください。

取組名称	神ノ峯城史跡整備事業
団体名	神之峰活性化委員会
代表者氏名	塩沢 一志
地区名	上久堅

取組みの目的	三遠南信自動車道のインター供用開始を目前に控えて、地域に残る観光資源を整備することにより環境景観の向上と観光誘客の増加を目指すため、特に地域のシンボルであり戦国時代の城址でもある「神ノ峯」を整備し、史跡としての機能を高める
具体的内容	<ul style="list-style-type: none"> ・史跡内植栽の剪定・下刈りを行うことにより、全体美化に努めるとともに史跡からの眺望・山麓からの城址の視認性を確保する ・つつじ、桜等の消毒を実施し、開花状況の向上を図る ・崖際に転落防止柵を設置し、散策時の安全性向上を図る すべての作業は特別な役割分担をすることなく上久堅地区まちづくり委員会と協働して行う



説明

下刈り風景



説明

城址公園内調査



説明

消毒風景(H27参考)



説明

山頂からの展望

取組の経過	<p>○6月1日 会議 本年度計画の確認と今後の方針についての話し合い</p> <p>○7月5日 公園下見 下刈りの範囲について調査</p> <p>○7月12日 公園内下刈り 公園内の灌木下刈りとつつじの剪定など実施</p> <p>○12月25日 公園下見 植栽消毒の範囲と転落防止柵設置場所の確認</p> <p>今後の予定</p> <p>□2月1日 会議 消毒と柵設置作業の役割分担</p> <p>□2月中旬 植栽消毒作業</p> <p>□2月下旬 転落防止柵設置作業</p>
取組の効果	<ul style="list-style-type: none"> ・城址美化、展望域確保、安全対策の実施により観光資源としての価値が向上する ・利便性の向上した城址へ訪れることにより地元住民が地域の地理、歴史、文化等に理解が深まる ・地区外からの訪問者増加に対応する足がかりの構築 ・住民自らが地域のシンボルの整備を手掛けることにより地域を愛する心と将来的な集客に向けての自信の萌芽
今後の取組	<ul style="list-style-type: none"> ・城址整備の事業を継続し、より一層の機能向上をめざす ・城址を利用した行事、イベントの企画 ・地区内外へのPR活動の実施 <p>等、地域全体を巻き込んで地元のシンボルである「神ノ峯」を中心とした振興を図る</p>

○取組経費 (単位:円)

	事業費総額(見込み)	370,040円
	うち助成金(見込み)	300,000円
主な経費内訳 (上位3項目)	転落防止柵設置費	356,400円
	植栽消毒薬剤費	13,640円

*活動状況がわかる写真を入れてください。

*取組が完了していない場合は、取組経費は決算見込み額で記入してください。

その場合は、事業費総額及びうち助成金の()内に見込みと記入してください。

*この様式で助成金は確定しません。遅くとも3月13日までに実績報告書を提出してください。

（ふりがな）	いいだしりついいだひがしちゅうがっこう		
団体名称	飯田市立飯田東中学校		
（ふりがな）	こうちょう みぶ ひでふみ		
代表者氏名	校長 壬生 英文		
設立年月日	昭和22年 4月		
ホームページ	http://higasijh.ed.iidanet.jp		
活動内容	  <p>飯田市のりんご並木は、昭和28年、飯田大火からの復興の中、飯田東中生の発案でスタートしました。一面の焼け野原は復興され、きれいな市街地となりました。そして、その時の中学生の「自分たちの手で美しい街をつくろう」という願いは、今もなお、“並木のこころ”として、受け継がれています。飯田東中学校の生徒は、りんごを育て収穫するために活動しているのではなく、りんごの世話を通して、人と人が助け合う街づくりの一助となり自分自身が成長できる事を願い、りんご並木を守り続けています。この並木を通る時、りんご並木に込められている願いを感じてください。</p>		
PRしたいこと	<p>飯田大火からの復興や東中の校舎焼失にあたり、全国の方々からのたくさんの支援をいただきました。私達飯田東中生は、『時代をこえた恩返し』をキャッチフレーズに、食べて少しでも笑顔を取り戻して頂ければと、飯田市に避難中の南相馬の方々をはじめ多くの方にりんごを贈りました。またアルミ缶回収で得た資金を被災地の植樹活動や鬼怒川で被災された方々に届けました。まちづくり活動の一環としてりんごジャム等の販売も行っています。</p> 		
他団体との連携が可能なこと・したいこと	<p>りんごの木の管理はとても手間のかかる仕事です。中学生だけではできないことが山ほどあります。消毒などは、アドバイザーの皆さんやシルバー人材センターの方々のお世話になっています。また、きれいに咲き誇る花々は、下伊那農業高校の皆さんが育てた苗を、中学生と高校生と一緒に植えたものです。りんご並木は、多くの方々の力と応援で守られています。飯田東中学校りんご並木後援会や花を植える会をはじめとする地域の皆さんと連携し、これからもこのりんご並木を守り、また並木周辺で働く方々と共に並木を通したまちづくり(並木の観光ガイドやりんごを使ったお菓子の開発)を行っていききたいと思います。</p>		
困っていること	<p>街の真ん中にある皆の並木通りですが、ときどきペットボトルや空き缶などのゴミが捨てられていることがあります。私たちも、きれいな並木通りになるよう頑張って手入れしていきますので、地域の皆さまのご協力をお願いします。</p>		
会員募集(募集の場合は○、しない場合は×)	×	条件等	
ボランティア募集(募集の場合は○、しない場合は×)	○	条件等	特にありません。摘果作業や収穫作業の折には、是非とも参加して頂きたいです。

(ふりがな)	いなしがくかい
団体名称	伊那史学会
(ふりがな)	はらだ のぞむ
代表者氏名	原田 望(三代 島村)
設立年月日	1952年8月
ホームページ	「伊研協」で検索

- 1 毎年1月に年次大会(総会)を開催。本年度で63回を迎え記念講演(一般聴講無料)を行っている。
本年はお練り・御柱祭の年。
「知久平諏訪神社の御柱祭今昔」と題し知久一彦氏が講演する。
- 2 毎月1日・月刊郷土誌「伊那」(年会費6,000円)を発行。
本年度で復刊64巻・通巻1052号を数え、歴史・民俗・自然等各分野にわたり、これまで約8千件の論文を収録し貴重な伊那谷の文化資産となっている。
- 3 古文書クイズは621回を数え、当地方の古文書学習のレベルアップに一役買い、毎月の応募者には県外の参加者もいる。
- 4 郷土巡礼は458回を数え郷土の歴史や地名を尋ねるのみならず、県外へも毎年1回2泊3日で足を延ばし学識見分を深めている。

活動内容



郷土巡礼で富岡製糸場を訪れた一行。



11月には天竜村を訪れ「満島番所」で

豊丘村史学会・喬木村史学会・下条村史学会・高森町史学会の他、飯田市には毛賀史学会など地域の史学会があり、独自の活動の他、本伊那史学会への集金配本など協力をしてくれている。

それらの史学会へも参加して地域の歴史文化に親しんで頂きたい。

PRしたいこと

他団体との連携 伊那谷研究団体協議会で伊那谷地名研究会のフィールドワークと郷土巡礼を共催。

困っていること 会員の高齢化で毎年百名くらいが亡くなって行き、活字離れにより新入会員も減少。5千部と全国一を誇った郷土誌も今や1200部の発行で数年の内に自然消滅の危機にある。

会員募集	○	条件等	年会費 6,000円 月刊「伊那」
ボランティア募集	×	条件等	

(ふりがな)	へいせい27ねんど かなえそうねんだん		
団体名称	H27年度 鼎壮年団		
(ふりがな)	くまがい たかゆき		
代表者氏名	熊谷 孝幸		
設立年月日	昭和16年		
ホームページ	無		
活動内容			
PRしたいこと	<p>平成27年度、鼎壮年団は[仲間と築こう素敵な鼎(まち)を!!]をスローガンに掲げ、鼎地区の地域活動を行っています。鼎壮年団、各支部ごと活動状況は、異なり特色在ります。獅子舞や太鼓、お神輿、清掃活動や節分、納涼祭・収穫祭。団員各々が、地域活動・支部活動に全力で取り組んでおります。今後、社会的問題でもある人員不足を踏まえて、団員数の確保・増員を目指し、温故知新で、新しい発想・感覚も取り入れ、魅力ある活動組織として、鼎地区、まさかの飯田市を各支部、各個で盛り上げて行けたらと思っております。</p>		
他団体との連携が可能なこと・したいこと	鼎小学校・PTA等と連携して、興味ある鼎小学生とのダンボール獅子作り		
困っていること	人口減少と非協力時代に伴い、団員減少の一途を辿っています…。数年後には、組織として運営不可能になる可能性が高い。		
会員募集(募集の場合は○、しない場合は×)	○	条件等	鼎地区在住の20歳から40歳までの男女
ボランティア募集(募集の場合は○、しない場合は×)	×	条件等	

(ふりがな)	いいだしょうねんしょうじょがっしょうだん		
団体名称	飯田少年少女合唱団		
(ふりがな)	やたかこうじ		
代表者氏名	育成会長 矢高仰児		
設立年月日	1989年 7月 1日		
ホームページ	飯田文化会館ホームページ内(http://www.city.iida.lg.jp/site/bunkakaikann/)で、団員 募集や定期演奏会の情報を発信。		
活動内容	<p>飯田下伊那地域の合唱好きな園児から高校生まで20名ほどが集い、庄司裕江氏、塩澤哲夫氏 各先生方の指導のもと活動している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・通常練習:毎週土曜日午後4時～6時。合唱音楽を中心に、体を動かすことによって音楽の基礎を楽しく学べる「リトミック」と「ソルフェージュ」も行う。 ・定期演奏会:年1回開催。平成27年度は、12月20日(日)午後2時より、飯田市公民館で開催。友情出演の男子4名も迎え、第1部では飯沼信義先生の作品「名づけられた葉」「くぬぎの木」他を披露。第2部、第3部では、クリスマスソングや日本の歌メドレー、愛唱歌を披露。約250名の観客に楽しんでもらうことができた。 ・合宿:年に1回実施。定期演奏会に向け、夏に1泊2日で集中的に練習を行う。 ・その他:長野県少年少女合唱祭や伊那谷文化芸術祭に毎年参加。この冬、かみかみセンサーのPRソング『カミカミカミン』を収録。 		
	 		
PRしたいこと	<p>合唱団の活動を通じて、学年や地域を越えた仲間と絆を深め、豊かな感性や思いやりの心をはぐくむことに繋がっている。</p> 		
他団体との連携が可能なこと・したいこと	他団体のコンサートへの賛助出演も時期によっては参加可能。		
困っていること	中高生は部活動や習い事、受験勉強などで忙しいこと、子どもたちの興味の多様化、合唱は学校でもできる活動であること、などから、団員の数が減少している。今後の活動をさらに発展させるべく、活動の場(演奏発表会の機会)を広げ、団員増加につなげていきたい。		
会員募集(募集の場合は○、しない場合は×)	○	条件等	常時行っている。条件:幼稚園、保育園の年中児～高校3年生(保護者の送迎が可能な人)
ボランティア募集(募集の場合は○、しない場合は×)		条件等	

(ふりがな)	いいだしりつちよしょうがっこう		
団体名称	飯田市立千代小学校 (児童会)		
(ふりがな)	かたせ つきこ		
代表者氏名	片瀬 月子		
設立年月日	平成25年5月1日		
ホームページ			
活動内容	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>千代っ子の森に地域応援団で遊歩道を作りました。子どもたちのマラソンロードと千代っ子の森がつながりました。</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>5年生が地域の方の協力を得ながらの千代野池の炭焼き窯で炭焼きをしました。作った炭を使って、環境美化活動につなげたり、電池づくりなどを</p> </div> </div>		
PRしたいこと	<p>千代小学校の裏山にオオスズメバチの巣が作られていたので、地域の方をお願いして取ってもらいました。職員は、初めて見る巨大な蜂の幼虫を巣から出したあまりの大きさに驚きました。地域の方には、子どもたちの安全のためにこんなところでも助けていただいています。</p> 		
他団体との連携が可能なこと・したいこと	地域の公民館活動に積極的に参加する。地域文化を継承している方と子どもたちの活動に地域文化を取り入れていく。		
困っていること			
会員募集(募集の場合は○、しない場合は×)		条件等	
ボランティア募集(募集の場合は○、しない場合は×)	○	条件等	学校支援(環境整備、学習支援、安全支援、地域文化継承支援など)に関わっていただける方

(ふりがな)	いいだしれんごうふじんかい		
団体名称	飯田市連合婦人会		
(ふりがな)	もりもと みほこ		
代表者氏名	森本 美保子		
設立年月日	1957年 5月		
ホームページ			
活動内容	<ul style="list-style-type: none"> ○行政事業への参画 (やまびこマーチ、人形劇フェスタ、生活展ほか) ○各地区行事に参加協力 (文化祭、運動会、ふれあい広場、市民のつどい) ○平和運動 (災害募金、世界平和運動、平和学習研修) ○環境問題への取組 (資源物回収、ゴミ問題学習、もったいないの気持ちで食材を活かす料理学習) ○福祉活動 (床ずれクッション製作配布、ふれあい広場への参画) ○家庭教育学習 ○国際交流関係協力 (国際交流の夕べ) ○伊勢市との親善交流 (婦人会交流会、小学生交流会への協力) ○各種学習会への参加 		
PRしたいこと	<ul style="list-style-type: none"> ○社会教育団体として、まちづくりに貢献。 ○行政の行事や各地区公民館に協力 ○生涯学習の場 		
他団体との連携が可能なこと・したいこと	<ul style="list-style-type: none"> ○環境学習 ○ボランティア活動 		
困っていること	○会員の高齢化		
会員募集(募集の場合は○、しない場合は×)	○	条件等	婦人ならどなたでも
ボランティア募集(募集の場合は○、しない場合は×)		条件等	



(ふりがな)	カキハダ ヨウチゴキョーゾ		
団体名称	上飯田 4市グループ		
(ふりがな)	マツ シタ ミナコ		
代表者氏名	松下 みよ子		
設立年月日	63年6月 日	 	
ホームページ			
活動状況の写真	 		
活動内容	<p>丸山小学校=年生全員(160名)と 季節の野菜を作り 成長課定を知り 収穫の表紙をあげる</p> <p>大豆一粒運動に参加し 蕨粉を作り 収穫祝として「おはぎ」を 子供と併試食し 表紙を味う</p>		
PRLしたいこと	<p>やわらかな 畑の土に親しみ毎回 仲々土と遊び 離れぬ。こんな場所が 丸山地区には 今よりないので 子供にもっと 土にふれ合う 時間をほしい。</p>		
他団体との連携 が可能なこと・し たいこと			
困っていること	<p>仲間々 高齢化と有り 活動が たんたんと 大変になって ほしい仲間と 今年 埼玉 球な 人々 3人 として ほしい 高齢化の波に 来て ほしいま(た</p>		
会員募集(募集の 場合は○、しない場合 は×)	条件等		
ボランティア募 集(募集の場合は○、 しない場合は×)	条件等		

(ふりがな)	いいだ かんこうがいの の かい		
団体名称	飯田観光ガイドの会		
(ふりがな)	しみず まさあき		
代表者氏名	清 水 正 明		
設立年月日	平成 8年 10月 21日		
ホームページ			
活動内容		現 地 研 修 会 の 様 子	
PRしたいこと	<ol style="list-style-type: none"> 1. 観光ガイドの会パンフレット「案内人と歩く城下町飯田」の改訂版発行、関係施設に配布 2. 元善光寺御開帳時、寺境内の観光案内ブース支援 3. やまびこマーチ「おもてなしコース」・「案内人と歩く5Kmコース＝赤石コース」のご案内 4. 「飯田駅観光案内所」に於ける土・日・祭日・イベント時の案内所業務支援 5. 月例会の座学・現地研修による観光案内スキルの向上、研鑽 6. りんごん翌日の清掃活動への参加 6. 観光案内 ①丘の上ガイド ②しらびそ高原～下栗の里案内 ③桜守ガイド ほか 		
他団体との連携が可能なこと・したいこと	<ol style="list-style-type: none"> 1. 飯田、下伊那地区の観光案内は、ご依頼があればどこでもご要望にお応えできるように準備しています。是非お声をお掛け下さい。 2. 生活している場所でも、案外知らないことが多くあります。一度案内人と一緒に住み慣れた地区を歩いてみませんか、思わぬ発見があるかも知れません。 3. ご案内はお一人様から団体様まで可能です。お申し込み窓口は飯田市観光課です。 		
困っていること	<ol style="list-style-type: none"> 1. まだまだ知名度が低く、「飯田観光ガイドの会」を活用していただける場が少ない。 2. 会員数の確保・増員が難しく、案内依頼が集中した場合の対応が柔軟にできない。 		
会員募集(募集の場合は○、しない場合は×)	○	条件等	<ol style="list-style-type: none"> 1. 飯田・南信州に愛着のある方で、ご案内する事に興味があり、かつウィークデーの日中にガイドが可能な方。 2. 年会費 1, 000円
ボランティア募集(募集の場合は○、しない場合は×)	×	条件等	



りんごん翌朝の清掃活動成果

(ふりがな)	ろうどくほうし の かい こえ の わ		
団体名称	朗読奉仕の会 「声の輪」		
(ふりがな)	なかむら ちよこ		
代表者氏名	中村 千代子		
設立年月日	S56年12月9日朗読奉仕の会発足 S57年4月「声の輪」結成		
ホームページ			
活動内容	 <ol style="list-style-type: none"> 1. 録音図書(声の本)を作成する。 2. 希望があれば、対面朗読を行う。 3. 「声の輪だより」を作成し、貸し出す。 4. よい録音図書作成のために、例会を開き、勉強、研修を行う。 5. 録音図書利用者と交流会を行う。 		
PRしたいこと	<p>視覚障がい者、高齢で目の不自由な方、物理的に本を利用できない方、入院患者、ねたきりの状態の方等々、是非利用してほしい。</p> 		
他団体との連携が可能なこと・したいこと			
困っていること	・音訳 ー第一校正ー第二校正ー編集の過程なので、完成までに時間がかかる。作業分担を如何したらよいか。		
会員募集(募集の場合は○、しない場合は×)		条件等	
ボランティア募集(募集の場合は○、しない場合は×)	○	条件等	<ul style="list-style-type: none"> ・パソコン操作ができる人 ・ボランティアに対する積極的気持ちのある人

(ふりがな)	いいだこどもげきじょう		
団体名称	飯田子ども劇場		
(ふりがな)	わだ ひろこ		
代表者氏名	和田 裕子		
設立年月日	1973年 12月 1日		
ホームページ	http://iidakogeki.web.fc2.com/		
活動内容	<p>子ども達の感性や想像力、生きる力を育むために、以下の活動を行っています。</p> <p>○定期的な舞台鑑賞 舞台劇・人形劇・音楽・芸能など様々なジャンル(子どもの頃に様々な価値観に触れることで視野を広く、感性の幅を広げる) 赤ちゃんから、高校生まで成長に合わせた内容を届ける。 鑑賞作品を通して広い世界に触れる⇒劇団との交流会・原作の紹介・勉強会など</p> <p>○キャンプやおまつり等の体験と子どもの自主的な参加を意識した活動</p>		
	 <p>「秋のやんか村」 太鼓をた叩いてみよう&お月見バーガー作り&秋の夜空を眺めよう。塩原良さんに教えてもらって太鼓体験。 その後、有志で発表しました。</p>	 <p>「高学年キャンプ」 3日間のキャンプ中に自分が使う食器を、竹で作る。ノコギリ、ナタ、小刀を使って。</p>	
PRしたいこと	<p>会員が自分達で計画・運営している会です。子どもも、自主的に関わることが出来るように、取り組んでいます。「私の子どもから、私達の子どもへ」の意識で、周りの子ども達、地域全体が豊かな文化の中で安心して暮らせるように願っています。今年度は、3月の「シアタークラウンフェスティバル」鑑賞会で自分達も大道芸を発表しようと6月から練習を重ねています。道具も手作りです。</p>		
			
他団体との連携が可能なこと・したいこと	<p>◎大型の舞台鑑賞の共同開催</p> <p>◎自主活動の地元協力者</p>		
困っていること			
会員募集(募集の場合は○、しない場合は×)	○	条件等	どなたでも！年齢制限ありません。 親子でも、大人だけでも、いくつになっても歓迎です。
ボランティア募集(募集の場合は○、しない場合は×)	○	条件等	特になし

団体名称(ふりがな)	黒田人形保存会 くろだ にんぎょうほぞんかい (所在地 飯田市上郷下黒田)	
(ふりがな) 代表者氏名	かいちょう たかだ まさお 会長 高川正男 飯田市上郷黒川1331番地(電話0265-52-5991)	
設立年月日	黒田人形の初まりは元禄年代(西暦1600年)で、以来遠々と伝承され、一度も途切れた事が無く現在も伝承しています。保存会組織にしたのは昭和28年4月です。	
黒田人形専用舞台	間口8間・奥行4間・総二階建て。「出桁造りの本格構造・古さ・大きさ」が人形専用舞台としては日本一との事で、国有形重要文化財に指定。所在地 飯田市上郷黒田2346番地。	
黒田人形浄瑠璃伝承館	脇舞台も備えた本格舞台・観客席150人程・楽屋4室等々もあり芸能上演や、稽古及び発表会に最適の重厚和風建物で時間で貸出しもします。所在地・飯田市上郷黒田2344番地2。電話 0265-56-6623 (非常勤)	
ホームページ	http://www.city.iida.lg.jp/puppet/kuroda/	問合せ先・上郷公民館 電話0265-24-7744

その黒田人形浄瑠璃の上演とは、「三味線の伴奏で語る義太夫、いわゆる浄瑠璃に合わせて人形を動かして演じる人形芝居」で、淡路や文楽の人形芝居と同じもので、日本独特の伝統芸能であり、黒田人形は国の無形文化財に指定されています。

郷土に伝承しているこれをを更に伝承していくのが保存会の目的ですが、その芝居の実技を担当する実技者は保存会会員とは別で、同好の人を募集しています。(この座員は、黒田以外に住む人でも構わず非常勤同好クラブ的なもので稽古や上演の時間に参加出席して戴ければ良いのです)。

よって実技の座員には、義太夫を語る「太夫」、その伴奏の「三味線を弾く人」、人形を動かす「人形遣い」、その外に「裏方」なども必要なので、是非一緒にやって下さい。

義太夫や三味線は専門家が来て各個人毎に教えて貰えます。その芝居の内容は、人情世話物語りや歴史に残る物語り等ありますが、上演は、定期公演と依頼を受けて行う上演があります。定期公演は毎年4月の第三日曜日(予定)の午後1時からと、その前夜6時30分からの2日間を黒田人形舞台で行います。他には、いいだ人形フェスタや、伊那谷の四座の発表会がありますし、上演を依頼されれば出張上演も行いますし、この頃は結婚式披露宴などの席へも上演に出向いています。



上記の定期公演は郷土伝統芸能で入場無料ですので是非お出掛け下さい。

団体や会社等の行事のアトラクション等に呼んで下れば出張上演します。結婚式披露宴などの席へにも、目出度い芸の「寿式三番叟」を10分位なので上演に呼んで下されば出向いて参ります。

一緒にやって下さる方を増やしたいので、人形を動かす「人形遣い」、義太夫を語る「太夫」、その伴奏の「三味線を弾く人」、マンツーマンでお教えします。気持ちのある方は、連絡を保存会事務局になっている上郷公民館事務局(電話 0265-24-7744)へお問い合わせ下さい。

会員募集(募集の場合は○、しない場合は×)	○	条件	高陵中学校にクラブ活動の黒田人形部もあり、保存会で人形をやっているメンバーは、高校生から青年やサラリーマンや自営者等々の男女と主婦や熟年の人達が、現在30人余ほど居り実演に携わっています。
基本的にはアポランティア同様です			人形つかい・三味線弾き・語る太夫などのほかに、他の仕事もあります、例えば写真カメラ・ビデオ撮影や裏方などやって頂く方も必要です。要員募集の条件等は特にごさいません。一緒に楽しくやってくださる方を募集しています。上郷にお住みで無くても結構です。お問い合わせは、黒田人形保存会事務局の上郷公民館(電話0265-24-7744)へお願いします。

(ふりがな)	飯田交響楽団		
団体名称	飯田交響楽団		
(ふりがな)	やたか もりと		
代表者氏名	矢高 森人		
設立年月日	1989年より		
ホームページ	http://www.geocities.co.jp/MusicHall-Horn/2592/		
活動内容	<p>毎週水曜日 19時～ 場所は主に飯田文化会館にて練習しています。</p> <p>5月 オーケストラと友に音楽祭「オーケストラのおと」に参加予定</p> <p>10月又は12月頃 飯田交響楽団定期演奏会予定</p> <p>11月 伊那谷文化芸術祭に参加予定</p> <p>その他ご依頼があれば、出張演奏も考えていきたいと思ひます。</p> 		
PRしたいこと	<p>オーケストラと友に音楽祭では、小学生を対象とした演奏会を新規プロジェクトに飯田交響楽団も参加致します。</p> <p>昨年の演奏会では、演劇宿の白井さんをお迎えし、語り付きの演奏を披露いたしました。</p> <p>保育園へのお出張演奏会や、老人ホームへのお出張演奏など、ご依頼いただいたところへのお出張演奏も積極的に行っております。</p> <p>次回の演奏会では、バイオリン協奏曲に挑戦する予定です。</p>		
他団体との連携が可能なこと・したいこと	合唱団や劇団とのコラボレーションも考えていきたい その他にも地元で活躍されている音楽家との協奏曲等		
困っていること	弦楽器の団員を募集しています。特にコントラバス、ビオラ、ヴァイオリン、トロンボーン、トランペット経験者大募集です。 お気軽にお越し頂ければと思ひます。		
会員募集(募集の場合は○、しない場合は×)	○	条件等	ご自身で楽器を持っていればOKです。
ボランティア募集(募集の場合は○、しない場合は×)	○	条件等	演奏会等の当日スタッフのお手伝いを頂ける方募集しております。ご協力頂ける方、ご連絡お待ちしております。

(ふりがな)	かがくこうさくきょうしつすいしんけんきゅうかい		
団体名称	科学工作教室推進研究会		
(ふりがな)	ほそだ とよなり		
代表者氏名	細田 豊成		
設立年月日	平成 5 年 4 月 1 日		
ホームページ	なし		
活動内容	 <p>年間4回の子ども科学工作教室を実施 第1回 三極モーターカーの製作 三極モーターを組み立てて電池で動く車を製作します。 第2回 ソーラーカーの製作 太陽光パネルを搭載した車を製作して太陽光で動かします。 第3回 天体望遠鏡の製作 8種類の筒を組み合わせるとして天体望遠鏡を製作します。 第4回 センサーロボットの製作 音で動く4本足のロボットを製作します。</p>		
PRしたいこと	<p>飯田下伊那の小学校4年生から6年生までの子どもを対象にして45名定員で行っています。各回のキット代金は個人負担です。10の企業等から指導に来てくれて、個人的な指導をしてくれるので、保護者は同伴しなくても一日じっくり製作し、完成して持ち帰れます。製作したものを動かして遊んだり、天体を観測したりできます。</p>		
他団体との連携が可能なこと・したいこと	<p>現在、飯田下伊那の企業9社と飯田OIDE 長姫高等学校の生徒さんなどが毎回指導に参加してくれます。他にも指導を希望する企業などがありましたら受け入れます。</p>		
困っていること	<p>科学工作教室推進研究会への参加企業は9社です。もっと参加企業を増やしていきたいです。</p>		
会員募集(募集の場合は○、しない場合は×)	×	条件等	募集はしていませんが、飯田市工業課で受けれています。
ボランティア募集(募集の場合は○、しない場合は×)	×	条件等	

(ふりがな)	しもぐりさとのかい		
団体名称	下栗里の会		
(ふりがな)	のまき たけし		
代表者氏名	野牧 武		
設立年月日	平成15年 6月30日		
ホームページ	なし		
活動内容	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>遊休地の活用</p> <p>景観保全のため遊休地を活用して、球根の植付を行いました。</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>下栗ふれあい祭り参加</p> <p>下栗ふれあい祭りで地元の農産物特産品の販売</p> </div> </div>		
PRしたいこと	<p>下栗で自分たちが楽しみながらできる事を考えて無理のない範囲で活動しています。10月には料理評論家の横山タカ子先生をお招きして、下栗芋の料理を作っていただきました。</p> 		
他団体との連携が可能なこと・したいこと	下栗自治会との連携による環境整備、ふれあい祭り等の活性化活動。遠山郷観光協会、下栗案内人の会と連携して観光客の誘致。		
困っていること	会員の高齢化と後継者不足		
会員募集(募集の場合は○、しない場合は×)	○	条件等	下栗里の会の活動に参加できる人
ボランティア募集(募集の場合は○、しない場合は×)	○	条件等	下栗集落で開催する事業。イベントに参加できる応援隊

(ふりがな)			
団体名称	秋葉街道を愛する会		
(ふりがな)	さいとう ひろむ		
代表者氏名	斉藤 寛武		
設立年月日	年 月 日		
ホームページ			
活動内容	 		
	<p>H27年 5月31日 秋葉街道小川路峠線の整備作業。上村へ下り総会。 H27年 月 日 秋葉街道信遠ネットワーク総会参加。 H27年 月 日 秋葉街道信遠ネットワーク飯田の会総会参加。 H27年9月26～27日 八ヶ岳連峰硫黄岳登山。 H27年10月12日 秋葉街道小川路峠線の2回目整備作業。 H27年10月25日 「第22回小川路峠へ登ってみよう」 共催。</p>		
PRしたいこと	 		
他団体との連携が可能なこと・したいこと			
困っていること	活動予算が不足。		
会員募集(募集の場合は○、しない場合は×)	○	条件等	上久堅地区住民
ボランティア募集(募集の場合は○、しない場合は×)	×	条件等	

(ふりがな)	きねはらがっこうおうえんだん		
団体名称	杵原学校応援団		
(ふりがな)	いのうえ まさお		
代表者氏名	井上 征雄		
設立年月日	2005年5月		
ホームページ	http://kinehara.net/		
活動内容	  <p>○年間を通じて活動を行っております。平均月に1～2回程度の事業を旧山本中学校、通称「杵原学校」を核にして実施しています。</p> <p>○主に、子ども教室開催、農業体験、農場の運営、里山散策、大人向けの勉強会、南信州観光公社の体験教育旅行受入、その他校舎や敷地内の整備作業も行っております。</p> <p><子ども教室・農業体験・食文化教室></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ジャガイモ、さつまいも、白菜、大根など植付、収穫体験 ・土器づくり、おやすづくり、餅つき、紙飛行機づくり ・柏餅、ジャガイモ料理、流しソーメン、おやき、さつまいも料理、五平もち、ケーキ作り、餅料理、恵方巻き <p><里山・屋外体験></p> <ul style="list-style-type: none"> ・デイキャンプ <p><施設等整備></p> <ul style="list-style-type: none"> ・大掃除 <p><地域おこし></p> <ul style="list-style-type: none"> ・杵原学校桜フォトコンテストの開催 ・杵原学校の枝垂れ桜見頃期間の桜まつり(おもてなし活動) 		
PRしたいこと	<p>○地域の方が講師になって、経験から生まれた知識を元に、杵原学校を中心にした屋内外活動や自然に触れることからの本物体験を行っています。</p> <p>○同様に地域の伝統、文化の継承を行っていくための活動もしています。</p> <p>○この様な活動を通じて地域の活性化や、地域おこしにつながる活動にしていきたいと考えています。</p>		
他団体との連携が可能なこと・したいこと	<p>○個々の取り組み内容では出前の講師対応も可能なものもありますのでご相談ください。</p> <p>○木造校舎の保存、利活用を行っている団体と交流を深めたいです。</p>		
困っていること	<p>○今後、応援団員の平均年齢の高さからくる事業の継続性の問題</p> <p>○若い団員の確保</p> <p>○各事業での講師人数確保</p>		
会員募集(募集の場合は○、しない場合は×)	○	条件等	時間とやる気のある方歓迎、経験不問。 費用負担は軽微ですが、報酬はほぼ無いので、それでも構わない方、地域外の方でも入会はOKです。
ボランティア募集(募集の場合は○、しない場合は×)	○	条件等	基本は会員と同様です。 ボランティア即、団員可ですのでお気軽にご参加下さい。 会則、会費などの複雑な縛りはありません。

(ふりがな)	みなみしんしゅういいだおもしろかがくこうぼう		
団体名称	南信州飯田おもしろ科学工房		
(ふりがな)	みうら ひろこ		
代表者氏名	三浦 宏子		
設立年月日	平成13年6月		
ホームページ	http://www.i-kagaku.net		
活動内容	  <ul style="list-style-type: none"> ・理科実験ミュージアム 4月～11月(50回) ・出前工房(41回) ・保育園、小学校等の支援活動(20回) 		
PRしたいこと	<p>飯田市出身のサイエンスプロデューサー後藤道夫先生の「故郷飯田の子どもたちに科学の楽しさと不思議さを知ってもらいたい。科学を好きになってもらいたい。」という思いから始まった。かざこし子どもの森公園おいで館に拠点を置き、理科実験ミュージアムを開催している。大人でも子どもでも楽しい実験をめざし、科学をより身近に感じてもらうため、身のまわりにあるものを使った理科実験、工作の指導、実演を行っている。</p> <p>日常のあつと驚く不思議な体験や感動を通じて、子どもたちに考える力や科学の興味を持ってもらい、科学の楽しさを知った大人たちには、科学を通して地域活動の輪を広げ、地域を活性化する一助になりたい。</p> <p>また、飯田にしかない「超電導ジェットコースター」を使った珍しいサイエンスショーも実施している。</p>		
他団体との連携が可能なこと・したいこと	<ul style="list-style-type: none"> ・地域産業に結びつけた実験メニューの開発、実施をしていきたい。 ・地域の青少年関係団体と連携しながら科学の輪を広げていきたい。 		
困っていること			
会員募集(募集の場合は○、しない場合は×)	×	条件等	
ボランティア募集(募集の場合は○、しない場合は×)	○	条件等	理科好きな方、子ども好きな方なら特に資格は問わない。

(ふりがな)	おみのさとしんこういいんかい		
団体名称	麻績の里振興委員会		
(ふりがな)	いまむら まもる		
代表者氏名	今村 衛		
設立年月日	平成11年 4月 1日 (平成6年設立平成11年再編成)		
ホームページ	座光寺	で検索	
活動内容	<p>座光寺地域中段には元善光寺・高岡1号古墳(県宝)・麻績学校舞台校舎(県宝)・南本城(県史跡指定)・麻績の里舞台桜(市天然記念物)・石塚桜(石塚古墳の上)にありさらに恒川官衙遺跡(国史跡指定)等文化遺産が集積している。これらの文化遺産ゾーンを保護活用して地域振興のため、地域住民が自ら考え自ら行動することを基本に座光寺地域自治会の特別委員会として4班編成で活動を展開してきた。</p> <p>具体的内容:主な内容として、 1班:元善光寺門前町(県道市場桜町線)の活性化 2班:南本城の山林間伐・遊歩道の草刈・史跡案内看板等の整備 3班:麻績舞台校舎の活用と舞台桜保護と周辺整備 4班:南信州を軸とする竹宵による地域活性の展開</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div data-bbox="316 779 946 1238">  <p>麻績の里桜まつり</p> </div> <div data-bbox="1002 566 1473 902">  <p>南本城 ささゆり見学会</p> </div> <div data-bbox="1002 925 1473 1261">  <p>菊文化の復活(座光寺小学校)</p> </div> <div data-bbox="1002 1283 1473 1597">  <p>南信州 除夜の竹宵</p> </div> </div>		
PRしたいこと	<p>『自ら考え自ら行動する麻績の里づくり』を合言葉に地域の有志ボランティアで活動を継続している。会員の職業も様々で事業においては参加できない時もあるが強制的な召集はしていない。活動にあたっては”自分たちが楽しみながら地域を盛り上げる”が継続の力となっている。</p> <p>♪座光寺ホームページを是非ご覧ください♪</p>		
他団体との連携が可能なこと・したいこと	<p>今後はリニア建設・開通に伴い、様々な地域状況や生活の変化が生じ、なにより長野県の玄関口として県内県外大都市から人の往来により、広範囲な交流・国際化が想定される。そのような変化を機として座光寺地域の魅力を発信し地域振興のため、従来からの活動の継続と充実はもとより、新たな発想で新たな活動および組織柔軟な対応が必要となる。それらを課題とした他団体との意見交換や交流をしたい。</p>		
困っていること	会員は年代が殆ど50代以上の男性であり、若年層や女性の加入が課題		
会員募集(募集の場合は○、しない場合は×)	○	条件等	地域会員を基本とする
ボランティア募集(募集の場合は○、しない場合は×)	○	条件等	大変な作業を笑顔でできる方

(ふりがな)	とおやまやまのかい		
団体名称	遠山山の会		
(ふりがな)	こざわきんぞう		
代表者氏名	小澤欣三		
設立年月日	平成12年頃 (以前よりの活動を統合)		
ホームページ			
活動内容	  <p>登山道丸太柵の設置(易老渡上)H26.6 転落防止柵の土砂出し(西沢渡上)H26.6</p>    <p>聖岳記念登山 小聖にて H26.7 中学登山サポート 熊伏山 H26.7登山道倒木処理 面平上 H26.9</p>		
PRしたいこと	   <p>聖岳(百名山) 光岳(百名山) 池口岳</p> <p>こんなに素晴らしい自然が身近にあることを 自分の眼と体で確かめてみてください！</p>		
他団体との連携 が可能なこと・し たいこと	他団体と情報交換をしながら大勢の人が気楽に山を楽しめるようにしたい。		
困っていること	アクセス道路や、登山道の整備が間に合わないこと。		
会員募集(募集の 場合は○、しない場 合は×)	○	条件等	入会金2000円、年会費2000円。一緒に山岳と酒を楽しめる老若男女。
ボランティア募 集(募集の場合は○、 しない場合は×)	○	条件等	一緒に登山道整備等の環境保全に汗を流してくれる人。

(ふりがな)	しゃかいりょうほうじん りつざんかい いいだびょういん		
団体名称	社会医療法人 栗山会 飯田病院		
(ふりがな)	ちば きょう		
代表者氏名	理事長 千葉 恭		
設立年月日	明治36年 9月 1日(1903)		
ホームページ	http://www.iida.or.jp		
活動内容	  <p>当病院は、病院理念の具現化として「医と文化の融合」を掲げ、各種の文化事業に取り組んでいます。特に一流の演奏家を招いて病院エントランスホールで毎月1回行う「ロビーコンサート」は、非常に好評を博しており、さらにロビー空間への絵画・写真作品などの展示活動等は「公開」の精神に貫かれております。</p> <p>また、最先端精神科医療を学ぶ「精神科公開ゼミ」、院内での事例研究発表を行う「飯田病院学会」などの活動も活発に行っています。</p> <p>病院そのものを地域におけるアメニティー空間として一般に開放するなど、文化による「交流」の場を地域に創出しています。</p>		
PRしたいこと	<p>諸活動の中でも特に病院ロビーをコンサート会場として使用し、入院患者さんをはじめ来院者が、一流の演奏家による生の音楽を無料で気軽に楽しむこと出来る「ロビーコンサート」は、毎月1回原則として土曜日に開催しておりますが、平成27年11月28日で150回となり市民の皆様から極めて高い評価をいただいております。</p> <p>さらに地域の著名な作家や飯田市スポーツ少年団絵画・飯田市動物園写生大会絵画の入選作品の展示、愛好家団体による写真作品の常設展示なども人気となっています。</p> 		
他団体との連携が可能なこと・したいこと	特になし		
困っていること	特になし		
会員募集(募集の場合は○、しない場合は×)	×	条件等	
ボランティア募集(募集の場合は○、しない場合は×)	×	条件等	

(ふりがな) 団体名称	きたがにこうがにさくかい 北方古老に聞く会		
(ふりがな) 代表者氏名	きのりかかずよし 木下和義		
設立年月日	平成8年1月21日		
ホームページ			
活動内容	  <p>○ 北方地区内に古から伝わる、文化、風俗、習慣等を地域の古老から聞きとり記録に残し後世に伝えてゆく事を目的として活動している。</p> <p>○ 平成27年度は、6月に飯田美博坂本先生をお頼りし、南信濃の現地を巡り断層、クマノ地質等を学びました。12月には橋上医院の橋上好太郎先生をお招きし、「高齢者の生き方」についてご講演をいただきました。</p>		
PRしたいこと	<p>○ 以前に発行した「北方の今昔説話」若干残数がありまして希望者に販売致します。</p> 		
他団体との連携が可能なこと・したいこと	<p>○ 北方公民館の事業の中で文化祭での研究発表、笠松山へのア史探訪での3D体観音の説明、伊賀良公民館のゲームウォーキングでの史跡説明等も行いながら、さらには公民館のつながりを密に活動してゆきたい。</p>		
困っていること	<p>○ 会員の高齢化と史実を聞き取り出す先輩の減少。</p>		
会員募集(募集の場合は○、しない場合は×)	○	条件等	北方在住の方で 厂史に関心・興味のある方
ボランティア募集(募集の場合は○、しない場合は×)	×	条件等	

(ふりがな)	いいだぼらんていあきょうかい		
団体名称	NPO法人 飯田ボランティア協会		
(ふりがな)	おおくらまさあき		
代表者氏名	理事長 大蔵 正明		
設立年月日	平成16年8月9日		
ホームページ	無し		
活動内容	  <p>みんなで支える福祉のまちづくりを目的で活動しています。 福祉まつり「ふれあい広場」、福祉映画上映、福祉人材育成、福祉講座開催、バルーンで笑顔ふくらませたい、災害まちづくり事業、防災運動会、防災体験講座、ボランティア活動応援、東日本大震災被災地支援、災害ボランティア活動、介護フォローアップ講座、生活サポーター講座、ボランティア養成講座、生活リハビリ、笑いヨガなど活動しています。また、エンディングノートも作成しました。</p>		
PRしたいこと	<p>ボランティアは、まず 自分が楽しむのが最初の一步です。ワクワク・ドキドキが次へ繋がって行きます。喜んでくださる笑顔に、なんだかやる気がムクムクわいてくる！！→たのしいよ～～ 新しい自分が発見できます。 一緒にやりましょう。お待ちしております。</p> 		
他団体との連携が可能なこと・したいこと	<p>連携は可能です。 行政・社協・企業・地域・その他団体の皆さん・福祉施設の皆さんなど、いろんな連携をして活動が広がっていくと楽しいですね。気楽に声をかけてください。お願いします。三遠南信地域の災害ボランティア団体と連携し、防災協力協定を仙台市宮城野区福住町内会・豊川防災VCの会・なごやボラネットのみなさんと結んでいます。</p>		
困っていること	<p>若い方・シルバーの方大募集・パソコン好きな方来てね。 ボランティアでパソコン打ち込んだり、行事のスタッフして下さい。</p>		
会員募集(募集の場合は○、しない場合は×)	○	条件等	「みんなで支える福祉のまちづくり」活動をいっしょにしてくださる方。 個人会員・団体会員両方あります。会費も負担下さいませ。
ボランティア募集(募集の場合は○、しない場合は×)	○	条件等	面白そう、やってみたいと思ってくださる方、ぜひぜひ！！

(ふりがな)	みんなのいえ ぬくぬく		
団体名称	みんなの家 ぬくぬく		
(ふりがな)	なかだいら しゅんじ		
代表者氏名	中平 俊次		
設立年月日	平成14年11月		
ホームページ			
活動内容	<p>月1回開催。午前10時～午後3時まで昼食と昼休みをはさんで運営。 軽い体操、歌、お話し、ゲームやクイズなど、ご利用者同士スタッフも加わっての会話に重点を置いている。笑ってしゃべって、お腹がすき、昼食がおいしいとは全員の声。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>さあ今日も一日頑張るぞ いつもの朝の体操、みんなの笑顔がは じけ会場の雰囲気が一気に盛り上がる</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>60人分の昼食が完成 これから一人当たり3皿を配膳</p> </div> </div>		
PRしたいこと	<p>やる気満々のスタッフ一同だが、我々も立派な高齢者。 でも「ぬくぬく」へ来られる皆さんに元気をいただき、楽しく活動を続けている。 こんな仕事に生きがいを求めようという方は、どうぞお申し出ください。</p> 		
他団体との連携が可能なこと・したいこと	<p>民生児童委員の方々との情報交換を進めることで、更に充実した団体とする方向に持っていくことを、これからの課題として検討していく。</p>		
困っていること	<p>スタッフの高齢化。平均年齢が75歳を超えるところに来ている。新陳代謝とはいっても、簡単なことではない。民生児童委員の経験者や福祉に関心を持たれている方等から60歳代の人を勧誘するなど、今後の課題として検討する。</p>		
会員募集(募集の場合は○、しない場合は×)	○	条件等	独居、または昼間に独りになる方で、概ね80代以上の方。
ボランティア募集(募集の場合は○、しない場合は×)	×	条件等	

(ふりがな)	みなみしんしゅうたけよいのかい		
団体名称	南信州竹宵の会		
(ふりがな)	せきじま ともひろ		
代表者氏名	関島 友弘		
設立年月日	平成15年		
ホームページ	なし		
活動内容	 		
	<p>例年6月に竹宵まつり百万人のキャンドルナイトに参加 大晦日に川路・麻績(座光寺)・北辰(八幡)・一色(鼎)の各神社で除夜の竹宵を実施</p>		
PRしたいこと	<p>地域の有志が荒れた竹林を伐採し、竹ぼんぼりを製作しては、地区の神社前などで竹宵を行い、ろうそくの光で幻想的な世界を演出してきた。</p> <p>全国規模で行われているキャンドルナイトの一環として、南信州で例年6月に実施している「竹宵まつり 百万人のキャンドルナイトin南信州」に参加し、身近な素材である竹を利用して環境に対する啓発活動を行っている</p> <p>また竹を粉末したものを材料として、県の農業試験場と連携を取り家畜飼料に混合する試験研究をするなど、あらたな産業づくりを行っている地区もある。</p>		
他団体との連携が可能なこと・したいこと	<p>他団体の依頼により、会場(飯田りんごん・県政タウンミーティングなど)を竹ぼんぼりによるライトアップで演出した経過がある。</p>		
困っていること	<p>竹ぼんぼりを活動ごとに用意するため、材料となる太い竹の確保。 会員の人手不足・高齢化</p>		
会員募集(募集の場合は○、しない場合は×)	○	条件等	なし
ボランティア募集(募集の場合は○、しない場合は×)	○	条件等	なし



(ふりがな)	おおみやどおりさくらほぞんかい		
団体名称	大宮通り桜保存会		
(ふりがな)	たけだ としふみ		
代表者氏名	会長 武田 年史		
設立年月日	昭和46年4月1日		
ホームページ			
活動内容	  <p style="text-align: center;">第37回 (H26) 大宮通り桜まつりの様子 桜並木イルミネーション</p> <p>・平成27年4月5日、第38回大宮通り桜まつりは、荒天のため写生大会等屋外行事が中止となりましたが、バンド演奏と焼そば、フランクフルトの販売を東野自治会館内で行いました。 ・日常的に行っている桜の保護、管理、清掃・美化活動のほか、今年度は、冬のイベントとして桜並木の一部へイルミネーションを飾り付けました。沿道住民はもとより、帰宅途中の皆さんに大いに喜ばれました。(協力団体:サンファイブロータリー、東野地区連合青壮年会、東野まちづくり会議)</p>		
PRしたいこと	<p>大宮通り桜並木</p> <ul style="list-style-type: none"> ・昭和22年の大火の後に防火帯として整備された。 ・昭和27年頃にソメイヨシノを中心に150本の桜が植えられた。 ・総延長は、大宮神社から市公民館までの700メートル ・昭和61年にりんご並木と合わせて「日本の道100選」に選ばれた。 <p>桜並木の再整備に向けて</p> <p>桜並木の再整備は、保存会はもとより東野地区の長年の夢です。平成26年度から再整備に向けた取り組みが開始され、本年度においても、整備方針(案)の作成のための懇談会等が複数回開催されています。桜保存会も懇談会に積極的に参画して、桜並木の望ましい姿を検討しています。</p>  <p style="text-align: right;">大勢の人で賑わった桜まつり (昭和53年)</p>		
他団体との連携が可能なこと・したいこと	東野地区は、桜並木のほかイチョウ並木、中央公園など「桜と緑溢れる居住空間」となっている。桜保存会が核となり、桜並木はもとより東野地区全体の緑を守り育てる活動へと展開していきたい。		
困っていること	会員の高齢化に伴い、清掃活動等の負担感が増してきている。		
会員募集(募集の場合は○、しない場合は×)		条件等	
ボランティア募集(募集の場合は○、しない場合は×)		条件等	

(ふりがな)	みなみしんしゅうししまいふえすていばるじっこういいんかい		
団体名称	南信州獅子舞フェスティバル実行委員会		
(ふりがな)	とざき たかし		
代表者氏名	戸崎 敬		
設立年月日	2007年2月16日		
ホームページ	http://minamishinsyu-shishimai.com/8fes/		
活動内容			
PRしたいこと		<p>南信州に数多く伝承される獅子舞を一堂に会したお祭りにしたいと始めた南信州獅子舞フェスティバル。 最近では獅子ガールも登場し、フェスティバルを盛り上げてくれています。 併催される創作獅子舞コンクールも子供たちに大人気。今年は小学生60名余りによる団体も応募し、会場内は大盛り上がり！ 未来の獅子舞伝承者を発掘しました。</p>	
他団体との連携が可能なこと・したいこと	飯田市を盛り上げる団体とならどちら様でも歓迎です。		
困っていること	演舞の演出方法などマンネリ化してきているので、何らかの団体とのコラボ、このフェスティバルでしか見る事の出来ない舞などの創出。		
会員募集(募集の場合は○、しない場合は×)	○	条件等	獅子ガールで獅子フェスをPRしてみたいという35歳以下の女性。(未婚既婚は問いません)
ボランティア募集(募集の場合は○、しない場合は×)	○	条件等	獅子フェスでの演舞ポイントスタッフ(アナウンス・スタッフ)

(ふりがな)	いいだおーあいでいーいーおさひめこうとうがっこう コンピゅーたせいぎよぶ てっくれんじゃー		
団体名称	飯田OIDE長姫高等学校 コンピュータ制御部 テックレンジャー		
(ふりがな)	にしむら たけひさ		
代表者氏名	西村 武久		
設立年月日	平成23年 4月		
ホームページ	http://www.nagano-c.ed.jp/oideosa/		
活動内容	  <p>コンピュータ制御部では、地域住民と協力したショーの実施やボランティア活動を実施する事で、地域活性化や地域貢献に努めるとともに、小さな子供から大人まで夢や希望を与え続けています。テックレンジャーは専門知識を生かしてマスクや衣装、武器などを自分たちで製作するオリジナリティあふれるヒーローです。ショーはテックレンジャーが地球を侵略する悪のウリャン星人と戦うストーリーになっています。悪に立ち向かい一度はやられてしましますが、子ども達の「ガンバレー」という声援で蘇り、必殺武器で敵を倒して地球の平和を取り戻すという内容です。また、環境について考えることもショーの中にちりばめて、子ども達に伝えています。</p>		
PRしたいこと	<p>テックレンジャーショーに集まった子ども達は、どきどきしながらショーを見て毎回大きな声援を送ってくれます。あまりの怖さに泣き出してしまう子どももいますが、悪役の生徒にとってはそれも励みでもあります。</p> <p>ショーの後には、握手会と写真撮影会を開催しています。ショーを毎回見に来てくれるリピーターの方も増えています。飽きることなくショーを見てもらうように、毎年新しいヒーローや武器を登場できるように開発を継続して続けていきたいと思えます。また、飯田OIDE長姫高校にはこんな活動をするクラブもあるのだと多くの方に知ってもらい、学校の活性化にもつなげることができればと考えています。</p> 		
他団体との連携が可能なこと・したいこと	「様々なイベントや啓発PR活動」・「宇宙人の侵略を受けたとき」などに各地へ出動し、テックレンジャーは地球の平和のために戦っていきます。		
困っていること			
会員募集(募集の場合は○、しない場合は×)	○	条件等	飯田OIDE長姫高等学校に入学して、コンピュータ制御部に入部すること。
ボランティア募集(募集の場合は○、しない場合は×)	×	条件等	

(ふりがな)	ちいきぐるみかんきょうあいえずおーけんきゅうかい		
団体名称	地域ぐるみ環境ISO研究会		
(ふりがな)	はぎもと のりふみ		
代表者氏名	萩本 範文		
設立年月日	1997年11月 日		
ホームページ	http://www.city.iida.lg.jp/site/kankyouseisakujuhou/isokenkyuukai.html		
活動内容	<p>(1)地域版EMSの構築と普及 ・南信州いいむす21認証の登録審査、訪問支援、勉強会・セミナー等の開催</p> <p>(2)温室効果ガス削減の推進と省エネ対策の普及 ・いいこすいいだプロジェクトによる省エネ診断の実施、省エネ事例集による省エネ対策の普及・啓発</p> <p>(3)従業員・職員への意識啓発活動 ・家庭や職場で省エネに取り組む「一斉行動週間」の実施(年2～3回) ・発刊物「ぐるみ通信」の発行</p> <p>(4)他団体への協力・参加 ・南信州レジ袋削減推進協議会等の各種協議会、飯田市環境審議会への参加</p>		
			
PRしたいこと	地域の事業所が、自らの事業所の環境改善活動のみならず、飯田下伊那地域の環境改善活動に連携して取り組んでいます。		
他団体との連携が可能なこと・したいこと	<p><他団体と連携したいこと></p> <ul style="list-style-type: none"> ・建築部門の省エネに関するプロジェクト部会の創設 		
困っていること	南信州いいむす21の審査体制の維持 (登録事業所が増えるとボランティアで審査に当たる参加事業所の担当者の負担が増えること。)		
会員募集(募集の場合は○、しない場合は×)	○	条件等	会の趣旨に賛同し、南信州いいむす21審査を始めとする会の活動に参加が可能な事業所
ボランティア募集(募集の場合は○、しない場合は×)		条件等	

(ふりがな)			
団体名称	特定非営利活動法人 南信州おひさま進歩		
(ふりがな)	まつえ よしお		
代表者氏名	松江 良夫		
設立年月日	2004年5月27日		
ホームページ	http://www.ohisama-shinpo.or.jp		
活動内容	<p>①地球温暖化防止を図る活動 ②まちづくりの推進を図る活動 ③社会教育の推進を図る活動 ④子どもの健全育成、環境教育の推進を図る活動 ⑤前号に掲げる活動を行う団体の運営又は活動に関する連絡、助言、援助の活動</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>保育園 パネルシアター</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>地域文化祭 ペットボトルソーラーカーづくり</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>旧測候所 気象学講座</p> </div> </div>		
PRしたいこと	<p>NPO発足当初、市民からの寄付を集め、飯田市内明星保育園に太陽光パネル「おひさま発電所1号」として3kWの市民太陽光発電所を設置しました。そこでは、子どもたちが太陽光発電を身近に捉え、未来のエネルギーを創造する力を養っています。おひさま発電所の他の児童施設でも幼児向け環境教育(パネルシアター)を実施し、太陽光発電の仕組み、自然の大切さ、省エネの大切さをわかりやすく子供たちに伝えています。</p> <p>また、地区公民館、まちづくり委員会と協働で環境学習講座の開講や文化祭への出展を実施。市民全体へ向けた講演会等も企画しています。</p> <p>2016年度は、地域における自然エネルギーの更なる普及を見据え、現場で求められるエキスパート人財の育成を目的に飯田自然エネルギー大学を開校します。今後も、再生可能エネルギー・省エネルギーで持続可能な地域社会を実現するために、ますます努力していきます。</p> <div style="text-align: right; margin-top: 20px;">  </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin-top: 10px; text-align: center;"> <p><さんぼちゃんの誓い></p> <p>いらないでんきはつかいません あかるいでんきは たいようからの おくりもの おひさまパワーで あかるい まいにち みんなでなろう さんぼちゃん</p> </div>		
他団体との連携が可能なこと・したいこと	<p>◇他団体と連携して地球温暖化防止活動や環境教育の推進を図る事業。 ◇各地区の公民館やまちづくり委員会と連携し、環境問題を課題に地域のまちづくりに関わる事業。(住民向け省エネ講座、文化祭へのワークショップ出展、春休み・夏休みのイベント企画・出前講座)</p>		
困っていること	一緒に活動してもらえる新規会員を求めています。		
会員募集(募集の場合は○、しない場合は×)	○	条件等	地球温暖化防止や南信州おひさま進歩の活動に関心がある
ボランティア募集(募集の場合は○、しない場合は×)	○	条件等	地球温暖化防止、環境教育、まちづくりなどに関心・関心がある

(ふりがな)	きっずやまもとだいさくせんすいしんいんかい		
団体名称	キッズ山本大作戦推進委員会		
(ふりがな)	うしやま たかのり		
代表者氏名	牛 山 剛 典		
設立年月日	平成23年 7月		
ホームページ			
活動内容	<p>山本のすべての人が子どもたちの親(P)であり教師(T)であるという理念のもと、山本の子どものために「見守り」「教え」「はぐくむ」活動を展開しています。左側の写真は、杵原学校応援団、山本地域づくり委員会育成部とキッズ山本大作戦推進委員会が共催で行った「杵原デイキャンプ」(8/9)の様子です。右側の写真は、山本小学校体育館に旭ヶ丘中学校吹奏楽部、合唱部、伊賀良小の金管バンドー伊賀良IGR SOUND、飯田市民吹奏楽団、山本小学校6年生などが集まり、それぞれの演奏やコラボレーションを楽しんだ「キッズ山本大作戦音楽フェスタ」(11/15)の様子です。</p> 		
PRしたいこと	<p>2月20日(土)には旭ヶ丘中の部活動、地域の少年文化スポーツ団体(小学生)などが一堂に会する発表参加型交流会「ウインターフェスタ」を実施する予定です。</p> 		
他団体との連携が可能なこと・したいこと			
困っていること			
会員募集(募集の場合は○、しない場合は×)	×	条件等	
ボランティア募集(募集の場合は○、しない場合は×)	×	条件等	

(ふりがな)	ハナ エ		
団体名称	花 依		
(ふりがな)	コイシミネ ユウコ		
代表者氏名	小石峯 裕子		
設立年月日	2012年 12月 20日		
ホームページ			
活動内容	<p>花依は、2015年度中にまちづくり、地域作りの文化交流活動中で、地域の文化祭、芸能際発表会、敬老活動、飯田国際交流の夕べ、飯田、かざこ子どもの森公園のもりもり文化祭および高木村民間団体の秋菊祭り活動など、積極的姿勢で活躍しました。特に独特の異国風の歓楽舞踊を観賞した市民に好評されました。</p> 		
PRしたいこと			
他団体との連携が可能なこと・したいこと			
困っていること			
会員募集(募集の場合は○、しない場合は×)	条件等		
ボランティア募集(募集の場合は○、しない場合は×)	条件等		

（ふりがな）	たつえ てんりゅうきょう さくらかいどう さくらなみき あいごかい		
団体名称	龍江天龍峽桜街道さくら並木愛護会		
（ふりがな）	いちのせ りゅう し		
代表者氏名	市 瀬 隆 司		
設立年月日	平成 10年 4月 11日		
ホームページ			
活動内容	  <p style="text-align: center;">害虫駆除作業 会員による除草作業</p> <ol style="list-style-type: none"> 観光パンフレット「南信州 天龍峽八重桜街道」を観光施設等に配布し、PR活動の実施 「さくらだより第43号」発刊 地区内全戸および周辺関係者に配布 「第9回天龍峽桜街道さくら祭り」実施(H27.4.26); 併せて自転車競技大会「第2回エンデューロin 龍江」実施; 開花期間中ライトアップ実施 研修視察 「愛知県 小原四季桜研修会」実施(H27.11.17日) 管理作業 ①草刈り ②防虫対策 アメシロ、イラガ、モンクロシャチホコ 等の駆除 ③枯枝・不整枝剪定作業 ④竜峽中学生への桜並木講話・中学生草刈り 		
PRしたいこと	<ol style="list-style-type: none"> 桜樹木も植栽後17年となり、見事な「八重桜街道」となって、観光パンフレットの効果と合わせ、マイカー・大型観光バス等で訪れてくれる観光客が年々多くなってきている。 2Kmにわたる桜街道には、遊歩道も完備されており、マレットゴルフ場・親水公園「水辺の楽校」と合わせ天竜川と一体となった素晴らしい景観地であり桜の季節以外でも四季を通じて楽しめる場所となっている。 		
他団体との連携が可能なこと・したいこと	<ol style="list-style-type: none"> 「天龍峽ご案内人」「飯田観光ガイドの会」等と連携し、「天龍峽桜街道」の積極的なPR活動を進めて行きたい。 「天龍峽観光協会」「飯田市観光協会」と連携し、天龍峽・飯田市の観光コースの中に「天龍峽桜街道」をゆっくり歩きながら鑑賞できるプランを取り込んで頂き、単なる通過点でない観光地として末長く育てて行きたい。 		
困っていること	<ol style="list-style-type: none"> 桜の樹木が大きくなって、施肥、防虫他管理費用が高んで、地区の愛護会のみで負担するには荷が重くなってきている。また、観光客が多くなって、トイレ等の整備が課題となってきているが、現在は地元が潤う収入の方策がなく、今後の重要課題となっている。 		
会員募集(募集の場合は○、しない場合は×)	○	条件等	<ol style="list-style-type: none"> 龍江地区内外を問わず、「龍江天龍峽桜並木さくら愛護会」の趣旨に賛同される方。年会費 個人会員 1,000円/年 特別会員(法人) 5,000円/年
ボランティア募集(募集の場合は○、しない場合は×)	○	条件等	<ol style="list-style-type: none"> 草刈り・害虫駆除・施肥などの作業に参加できる方。

(ふりがな)	まきびと		
団体名称	薪 人		
(ふりがな)	しまむら ひろし		
代表者氏名	嶋村 浩		
設立年月日	平成24年 3月 3日		
ホームページ	http://makibito.org/		
活動内容	 <p>薪人は、薪ストーブの利用をはじめ、薪に関わる人々の集いです。 私たちには、自然とのつながりを保ちたい、多少不便であっても化石燃料に依存しない生活が必要だという想いがあります。 薪人は、一人では大変な薪集めを仲間と汗かき作業し、里山や森の植生についても学び、薪と楽しく関わっていく取り組みをします。</p>		
PRしたいこと	<ul style="list-style-type: none"> ・「自分の家の薪棚をいっぱいにしよう！」を合言葉に作業で汗を流し、作業終了後にはバーベキューを行うなど、仲間と楽しく活動をしています。 ・森林や果樹園の整備でお困りの方。薪になるものであれば広葉樹はもちろん針葉樹も伐採しますのでご連絡ください。 ※搬出できるも現場に限る。  		
他団体との連携が可能なこと・したいこと	<p>単独では難しい場所や手が足りない現場があれば、他の団体と連携しながら行うことも可能です。</p>		
困っていること			
会員募集(募集の場合は○、しない場合は×)	<input type="radio"/>	条件等	会員随時募集中！薪ストーブユーザーはもちろん、森林など関心のある方どなたでも参加可能です。
ボランティア募集(募集の場合は○、しない場合は×)	<input type="radio"/>	条件等	ボランティアも随時募集しています。

(ふりがな)	リンゴナミキアイプロジェクト		
団体名称	りんご並木プロジェクト実行委員会		
(ふりがな)	モリシタチヨコ		
代表者氏名	森下ちよ子		
設立年月日	24年4月1日		
ホームページ			
活動内容	 <p>(1) 動物園では、年間を通じてボランティアの方による音楽、ダンス、紙芝居を行っています。動物園に来られた方たちが、りんご並木を散策し、食事やショッピングを楽しんでいてもらいたいと思っています。</p> <p>(2) 10月には、りんご並木商店街の方たちと、ハロウィンイベントを開催し、店頭でのジャンボカボチャ展示、ハロウィンパレード、カボチャランタン作りを行ってきました。</p>		
PRしたいこと	<p>りんご並木は、日本の道100選やかおり風景100選などに選ばれ、りんごの世話をしている東中の活動は、マスコミにも取り上げられています。また、春にはチュウリップなどの花が咲き、秋にはりんごが多数実る市民の散策と憩いの場となっています。しかし、その魅力が市民の方に十分PRされていないため、私たちが情報を発信し、イベントを通じて大勢の方がここを訪れて欲しいと願っています。</p>		
他団体との連携が可能なこと・したいこと	<p>(1) ハロウィンのイベントを開催している他の団体と共同してハロウィンのPRを行い、ハロウィンイベントを盛り上げていきたい。</p> <p>(2) 丘のまちの商店、団体との大きな輪を作って、活性化に向けての様々な取り組み、盛り上がりを作りたい。</p>		
困っていること	<p>(1) イベントの時は大勢の参加者があるが、その盛り上がりが一過性に終わってしまう。</p> <p>(2) イベントを行うには経費が必要で、その経費が主催者の負担となり、毎年その事業を継続していくうえで大きな課題である。</p>		
会員募集(募集の場合は○、しない場合は×)	×	条件等	
ボランティア募集(募集の場合は○、しない場合は×)	×	条件等	

(ふりがな)	とおやまごうかんこうきょうかい		
団体名称	遠山郷観光協会		
(ふりがな)	こんどうちかお		
代表者氏名	近藤力夫		
設立年月日	平成17年10月1日		
ホームページ	tohyamago.com		
活動内容			
	<p>遠山郷観光大使 とおやま丸 ゆるきやら天国inりんご並木にてH26.4</p>		<p>チャレンジマラニックin遠山郷 H26.9</p>
	<p>伊那山脈と南アルプスに挟まれた遠山郷。 遠山へ来たら、かぐらの湯のとなりにある「アンバマイ館」にぜひお寄り下さい。遠山郷観光協会はこのアンバマイ館の中にあります。「アンバマイ館」の名前の由来は、「あんばまいか」。「アンバマイカ」とはこの地方の方言で「遊びましょう」という意味。 観光案内所やホームページを通して、遠山郷の魅力を知ってもらったり、住民との交流を持っていただけたらと、全国の皆さんへ情報発信しています。どうぞお気軽にお問い合わせ下さい。</p>		
PRしたいこと	<p>遠山郷は長野県の最南端、南信濃・上村地方の山深い谷これぞ日本の秘境です。 国の重要無形民俗文化財に指定されている遠山霜月祭、神様の湯治場の伝説がある秘境の谷に湧いた天然温泉「かぐらの湯」、日本の原風景が残る場所下栗の里、南アルプスの雄大なパノラマを望むしらびそ高原、南アルプスの恵みをたっぷり含んだ名水・観音霊水、山と溪谷に囲まれた里山がここに 있습니다。 心安らぎ、人情味溢れる遠山郷へのお越しをお待ちしています。</p>		
他団体との連携が可能なこと・したいこと	情報発信、地域振興における連携、役割分担。		
困っていること	地域として、過疎化・高齢化が深刻になってきていること。		
会員募集(募集の場合は○、しない場合は×)	×	条件等	
ボランティア募集(募集の場合は○、しない場合は×)	○	条件等	遠山郷では、遠山郷の外に住んでいて、遠山郷を応援して下さる「第二のふるさと村民」を募集しています。入会金も会費も無料ですが、特にお得な特典はありません！何も特典はありませんが、あなたの心のふるさとにして、応援してくれると嬉しいです。

(ふりがな)	きょうほくまちづくりいいんかい		
名 称	橋北まちづくり委員会		
(ふりがな)	みやざき えいじ		
代表者氏名	宮崎 栄治		
ホームページ	地域コミュニティサイト「南信州ぽおたる」		
メールアドレス	kyouhoku@gmail.com		
基本構想・計画、事業計画等で目指すまちづくりの目標	<p>「豊かな歴史・文化がいきづき、活力にあふれ、誰もが健康で安心して暮らせる明るいまちづくり」</p> <ul style="list-style-type: none"> ○健康で生きがいをもって暮らせるまちづくり ○安心、安全で快適なまちづくり ○人材育成と、各世代が交流しあい、顔の見えるまちづくり ○まるごと博物館事業・個性のあるまちづくり 		
重点事業又は特徴ある事業や活動	<p>1. 菱田春草生誕地公園の開園、「春草公園を愛する会」の活動開始</p> <p>市民の皆さんの署名活動や募金活動を通しての思いが実り、菱田春草生誕地公園が開園した。「春草公園を愛する会」が毎日の手入れを行っている。春草に親しみ、市民の憩いの場となるような公園を目指している。</p> <p>9月26日に開園記念イベントを開催し、講演会や散策に約100名が参加した。</p>  <p style="text-align: center;">開園式典</p> <p>2. 空き家活用による地域コミュニティの拠点づくり</p> <p>春草生誕地公園に隣接する空家を借り受け、有志にて掃除をし、県の元気づくり支援金を活用して床、電気設備、給排水設備、トイレを改修した。内装についてはOIDE長姫高校建築科の生徒のデザインにより、住民と協働して作業した。公園の維持管理活用の拠点、地域コミュニティの拠点としての活用を始める。</p>  <p>3. 橋北囃子保存会、お練祭り出演</p> <p>橋北屋台囃子の伝統文化復活継承事業としてH22年から取り組んできた。H28年のお練り祭りに、全町内を挙げて応援し、橋北地区の演目として出演する。全町内で所望をかけ、全町内にて演舞する。</p> 		
NPO等他団体との連携が可能なこと・したいこと	<ul style="list-style-type: none"> ○旧飯田測候所の利活用 ○菱田春草生誕地公園の維持管理・活用 ○歴史的建造物の保存活用 ○空き家の利活用 		
ボランティア募集希望の有無・内容	有り	内容・条件	<ul style="list-style-type: none"> ○菱田春草生誕地公園の維持管理・活用 ○空き家の利活用

(ふりがな)	きょうんなまちづくりいいんかい		
名 称	橋南まちづくり委員会		
(ふりがな)	はら つとむ		
代表者氏名	会長 原 勉		
ホームページ	地域コミュニティサイト「南信州ぼおたる」		
メールアドレス	kyounan.machi@gmail.com		
基本構想・計画、事業計画等で目指すまちづくりの目標	①まちづくり委員会の活性化と総合力の発揮 ②安心して住めるまちづくりの形成 ③環境にやさしいまちづくりの形成 ④プロジェクト及び新市庁舎建設事業の推進 ⑤地育力の醸成 ⑥道路・河川等の環境整備 ⑦中心市街地活性化の促進		
重点事業又は特徴ある事業や活動	○地域一体となった、諸行事への協力体制 橋南夏まつり、文化祭、橋南地区大運動会、ほか ○防災組織体制の強化と計画的な防災用具の整備 ○街頭防犯カメラ設置の推進と防火・防犯巡回 ○ラベンダーの維持管理 ○飯田市こども家庭応援センター事業への協力 ○りんご並木の維持管理と周辺の活性化 りんご並木後援会、収穫祭、周辺清掃など ○風越登山マラソン大会への協力 ○地育力の醸成と伝統芸能文化の継承活動 夏休み子ども教室や放課後子ども教室、児童クラブ等を活用し、地域の伝統芸能の継承と、地域への愛着を育む (松一獅子舞子ども教室、天龍太鼓子ども教室、おひまち)		
	(飯ごう炊さん)		(橋南夏まつり)
			
NPO等他団体との連携が可能なこと・したいこと			
ボランティア募集希望の有無・内容		内容 ・ 条件	

(ふりがな)	はばまちづくりいいんかい		
名 称	羽場まちづくり委員会		
(ふりがな)	ささき しょうじ		
代表者氏名	会長 佐々木 祥二		
ホームページ	地域コミュニティサイト「南信州ぽおたる」 http://www.minapo.jp/		
メールアドレス	habamachi@gmail.com		
基本構想・計画、事業計画等で目指すまちづくりの目標	安全安心で住みよい羽場地区		
重点事業又は特徴ある事業や活動	<p>羽場地区まちづくり基本構想・基本計画「羽場の未来構想」を平成27年3月に策定し、2015年度から2027年度までの重点施策を具現化する事業がスタートしました。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 自然と伝統文化を守り育てる羽場 2. あいさつと交流で笑顔あふれる羽場 3. 命を大切にする住みよいまち羽場 4. 女性が輝くまち羽場 5. ワクワク体験いっぱいの羽場公民館 6. 清潔で花あふれる羽場 7. 羽場地区土地利用計画の充実 <p>「羽場の未来構想」を柱に据え、より良い地域づくりを進めます。</p>		
	 <p>羽場地区クリーンアップアクション</p>		
	 <p>サル去れ警備隊、有害鳥獣対策</p>		
	 <p>羽場セントラルパーク愛護会</p>		
	 <p>羽場地区 市政懇談会</p>		
 <p>地震総合防災訓練、避難所の開設</p>			
NPO等他団体との連携が可能なこと・したいこと	地元企業(多摩川精機、飯田病院、カワチほか)、市民団体(グリーンバード等)、小中学校と協働して、主要幹線のポイ捨て防止啓発活動やゴミ拾いに取り組む。		
ボランティア募集希望の有無・内容	○	内容・条件	「環境美化重点区域」の指定を目指し、公園はじめ飯田南木曽線、羽場大瀬木線など、ポイ捨て等防止にご協力ください。

(ふりがな)	まるやま まちづくり いいんかい		
名 称	丸山まちづくり委員会		
(ふりがな)	かいちょう おざわ のぶよし		
代表者氏名	会長 小澤 伸好		
ホームページ	地域コミュニティサイト「南信州ぽおたる」		
メールアドレス	machi-maruyama@aq.wakwak.com		
基本構想・計画、事業計画等で目指すまちづくりの目標	<p>「風越山とともに 住み続けたい自然豊かなまち 丸山」(2015～2045年度) 自主・自立の精神の下、丸山地域自治区住民の参加により、住民一人ひとりが豊かさを実感できる、安心・安全で潤いのある地域づくりを進める。</p>		
重点事業又は特徴ある事業や活動	<p>リニア時代を見据えた丸山地区の10年後を想定した計画</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 地域振興【インフラ整備の促進と、地域資源を活用した安心安全な地域づくり】 2 健康づくり・地域福祉【子どもの声が響き合う、長寿社会の構築】 3 生活安全【交通安全、防火、防犯対策による安心して暮らせる丸山】 4 環境保全【みんなで守り育てる自然豊かな美しいまち丸山】 5 公民館【より多くの人が集う「公民館」づくりに向けて】 6 自主防災【自分の命は自分で守る・自分たちの地域は自分たちで守る】 <p>計画に基づき各種事業を実施(H27年度の主な取り組み)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 未来へつなぐ 風越山麓わくわくプロジェクト「夕源平ママザクラ植栽」 <ul style="list-style-type: none"> ・ヤマザクラ種子採取～播種 ・ベニマンサク挿木による育苗 2 丸山地区シンボル花木の制定(花:ナデシコ 木:ベニマンサク) 		
			
	風越山「夕源平」ヤマザクラ植栽イメージ	風越登山マラソンおもてなし花壇作成(小中学生と協働)	
NPO等他団体との連携が可能なこと・したいこと			
ボランティア募集希望の有無・内容	有	内容・条件	放課後子ども教室のボランティアスタッフ 第1・2・3水曜日 午後3:20～4:30、土曜日(学期に1回程度)午前9:00～11:30 子どもが好きで一緒に遊んでいただける方

(ふりがな)	ひがしのまちづくりかいぎ		
名 称	東野まちづくり会議		
(ふりがな)			
代表者氏名			
ホームページ	http://www.minapo.jp		
メールアドレス	higashinokaigi@gmail.com		
基本構想・計画、事業計画等で目指すまちづくりの目標	<p>東野まちづくり会議は、飯田市が地域自治組織を平成19年度に導入したことに伴い、従来の東野連合自治会に代わって発足した自治活動組織です。専門委員会として、総務、生活安全、健康福祉、環境保全、公民館があり、東野地区が、元気で住みよい地域になることを目指して、総合的なまちづくり活動に取り組んでいます。</p>		
重点事業又は特徴ある事業や活動	<p>○桜並木の再整備に向けた取り組み 桜並木再整備の基本的な考え方を懇談会や桜並木再整備検討委員会において検討し、整備方針(案)を策定した。 基本的には、「桜並木」を市民や来訪者が四季を通じて楽しみ、歩行者に優しい歩道空間を確保するために、以下のような考え方をもって進めていく予定です。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・道は人が歩くためのもので、車が遠慮して通る道とします ・桜が伸び伸びと育つような環境を整えます ・より多くの住民が樹木の育成管理に関わります ・桜並木をコミュニティの場として使いこなしていきます ・道だけではなく、街全体の環境を良くしていきます 		
	 		
	<p>○桜並木イルミネーション 桜並木整備を考える懇談会の中で、冬のイベントとしてイルミネーション飾付けの企画が持ち上がり、丘の上の賑わいに繋がればと、桜保存会等と協働で実施しました。 点灯期間:12月10日～1月10日</p> 		
NPO等他団体との連携が可能なこと・したいこと			
ボランティア募集希望の有無・内容		内容 ・ 条件	

(ふりがな)	ごこうじちいきじちかい		
名 称	座光寺地域自治会		
(ふりがな)	きたはらさんぞう		
代表者氏名	会長 北原三三		
ホームページ	http://zakoji.jp 		
メールアドレス	ominosato@zakoji.jp		
基本構想・計画、事業計画等で目指すまちづくりの目標	<p>文化と歴史の薫る・心豊かに暮らせる『麻績の里 座光寺』 ～自ら考え自ら行動する里づくり～</p> <ul style="list-style-type: none"> ・心通い合うふれあいの里づくり ・地域を愛し自ら行動する人が育つ里づくり ・自然・歴史・文化の誇れる里づくり ・快適で、安心・安全なやすらぎの里づくり ・地域の特性が光る活力ある産業の里づくり ・麻績の里づくりを支える基盤整備 		
重点事業又は特徴ある事業や活動	<ul style="list-style-type: none"> ○ 長期的な視野に立った取組を行うために、有志で構成する特別委員会を自治組織の中に設置 麻績の里振興委員会、水辺の広場委員会、麻績の里ふるさと応援倶楽部 歴史に学び地域をたずねる会、パノラマファーム大門 土地利用計画運営委員会、リニア地域づくり推進会議、2000年浪漫の郷委員会 ○ リニア中央新幹線に備えるために策定した「リニアを見据えた地域づくりの基本方針」を踏まえて、整備に係る具体的対策組織として「リニア地域づくり推進会議」を新設し、リニア・SIC・アクセス道路等の課題に対応。 ○ 国史跡「恒川官衙遺跡」をはじめ、数ある歴史文化を活かして 市民の憩いの場や都市との交流と学習の拠点としてまちづくりを推進するために協議・活動する組織として、「2000年浪漫の郷委員会」を新設。 ○ 都市と農村交流による新たな価値感の創造を目的とした、渋谷区との交流事業の推進 渋谷区へのリンゴの植樹、竹宵展示、渋谷駅前への竹垣設置 渋谷区からの夏・秋の体験旅行の受け入れ、「渋谷くみん祭」への参加 ○ 地域への愛着心を育むため、自然や地域の資源を活用した体験学習への取り組みへの強化。また、地域の情報発信を効果的に行う住民主体のホームページの開設(H26.9開設) 		
	 		
NPO等他団体との連携が可能なこと・したいこと			
ボランティア募集希望の有無・内容	無	内容・条件	

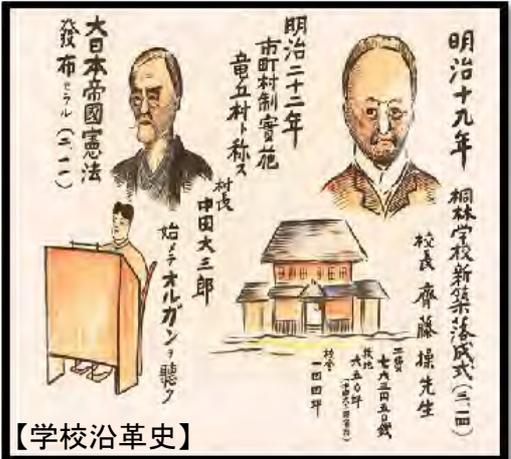
(ふりがな)	まつおちくまちづくりいいんかい		
名 称	松尾地区まちづくり委員会		
(ふりがな)	おぎそ ひろと		
代表者氏名	会長 小木曾 博人		
ホームページ	地域コミュニティサイト「南信州ぽおたる」		
メールアドレス	matuo@city.iida.nagano.jp		
基本構想・計画、事業計画等で目指すまちづくりの目標	<p>○松尾地区基本構想 自分たちのまちは自分たちの手で、やらまいか松尾 「共生、共働、サステイナブルコミュニティ」</p> <p>○松尾地区のまちづくり 重点目標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・みんなが心と力を合わせる元気なまちづくり ・安心して暮らせる安全なまちづくり ・子どもから高齢者まで健やかに暮らせるまちづくり 		
重点事業又は特徴ある事業や活動	<p>○第2回松尾郷土芸能まつり 地区内の郷土芸能等(獅子舞、お囃子、太鼓など)10団体が演舞。緑ヶ丘中・松尾小の児童等も出演。郷土意識の醸成につながり地育力の向上に寄与。</p> <p>○地域安全大会 平成21年度から継続して実施。27年度は交通安全や特殊詐欺防止などの内容で開催。地域住民やPTAなど約190名が参加して地域の安全を考えた。</p> <p>○鳩ヶ嶺八幡宮紅葉ライトアップ 平成23年度から継続して開催。八幡宮を中心とした地域の活性化、住民の郷土意識や地区の一体感の醸成、人づくりを目的として開催した。</p> <p>○学校支援ボランティア(松尾小学校への支援) 松尾を良く知り、専門的な技術等をお持ちの方が、年5回、クラブ活動を指導。</p> <p>○相撲土俵の整備 城公園(慈光松尾保育園跡地)にまちづくり委員会が中心となり児童も加わって手作りの相撲土俵を造成。松尾の子どもは松尾で育てる理念を具現化した。</p>		
	 		
NPO等他団体との連携が可能なこと・したいこと			
ボランティア募集希望の有無・内容	有	内容・条件	グリーンベルト(段丘崖の緑地帯)保全活動の実施(竹林伐採、間伐等)

(ふりがな)	しもひさかたちくまちづくりいいんかい		
名 称	下久堅地区まちづくり委員会		
(ふりがな)	かいちょう ひらさわ ひでひこ		
代表者氏名	会 長 平沢 英彦		
ホームページ	http://www.shimohisakata.com(下久堅地区まちづくり委員会)		
メールアドレス			
基本構想・計画、事業計画等で目指すまちづくりの目標	<p>第8次下久堅地区基本構想「今 そして未来へつなぐ里 ひさかた」平成25～29年度</p> <p>①みんなの絆で未来へつなぐ里づくり ②みんなで助け合い、安心・安全に暮らせる里づくり ③誰もが安心して暮らせる健康・福祉の里づくり ④いきいきとした人と自然の調和する里づくり ⑤地域に愛着と誇りがもてる心豊かな教育・文化の香る里づくり</p>		
重点事業又は特徴ある事業や活動	<p>(1)桜色に染まる里づくり・伝統継承 地域の団体や下久堅小児童等の協力で「梶曲輪の桜保全」「桜の苗づくり」「紙すき」などの活動を継続している。</p> <p>(2)地域ぐるみで子育て支援 児童クラブ・放課後子ども教室などによる子育て支援にあたり、保護者・住民ボランティアが参加・協力している。また、「地域は大きな教室」をモットーに平成26年度に下久堅子ども応援隊が発足し活動中。</p> <p>(3)地域力の向上 平成26年度に公民館・自治振興センターの移転改築が行われ、地域住民にとって利用しやすく地域の拠点となるよう取り組んでいる。</p> <p>(4)道路整備 国道256号下久堅バイパス、(主)飯田富山佐久間線などの地区内幹線道路網整備により、リニア・三遠南信自動車道の高速交通網に対応すべく取り組んでいる。</p> <p>(5)ツアー・オブ・ジャパン(TOJ)南信州ステージへの支援と協力</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;">  <p>梶曲輪の桜保全(桜の実蒔き)</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>子ども応援隊(家庭科の授業)</p> </div> </div>		
NPO等他団体との連携が可能なこと・したいこと	<p>(1)公民館・自治振興センターの移転改築に伴い、JA下久堅支所と併設になったことから、地域のコミュニティー強化と農業振興面から新たな連携や展開を期待している。</p> <p>(2) UIターン者の定住を支援するための住宅や農業技術支援者等の確保</p>		
ボランティア募集希望の有無・内容	有	内容 ・ 条件	<p>・放課後子ども教室のボランティアスタッフ(平日の午後3時～6時の活動に参加可能な方)</p> <p>・地元高校生・飯田女子短期大学生の協力も歓迎します。</p> <p>・ひさかた和紙保存会活動への協力と会員増強</p>

(ふりがな)	かみひさかたちくまちづくりいいんかい		
名 称	上久堅地区まちづくり委員会		
(ふりがな)	しおざわ かずし		
代表者氏名	会長 塩沢 一志		
ホームページ	http:// kamihisakata.sakura.ne.jp		
メールアドレス			
基本構想・計画、事業計画等で目指すまちづくりの目標	「住んでみたい 住み続けたい元気な郷“上久堅”」		
重点事業又は特徴ある事業や活動	<p>従来の最重点課題『少子化対策』・『高齢者健康対策』を実施。</p> <p>1. 『上久堅児童クラブ』事業 延長保育にあたる園児預かり事業を併設した児童クラブ事業の実施。地元ボランティアによる事業運営の支援</p> <p>2. 若者定住住宅建設に向けた取り組み 20年度より教員住宅等の用途変更3棟。新築6棟完成入居により9世帯増加。</p> <p>3. 高齢者健康対策事業 (1)「食工房 十三の里」高齢者向け配食サービスの実施(週2回;75歳以上26名) (2)高齢者健康対策 健康講演会の実施(年1回;がん検診について) 健康セミナー(年4回;歯科、骨密度測定、プラステン、認知症) 常会健康教室の実施(13会場;糖尿病、がん検診) 公民館共催ウォーキング(年2回) 囲碁ボール講習会の実施(まちづくり委員会にて1基購入)</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid orange; padding: 5px; margin: 5px;"> <p>囲碁ボール講習会</p>  </div> <div style="border: 1px solid orange; padding: 5px; margin: 5px;"> <p>ウォーキング</p>  </div> </div>		
NPO等他団体との連携が可能なこと・したいこと			
ボランティア募集希望の有無・内容		内容 ・ 条件	

(ふりがな)	ちよちくまちづくりいいんかい		
名 称	千代地区まちづくり委員会		
(ふりがな)	かわて しげみつ		
代表者氏名	会 長 川手 重光		
ホームページ	http://chiyo-x.jp 千代地区まちづくり委員会		
メールアドレス	chiyo@city.iida.nagano.jp		
基本構想・計画、事業計画等で目指すまちづくりの目標	<p>豊かな緑と果てなきロマン～千年の里 千代・千栄を紡ぐ～</p> <ol style="list-style-type: none"> そこに住む人々が、心豊かに生き生きと暮らせる地域 特有の魅力が醸し出され、地区内外の多くの人々による交流が活発な地域 地域の力を結集して支え合い、前へ向かって歩もうとする活力に満ちた社会 		
重点事業又は特徴ある事業や活動	<ol style="list-style-type: none"> 平成27年度重点事業 <ol style="list-style-type: none"> ①持続可能な地域づくりのため「健康で生涯現役」をめざし、地区の皆さんの健康づくりを支援する取り組み ②都市農村交流活動を主とした持続的な地域づくりの方策の検討 ③2015野外イベント(音楽祭)4の開催 ④人口増に向けた取り組み <ul style="list-style-type: none"> ・Iターン希望者受け入れのための調査・研究、準備活動 特徴的な活動 <ol style="list-style-type: none"> ①棚田百選「よこね田んぼ」の保全管理、体験修学旅行受入れ ②社会福祉法人しゃくなげの会と連携した「地域子どもやお年寄り地域で守り、育てる」取り組み 		
			
	『第1回千代野外音楽祭』小学生の太鼓演奏		「よこね田んぼ」稲刈り体験
NPO等他団体との連携が可能なこと・したいこと	「よこね田んぼ」保全活動の協働や助言		
ボランティア募集希望の有無・内容	有	内容・条件	「よこね田んぼ」保全作業(草刈り・田植え・稲刈り等)

(ふりがな)	たつえちいきづくりいいんかい		
名 称	龍江地域づくり委員会		
(ふりがな)	いちのせ こうし		
代表者氏名	会 長 一ノ瀬 孝司		
ホームページ	http://www.tatue.jp		
メールアドレス	tatue@city.iida.nagano.jp		
基本構想・計画、事業計画等で目指すまちづくりの目標	<p>誰もが住みたい地域 “みんなで創る 豊かで元気な 住みよい龍江”</p> <p>①人が行き交う和みの地域づくり「憩」 ②便利で豊で住みよい地域づくり「豊」 ③健康で生き活きと暮らせる地域づくり「活」 ④安全で安心して快適に暮らせる地域づくり「安」 ⑤思いやりを持って支え合う地域づくり「絆」</p>		
重点事業又は特徴ある事業や活動	<p>(1) 三遠南信自動車道、千代、天龍峡、龍江ICを生かした地区内アクセス道路の整備促進。土地利用計画の策定充実。空家の利用促進 (2) 天龍峡を核とした観光資源の開発。花の里構想の実施。地域の魅力の発掘 (3) 災害時助け合いマップの活用。日常的に助け合いが出来る土壌の醸成 (4) 社会教育活動を通じ、住民相互の信頼関係の構築、結びつきを高める (5) 「第3次龍江21構想」に基づき定住人口や交流人口、観光人口を増やす地域振興の在り方についての研究および積極的取り組み (6) 地域振興住宅建設の受け入れ (7) 出会いのプロデュースによる結婚支援 (8) 高齢者の生活支援 (9) 龍江ホームページの積極的活用</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>市政懇談会時における新成人の意見発表</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>武田信玄狼煙(のろし)リレー</p> </div> </div>		
NPO等他団体との連携が可能なこと・したいこと	地域づくりに関する事であれば連携可		
ボランティア募集希望の有無・内容	なし	内容 ・ 条件	

(ふりがな)	たつおかちいきじちかい		
名 称	竜丘地域自治会		
(ふりがな)	くまがい かずみ		
代表者氏名	熊谷 和美		
ホームページ	http://tatuoka.nagano.jp		
メールアドレス	tatuoka@city.iida.nagano.jp		
基本構想・計画、事業計画等で目指すまちづくりの目標	<p>・竜丘地区基本構想(2014年度～2030年度)の将来像「ロマン溢れる学びの丘 共生のまちづくり」を実現するための7つの「丘づくり」</p> <p>①住民の支え合いによる丘づくり ②地域資源の保全・活用、景観形成による丘づくり ③災害予防活動と豊かな人間関係による丘づくり ④歴史文化の活用で人材育成を進める丘づくり ⑤地域産業の振興と地域ぐるみ支援による丘づくり ⑥秩序ある適正な土地利用による丘づくり ⑦地域力の強化による丘づくり</p>		
重点事業又は特徴ある事業や活動	<p>・基本構想を実現するための戦略として、「景観・環境」及び「教育文化」分野に重点的に取り組み、短期的、中・長期的な重点事業を実施することで「環境・文化地区」を目指している。</p> <p>【地域自治会による太陽光発電事業】 太陽光発電事業がスタートし、売電収益による再投資先に良好な景観づくりを目的とした遊休農地を活用したガーデニング講習会、天竜川鷲流峡環境美化活動に活用した。</p> <p>【天竜川鷲流峡環境美化活動推進事業】 名勝鷲流峡周辺の不法投棄が後を絶たない状況を課題としてとらえ、「地域ぐるみによる不法投棄対策と景観美化活動の促進」を施策として位置づけ、不法投棄をさせない・されないための取り組みを行なった。具体的には事業者(天竜舟下り株)と連携し「鷲流峡復活プロジェクト」を立ち上げ、竹林伐採作業、ガードレール洗浄作業、環境教育体験活動を実施した。</p> <p>【木下紫水が描いた学校沿革史の保存顕彰事業】 ・自治会と竜丘小学校が連携して実行委員会を立ち上げ、学校沿革史の保存と顕彰用レプリカの作成に取り組んだ。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;"> <p>【天竜川鷲流峡復活PJ】</p>  </div> <div style="text-align: center;">  </div> </div>		
NPO等他団体との連携が可能なこと・したいこと	多くの企業等と連携を進め、環境ツーリズムで地域活性化を図りたい。		
ボランティア募集希望の有無・内容	有	内容・条件	鷲流峡復活プロジェクト 竹林マスターズスタッフ

(ふりがな)	かわじまちづくりいいんかい		
名 称	川路まちづくり委員会		
(ふりがな)	よしかわ たけお		
代表者氏名	会長 吉 川 武 夫		
ホームページ	地域コミュニティサイト「南信州ぽおたる」		
メールアドレス			
基本構想・計画、事業計画等で目指すまちづくりの目標	<p>地区キャッチコピー「不老長寿の郷 心も体も生き活きと」 地区目標 『豊かで活力ある安全安心な川路』 基本方針</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 住民協働による支え合い 2 産業振興と若者定住 3 安全安心・快適生活環境づくり 4 歴史文化と川路を思う心豊かな人づくり 		
重点事業又は特徴ある事業や活動	<p>H23年度に策定した「地区目標・地区計画・土地利用計画」を踏まえた地区キャッチコピー「不老長寿の郷」を目ざし、3つの重点を中心に取り組んでいます。</p> <p>●活動指針</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 自立 自分達のことは、出来る限り自分達の力で！ 2 共助 共に助け合う気持ちを大切に！ 3 親睦 お隣近所・地域の人々との絆を深め！ 4 環境 済みよい環境づくり、皆で考え協力しよう！ <p>●重点取組</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 各区並びに委員会・部会活動で住みよい川路を実現 <ul style="list-style-type: none"> ・バイパスの植栽帯景観保全 ・心と体の健康づくり講演会 2 組織及び事業の見直し <ul style="list-style-type: none"> ・まちづくり委員会組織及び事業の見直し 3 子育て支援 子供達は地域の宝、環境を整える。 <ul style="list-style-type: none"> ・延長・未満児保育実現への取組み 		
	 <p style="text-align: center;">バイパス植栽帯</p>  <p style="text-align: center;">心と体の健康づくり講演会</p>		
NPO等他団体との連携が可能なこと・したいこと	<ul style="list-style-type: none"> ・地域が行う経済活動 ・地域が行う老人福祉サービス活動 ・地域が行う子育て活動 ・地域が行う環境活動 		
ボランティア募集希望の有無・内容	今のところなし	内容・条件	

(ふりがな)	みほまちづくりいいんかい		
名 称	三穂まちづくり委員会		
(ふりがな)	かいちょう はら まさお		
代表者氏名	会 長 原 征雄		
ホームページ	http://www.iida-miho.sakura.ne.jp/		
メールアドレス	miho@city.iida.nagano.jp		
基本構想・計画、事業計画等で目指すまちづくりの目標	自然とロマンの里 三穂 「子どもから高齢者まで 元気な声が響き渡り 活力あり 支え合い 心豊かな 人も自然も輝ける里」		
重点事業又は特徴ある事業や活動	<p>○地域資源の活用による活性化 地域資源を地域が認識し、活用・情報発信により地域の活性化に繋げる。 【旧小笠原家書院・資料館】 ・小笠原書院「神無月の宴」・・・国の重要文化財と有名な建築家の施設であるが、観覧者は年々減少傾向。そこで、この施設の存在や価値をイベントを通じて発信すべくイベントを企画。本年度は落語会を開催。有料公演ではあったが、地区内外の70名程の集客があった。また、落語界のプレイベントとして施設中庭で観月会を開催。スーパームーンを愛でて古き時代に思いを馳せた。 【夫婦杉観察会】・・・樹齢千年の夫婦杉は彼岸にお互いの影を相手に届ける。長い年月をかけて起こる自然現象を実際に観察することで魅力を再認識した。 【空き家活用】・・・空き家も地域の資源と捉え、農家レストランとしての活用を検討中。本年度は、地域農産品を活用して施設を運営する方をお招きし講演会を予定している。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;"> <p>神無月の宴 落語</p>  </div> <div style="text-align: center;"> <p>雌杉の影が雄杉に延びる</p>  </div> </div>		
NPO等他団体との連携が可能なこと・したいこと			
ボランティア募集希望の有無・内容		内容 ・ 条件	

(ふりがな)	やまもとちいきづくりいいんかい		
名 称	山本地域づくり委員会		
(ふりがな)	かいちょう なかじま ゆうぞう		
代表者氏名	会長 中 島 雄 三		
ホームページ			
メールアドレス			
基本構想・計画、事業計画等で目指すまちづくりの目標	<p>「美しく、心豊かに、集うさと 山本」 この言葉を旗印に、地区内外を問わず、全ての人々が楽しめる地域、住んでよかった、来てみてよかったと言われる地域を皆で創出する。 ＜10の地域づくり目標＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ○土地を活用した住みよい地域づくり ○自然が豊かで潤いのある地域づくり ○思いやり支え合う地域づくり ○安全に暮らせる地域づくり ○文化や歴史・スポーツに親しむ地域づくり ○地域自治の推進と交流の地域づくり ○拠点が整備された地域づくり ○産業の発展する地域づくり ○健康で快適な地域づくり ○ひとが育つ地域づくり 		
重点事業又は特徴ある事業や活動	<p>【杵原学校名誉校長に山田洋次監督が就任】 映画母べえの監督である山田洋次さんに、杵原学校の名誉校長にご就任いただいた。 5月には、山田洋次監督、吉永小百合主演映画の「母と暮せば」のロケが杵原学校で行われ、山本小学校児童28名がエキストラとして出演した。 杵原学校に来られる観光客への物品販売について、商工会議所山本支部と検討を始めた。</p> <p>【飯田山本おひさま広場の整備】 山本東平と大明神の境付近に、昨年度からコミュニティ広場の整備を始めている。2年目となる今年は、宝くじの助成により、遊具、パーゴラ、テーブル、ベンチ、芝刈機を整備した。引き続き、トイレの建設を進めている。</p> <p>【山本地区基本構想中間見直し】 飯田市次期総合計画策定の伴う地区別懇談会において、山本地区の未来ビジョンは、山本地区基本構想の方向で良いことが確認され、中間報告した。 引き続き、基本構想が5年を経過しており時点修正も必要であることから、この機会に中間見直しを行うこととなり、基本構想検討委員会を立ち上げ、若い人や女性にも広く意見を聞きながら見直しを始めている。</p> <p>【有害鳥獣目撃及び被害情報の収集】 鳥獣被害対策に向けて、目撃及び被害情報を収集し、今後の取り組みの検討を始めた。</p> <p>【デジタル無線による防災訓練の実施】 共同募金配分事業によりデジタル簡易無線局のアンテナ整備と無線機を4台購入し、デジタル無線機を使った防災訓練を実施した。</p>		
NPO等他団体との連携が可能なこと・したいこと			
ボランティア募集希望の有無・内容	無	内容 条件	



(ふりがな)	いがらまちづくりきょうぎかい		
名 称	伊賀良まちづくり協議会		
(ふりがな)	はしべ ひでお		
代表者氏名	橋部 秀夫		
ホームページ			
メールアドレス	igara@city.iida.nagano.jp		
基本構想・計画、事業計画等で目指すまちづくりの目標	<p>伊賀良地区基本構想(2011～2020)「緑輝き、人と文化が行き交うまち 伊賀良」</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 人に自然に優しい土地利用 2 誰もが安心して暮らせる地域づくり 3 自然を大切に、「地の利」を生かした産業づくり 4 香り高い文化の創造 5 心が通い合う地域づくり 		
重点事業又は特徴ある事業や活動	<p>【西部山麓活用推進事業】 自然に恵まれた西部山麓一帯を、市民に親しまれる憩いの場、観光客を呼べる資源として地区民の手により整備を進めている。 ・西部山麓フェスティバルの開催 ・沢城湖周辺の手入れと清掃作業 ・もみじの植樹と管理</p> <p>【ふれあい広場事業】 健康福祉委員会が中心となって地区内健康福祉団体が一堂に会し、高齢者、子供、障がい者等住民相互の交流を目的に開催するイベント。</p> <p>【ひまわり子ども委員会事業】 「子育てを地域で支援していこう」という趣旨で、地域自治組織発足時から独立した委員会として設置。20歳未満を対象に子育て支援事業を展開している。 ・乳幼児学級 ・ミニキャンプ ・スポーツ大会、かるた大会 ほか</p> <p>【青色回転灯搭載車パトロール事業】 まちづくり協議会が導入した青色回転灯搭載車を活用し、地域住民の安全を守るため迅速できめ細かい広報・啓発活動及びパトロール活動を展開している。</p> <p>【あいさつ運動】 「あいさつ・声かけ運動に取り組むことにより、地域の連帯感を強め、思いやりの心を醸成するとともに、不審者の入りづらい安全で住みやすい地域をつくるための事業。 ・7月と10月を強調月間とし、組合ごとに小学生、中学生、通勤者に「あいさつ・声かけ」を行っている。</p> <p>【アップルロードのりんご並木事業】 飯田の玄関口「飯田IC」周辺に植えられたりんごの木を「人と道にやさしく」を合い言葉に、地域を挙げて大切に守り育てている。この活動には伊賀良小学校の児童も参加し、毎年全校生徒による収穫、そして「収穫祭」も開催している。</p>		
			
NPO等他団体との連携が可能なこと・したいこと			
ボランティア募集希望の有無・内容	内容・条件		

(ふりがな)	かなえちくまちづくりいいんかい		
名 称	鼎地区まちづくり委員会		
(ふりがな)	さわやなぎ ただお		
代表者氏名	会 長 澤 柳 忠 夫		
ホームページ	地域コミュニティサイト「南信州ぼおたる」 http://www.minapo.jp/ 鼎公民館 http://www.kanae.sakuraweb.com/		
メールアドレス	kanae@city.iida.nagano.jp		
基本構想・計画、事業計画等で目指すまちづくりの目標	<p>『豊かで 潤いある 元気な 鼎』 ～かなえよう 住みよいまち かなえたい 心安らぐまち～</p> <p>【行動理念】 私たちは、飯田市の一員として、飯田市のまちづくりの基本にある『自然と文化の調和と地球環境保全』『自主自立の精神と多様性』を念頭に、自分たちの地域を自分たちの力や考えで、『住み続けたいまちづくり』のためにまちづくり委員会が中心になって行動していきます。</p>		
重点事業又は特徴ある事業や活動	<p>【鼎地区パワーアップ事業】 鼎地区では、特色ある地域づくりや人づくりを推進するため、地区独自の『パワーアップ事業』を実施しています。自主グループの活動や事業、まちづくり委員会を実施しがたい事業などに毎年助成しています。また、各区で所蔵する美術工芸品の修復や祭り関連事業の備品の整備等についても助成を行っています。 平成27年度は14団体に約200万円を助成する予定です。</p> <p>【公立保育園・幼稚園の統合民営化】 鼎東保育園と鼎幼稚園の統合民営化に向けて、今年度は経営移管先選考委員会が昨年10月に発足し、まちづくり委員会の代表者、保育園・幼稚園の代表者、民生児童委員等8名が選考委員として飯田市長から委嘱を受けました。 今年度末までに引受け法人等を決定し、来年度から法人等による建設用地の取得、新保育園の園舎建設に向けて具体的に動き出します。</p> <p>【公民館事業】 鼎公民館では、乳幼児学級、夏休み中の「かなえっこどつきどきスクール」、地育力向上講座ふるさと再発見「ずんずんず～ん隊」、子を持つ親のための「おとなのBUKATU」など、子育てに対する多彩な活動を行っています。また、体育や文化事業を通じて地域の活性化に努めます。</p>		
			
	経営移管先選考委員会		かなえっこどつきどきスクー
NPO等他団体との連携が可能なこと・したいこと			
ボランティア募集希望の有無・内容		内容 ・ 条件	

(ふりがな)	かみさとちいきまちづくりいいんかい		
名 称	上郷地域まちづくり委員会		
(ふりがな)	やまだ まさし		
代表者氏名	山田 雅士		
ホームページ			
メールアドレス	kamisato@city.iida.nagano.jp		
基本構想・計画、事業計画等で目指すまちづくりの目標	「地域で育み支え合う 個性と魅力を生かした 活力ある未来を切り開く 新たな上郷地域の創造と挑戦」		
重点事業又は特徴ある事業や活動	<p>1 建設段階を迎えたりニア本體工事と、リニア駅周辺整備及びリニア関連道路整備とを一体的に捉え、JR東海及び行政機関に対し早期の情報提供と誠実な対応を行うよう求めるとともに、生活環境等への影響を極力回避、低減するための取組や駅周辺整備の具体的な計画に対する検討を上郷地域全体で行います。</p> <p>2 上郷地域基本構想・基本計画に掲げた目指す将来像の実現のため、役員会及び各委員会は他の委員会及び各種団体等と相互に連携を図りながら、具体的かつ計画的に施策の展開を図るとともに、基本構想・基本計画推進会議の場で進行管理を行います。</p> <p>3 上郷地域基本構想・基本計画に掲げた地域づくりや、リニア駅周辺整備及びリニア関連道路整備の本格化によるその土地利用や景観について、地域としての一定のルールづくりを行うとともに、適正な用途地域の指定や見直しの検討を行います。</p> <p>4 活動拠点であり中核的な機能を有する管理棟を拠点とし、野底山森林公園の指定管理先であるまちづくり委員会と管理人及びモーリーの森応援隊との三位一体の体制で管理運営を行い、リニア時代を見据えた地域密着型の公園づくりを行うとともに、公園内施設の整備を市と連携し進めていきます。</p> <p>5 上郷地域まちづくり拠点施設の基本設計を市と協議し進めます。</p> <p>6 上郷なかよし保育園新園舎の建設と周辺整備を市及び園と協議し進めます。</p>		
	J R 東海事業説明会		
NPO等他団体との連携が可能なこと・したいこと			
ボランティア募集希望の有無・内容		内容 ・ 条件	

(ふりがな)	かみむらまちづくりいいんかい		
名 称	上村まちづくり委員会		
(ふりがな)	きたざわ りょうたろう		
代表者氏名	会長 北澤 良太郎		
ホームページ			
メールアドレス	kamisoumu@city.iida.nagano.jp		
基本構想・計画、事業計画等で目指すまちづくりの目標	上村振興計画 「環境・伝統文化・人々がかがやく上村」		
重点事業又は特徴ある事業や活動	<p>【平成27年度重点事業】</p> <p>①小沢川小水力発電事業実現に向けた取組 発電所建設に向けた許認可に関する勉強会や事業主体となる会社設立に向けた取組を重点事業として実施。</p> <p>②霜月祭伝承に向けた取組 小学生による横笛の練習、地区外からの応援団の受入等を行っている。</p> <p>③地域環境美化事業(ヤナギラン植栽・アマゴの稚魚の放流事業) しらびそ高原一帯にあったヤナギラン群生の再生を目指し200株の苗を植栽野兎から苗を守るため防網を設置し、少しずつ甦り始めている。 環境保全教育の一環で、小学生による上村川へヤマメの稚魚を放流。故郷のきれいな川を保全していく取組を行った。</p> <p>④若者定住促進に向けた取組 “若い衆で地域を語らまいか”PJを中心として若者定住PRビデオを作成。様々な媒体を利用し、全国に向けて情報発信します。</p>		
			
	<p>ヤナギラン植栽 徐々に成果が出てきました。 8月中旬頃～可憐な赤紫の花を咲かせます。</p>		<p>アマゴの稚魚を放流 「大きくなってね～」の願いを込めて</p>
NPO等他団体との連携が可能なこと・したいこと			
ボランティア募集希望の有無・内容		内容・条件	

(ふりがな)	みなみしなの まちづくり いいんかい		
名 称	南信濃まちづくり委員会		
(ふりがな)	たまおき よういち		
代表者氏名	会長 玉 置 洋 一		
ホームページ			
メールアドレス			
基本構想・計画、事業計画等で目指すまちづくりの目標	地域づくりの7つの目標 1 住みたい、住み続けたい郷づくり 2 快適に暮らせる郷づくり 3 南信濃らしさを活かした産業の郷づくり 4 安心安全に暮らせる郷づくり 5 豊かな自然と共生する郷づくり 6 誰もが健やかに暮らせる健康と福祉の郷づくり 7 学びあい、文化を守る郷づくり		
重点事業又は特徴ある事業や活動	1. 平成27年度重点事業 ①小道木バイパス開通前イベント 9月27日(日)国道152号小道木バイパス開通前記念事業として、バイパスウォーキング&遠山郷食まつりを行いました。 ②合併10周年記念講演会 見つける・結ぶ・繋げていく「遠山郷の未来像～次世代へバトンを渡すために～」と題し10月4日(日)遠山2地区の飯田市合併10周年のお祝いとして、記念講演会を行いました。牧野市長・藤原直哉先生の記念講演・日赤奉仕団上郷分団による紙芝居「遠山」・遠山中学校生徒会による「遠山の未来を考える」の発表が行われました。 2. 特徴的な活動 ①地域福祉プロジェクト 毎月の定例会やふれあいサロンを開設し、家に閉じこもりがちな高齢者の集いの場所を提供し、地域住民が支えあいながら、安心・安全に暮らせるちいきづくりを推進する。		
			
	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; text-align: center;">小道木バイパス開通式</div>		<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; text-align: center;">合併10周年記念講演会</div>
NPO等他団体との連携が可能なこと・したいこと			
ボランティア募集希望の有無・内容		内容 ・ 条件	

(ふりがな) 団体名称	とくていひえいりかつどうほうじん よつば 特定非営利活動法人 よつば		
認証年月日	平成14年10月1日		
(ふりがな) 代表者氏名	りじちょう いまむら たかあき 理事長 今村隆昭		
主な事務所の所在地	飯田市久米436 (25-3227小林宅)		
ホームページ			
主な活動分野	宅老所		
活動内容	<p>○開催期日 宅老 毎週金曜日 午前9時～15時30分 趣味の教室 毎月月末の月曜日 時間は同じ</p> <p>○午前と午後1回お茶、昼食提供</p> <p>○活動内容 軽体操、誕生日会、講演会、演芸会、カラオケ、ボランティアの余興、お花見、紅葉見学、七夕祭り、ぴんころ祭り、地区文化祭参加、城山祭り参加、手芸、正月飾り作り、クリスマス会、遠足、レクリエーション、高齢者介護予防事業(運動機能向上、栄養改善、口腔機能改善、閉じこもり認知症及びうつ病予防・評価) 保育園児や小学生との交流</p>		
PRしたいこと	<p>地区には老人クラブが無くなり、高齢者が集う機会も失われ、高齢化に伴い介護問題が喫緊の課題となってきた。これに対応するため、介護を受けないために、健康で長生きし、「ぴんぴんころりん」を基本理念として、地域づくりに一翼を担っている。</p>		
他団体との連携が可能なこと・したいこと	ボランティアグループとの交流		
困っていること	財政的に苦慮している		
会員募集(募集の場合は○、しない場合は×)	×	条件等	
ボランティア募集(募集の場合は○、しない場合は×)	×	条件等	



(ふりがな)	とくていひえいりかつどうほうじん あやめ	
団体名称	特定非営利活動法人 あやめ	
認証年月日	平成16年 6月 18日	
(ふりがな)	まきうち のぶおみ	
代表者氏名	牧内 信臣	
主な事務所の所在地	飯田市川路2682番地	
ホームページ		
主な活動分野	老人介護福祉(通所介護・予防通所介護・生きがいデイ・居宅介護支援)	
活動内容	<p style="text-align: center;">特定非営利活動法人あやめ理念</p> <p>特定非営利活動法人あやめは多くの皆さんに支えられて誕生した発足の原点をしっかりと心に刻み、地域福祉の拠点として地域の人に愛され、信頼され、住み慣れた地域で最後までその人らしく住み続けられる地域づくりに貢献できる施設としての役割を果たして行く。</p> <p>1、利用者様の尊厳を守ります 2、利用者様の個々の思いに寄り添い利用者様のたくさんの笑顔を受けよう努めます 3、地域やご家族の支えになる施設を目指します 4、職員は生き生きと笑顔でサービスにあたります</p> <p>NPO法人あやめは、今年で12年を迎えます。さろんあやめ(宅老所) 韮16年9月～・介護相談センターあやめ(居宅) 韮16年11月～・三穂のまめだに(宅老所) 韮25年10月～各事業所共に地域福祉の拠点として地元の方を中心にたくさん利用して頂いております。</p>	
PRしたいこと	<p>特定非営利活動法人あやめを最初に立ち上げた時の思いは『私達が年を取っても地元である川路で生き続けたい。地域の中で自分らしく生きて行きたい』そんな思いから始めました。</p> <p>あの頃、元気に歩いてあやめに通って下さった人達もお亡くなりになったり、徐々に足腰が弱り車椅子を使う様になりました。利用の回数も週1回からほぼ毎日に。家族の方も介護が大変になってきたとお聞きしています。</p> <p>なかなか、多人数の施設に馴染めなかった利用者さんたちが、小規模事業所であるあやめにやっとの思いで来てくれるようになりました。地元の馴染みのある利用者さんや小規模ならではのきめの細かい対応で少しずつ慣れていってくれました。しかし、利用日が増えると介護保険の費用では収まらなくなります。そして、夜間の介護負担も徐々に家族を圧迫しはじめます。自立している独居の方も、普段は良くても風邪をひいて体調を崩した時には家族も心配です。</p> <p>人によっては、ショートステイや老人保健施設に行かれる方もいます。ショートステイや老人保健施設は、もともと新しいことに順応できない性格の方は、利用がなかなかできません。しかし、家族の都合で利用されると、混乱が起きます。混乱は時に体調にも影響を及ぼします。その繰り返しを私達はたくさん見て来ました。</p> <p>この人達をあやめでなんとかできないのか？馴染みのあるさろんあやめと同じ敷地で地元の馴染みの利用者さんといつまでも交流できる場所があれば…そんな思いから来年度グループホームの設立に至りました。</p> <p>地域の福祉の拠点としてさろんあやめ・介護相談センターあやめの近くにグループホームを設立し、他事業所との交流ができるようにします。通所・居宅・泊まりの施設が出来る事で、地域に暮らす人々が安心して生活できるよう頑張りたいと思います。</p>	
他団体との連携が可能なこと・したいこと	医療と福祉が連携し、地元で高齢者福祉の拠点となれるよう目指します	
ボランティア募集(募集の場合は○、しない場合は×)	○	条件等 個人・団体を問わず、是非連絡下さい。宜しくお願いします。

(ふりがな)	とくていひえいりかつどうほうじん みんなのて		
団体名称	特定非営利活動法人 みんなの手		
認証年月日	平成17年8月19日		
(ふりがな)	くまがい げんしゅ		
代表者氏名	熊谷 元守		
主な事務所の所在地	飯田市鼎中平1884-1		
ホームページ			
主な活動分野	保険 医療 福祉		
活動内容	<p>高齢者を始めとする地域の多くの人達に対して移送介助サービス ホームヘルプサービス、家族支援サービス 子育て支援サービスなどに関する事業を行い、地域福祉の向上と住みやすいまちづくりに寄与することを目的として活動しています。</p> 		
PRしたいこと	<p>介護保険ではサービスを受けられない多くの方々への生活支援です。 信頼と安心をモットーに地域福祉の向上と住みやすいまちづくりを目指して活動しています。</p>  <p>〒395-0801 長野県飯田市鼎中平1884-1 かなえ ひまわり薬局2階 TEL: 0265-56-4561 FAX: 0265-56-4562 お気軽に ご相談下さい。</p>		
他団体との連携が可能なこと・したいこと	介護事業所、地域包括支援センター等と連携して進めていきます。		
困っていること	利用者、ボランティア共に高齢化が目立ってきました。今後の課題です。		
会員募集(募集の場合は○、しない場合は×)	○	条件等	どなたでも
ボランティア募集(募集の場合は○、しない場合は×)	○	条件等	75歳までの方 どなたでも

(ふりがな)	とくていひえいりかつどうほうじん はんいがくせいぼうはんたいさくしえんきょうかい		
団体名称	特定非営利活動法人 飯伊学生防犯対策支援協会		
認証年月日	2006年 12月 21日		
(ふりがな)	いわさき まさる		
代表者氏名	岩崎 愈		
主な事務所の所在地	〒395-0041 飯田市中央通り4丁目43番地 新星ビル4階		
ホームページ			
主な活動分野	○地域安全(子どもの安全)		
活動内容	<p>○子どもの防犯意識高揚のためオリジナル防犯テキスト(小中学生用)の作成配布</p> <p>○学校の安全対策として、防犯機器の寄贈、防犯器具の考案及び寄贈</p> <p>○防犯意識高揚のための防犯ポスター・防犯カレンダーの作成支援</p> <p>○防犯教室、防犯訓練の共同開催、通学路防犯パトロール</p> <p>○防犯テレビ番組の作成並びに放映</p>		
PRしたいこと	<p>○子ども達を犯罪から守るためには、子ども達 に対する防犯教育を徹底すると共に、子ども 達が自ら「自分の身体は、自分で守る」ことが 最も大切であると考え、「イカのおすしと5つの約束」の普及に努めている。</p>		
他団体との連携が可能なこと・したいこと	○子ども達を守る各種地域ボランティア団体等との連携・協力		
困っていること			
会員募集(募集の場合は○、しない場合は×)		条件等	
ボランティア募集(募集の場合は○、しない場合は×)		条件等	



(ふりがな) 団体名	かんきょう たいけん 特定非営利活動法人 環境わくわく体験スクール		
認証年月日	平成24年 4月 5日		
(ふりがな) 代表者氏名	ゆざわ まりこ 湯澤 眞理子		
主な事務所の所在地	〒395-0151 飯田市 北方 2645番地15 携帯：080-1174-3791		
主な活動分野	おやこ環境わくわく体験学習&一般向け環境・子育て講演		
活動内容	<p>(1) 楽しい環境科学実験・工作などの体験活動や自然や生き物観察(下記の講座等)を通して、自然エネルギー・エコ活動・持続可能な生き方を考える。</p> <p>①燃料電池を作ろう ②風力発電とミニ扇風機作り ③ソーラーカー作りとソーラークッカーで調理 ④静電気・フランクリンモーター実験 ⑤紫外線で色が変わるスライム作り&紫外線発色ビーズでストラップ作り ⑥果物電池時計 ⑦和紙で作る良く上る六角凧づくり ⑧草木で紙漉き・染物 ⑨LEDで光ファイバーイルミネーション作り ⑩廃油キャンドルとクリアキャンドル作り ⑪廃油石鹸づくりと大きなシャボン玉作り ⑫地球46億年の歴史と化石のレプリカ作り ⑬葉脈標本作りと森林の働き ⑭色々な発電比較実験(燃料電池・火力発電・水力発電・温度差発電・フランクリンモーター・バケツ電池・お茶電池・墨電池・果物電池・風力発電・圧力発電・スライム電池・花力発電他) ⑮エコワットで調べる省エネ家電 ⑯星座観察会 ⑰植物や昆虫の観察 ⑱ペットボトルロケット作り ⑲再利用品で作るリユース笛&竹で作るウグイス笛 ⑳美味しい水と水質検査 ㉑電池のいらぬラジオ作り ㉒放射線測定と霧箱で放射線を見よう ㉓色水手品と酸性雨と緑の焼きそば ㉔ペットボトルで掃除機作り ㉕ エネルギーカードゲーム・環境カルタ ㉖ 夜間表示版づくり ㉗ 液体窒素の超低温実験とリニアモーター ㉘ 二酸化炭素による温暖化実験・雲の発生実験とサイダー作り ㉙ 二酸化炭素の性質を知るわくわく実験 ㉚ ダイオキシシンと塩化ビニール ㉛ 虫型ロボット作り ㉜ 牛乳パックで、箱カメラ作り ㉝ 牛乳パックで、おしゃべり貯金箱づくり ㉞ 共振振り子とイラキラモビール作り ㉟ ベっこう飴作り・エコクッキングと食品添加物 ㊱ 糸で洗剤のいらぬいたわし編み ㊲ 間伐材でマイ箸作り ㊳ CDイリュージョンゴマ ㊴ 綿あめ器 ㊵ オートアニメーション ㊶ 廃油コンロ&ストーブ 他多数開発中</p> <p>(2) 講演テーマ：環境先進国デンマーク ・子どもの発達と教育の在り方 ・地球温暖化の現状と環境・桐林リサイクルセンターと3R・IPCCリポート報告 他</p>		
PRしたいこと	<p>☆桐林リサイクルセンターにて、月2回程度、日曜日に親子環境わくわく講座を行っています。環境のことを楽しく体験しながら、親子のステキなふれあいの一時にもなり、好評をいただいています。詳細はチラシや「週刊いいだ」等でご確認下さい。先着順ですのお早めにお申込み下さい。出前講座(公民館行事・親子レク・理科授業・保育等)については、ご相談下さい。</p> <p><連絡先> 桐林リサイクルセンター TEL：0265-26-1050 FAX：0265-26-1052</p> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 5px; width: fit-content; margin-left: auto; margin-right: auto;"> <p>☆国連では温暖化の熱暴走を止めるためには今世紀末までに温室効果ガス排出量ゼロにと提言。子孫の未来を守るために共に本気で取り組みたい!</p> </div>		
他団体との連携	・飯田市環境アドバイザー会議 ・長野県地球温暖化防止推進委員会 ・環境省		
困っていること	・経費面		
会員募集	○	条件等	特技や関心を生かして、講師としてご活躍いただきたい。
ボランティア募集	○	条件等	どなたでも、大歓迎です!

(ふりがな)	トクテイヒエイリカツドウホクジン セナダ フォウセイホーム ヒナタボッコ		
団体名称	特定非営利活動法人 ひなた 共生ホーム ひなたぼっこ		
認証年月日	H25年7月8日		
(ふりがな)	もりもとまゆみ		
代表者氏名	森本 真由美		
主な事務所の所在地	飯田市 鼎名古熊 1711		
ホームページ	_____		
主な活動分野	介護保険事業 自主事業 (ニーズにできる限りこなしていく)		
活動内容	<p>宅老所の良さを生かし、制度にのりながら自由さも生かして活動しています。</p> <p>介護保険事業を中心に、ニーズによって泊まり関連、食事関連なども行っています。又、外出の機会も作りながら楽しんでいます。何ヶ月に1回、位の割合で(日)利用日外を使ってイベントも行っています。</p> <p>それぞれの方の体調を見、話もしっかり聞きながら、ご本人の様子にあわせて、サービスを行っています。</p>		
PRしたいこと	<p>"誰でも気軽に集える" そんな場所を日々めざしています。"できることは やってもらう、できづらいことは 手助けする" お互い様をモットーに毎日 賑やかに過ごしています。</p> <p>介護するとかさされるとか、そんなことではなく 楽しく笑い、時には一緒に涙しながら その日と一緒に過ごす仲間として寄り添います。小規模だからこそできること、ひなたぼっこだからできることを大切にしていきたいと考えています。</p>		
他団体との連携が可能なこと・したいこと	<p>今後ますます地域が連携をとりていなくてはならない。そのため、近隣の事業所で お互いに声をかけあい、この地域のニーズを拾いあげたり、話し合う機会をますます持ちたい。(ブロック内ももう少し狭い範囲)</p> <p>お互いの事業所の交流 → だんだん広い範囲との交流</p>		
困っていること			
会員募集(募集の場合は○、しない場合は×)	現在は× 考えていると○	条件等	
ボランティア募集(募集の場合は○、しない場合は×)	○	条件等	利用者中心で考えてくださること。

(ふりがな)	とくていひえいりかつどうほうじん ひよりこうせいかい		
団体名称	特定非営利活動法人 日和向晴会		
認証年月日	平成26年5月21日		
(ふりがな)	おかだ ちずこ		
代表者氏名	岡田 千寿子		
主な事務所の所在地	飯田市 座光寺1419-1		
ホームページ	現在製作中 (http://www.hiyorikoseikai.org)		
主な活動分野	障害福祉全般		
活動内容	<p>1.保険、医療または福祉の増進を図る活動 2.学術、文化、芸術又はスポーツの振興を図る活動 3.社会教育の推進を図る活動 4.子供の健全育成を図る活動 5.職業能力の開発又は雇用機会の拡充を支援する活動</p> 		
PRしたいこと	<p>様々な体験を積み重ねていながら、自分の持てる力を、自分の持てる力を存分に発揮し、家族や仲間たちとともに、ひとりひとりが「生きる底力」を身につけ「自分色」で輝いていくことができるよう、多角的に支援していきます。また、ひとりひとりの思いを汲み取り、それに寄り添い既存の事業の他に、それに答えることのできる新しい事業を作り出していき、専門技術の向上や、より良い福祉の実現に向かって、柔軟な事業展開を行っていきます。</p> 		
他団体との連携が可能なこと・したいこと	<ul style="list-style-type: none"> ・地域との交流- ・地元民間企業との連携- ・情報発信基地として学習・交流の場- 		
困っていること			
会員募集(募集の場合は○、しない場合は×)	○	条件等	特になし
ボランティア募集(募集の場合は○、しない場合は×)	○	条件等	特になし

(ふりがな)	とくていひえいりかつどうほうじん かわじぐりーんかるチャー		
団体名称	特定非営利活動法人 川路グリーンカルチャー		
認証年月日	23 年 3 月 30 日		
(ふりがな)	せきやとうきち		
代表者氏名	関谷藤吉		
主な事務所の所在地	飯田市川路4880-2		
ホームページ			
主な活動分野	除草、除伐による景観形成、環境保全事業		
活動内容	<p>高齢者世帯、独居住まい、農家、企業、公共団体など皆様のお手伝いを請負、環境保全を通し、豊で美しい地域づくりに貢献いたします。</p> 		
PRしたいこと	<p>草刈り、竹林の伐採、果樹などを含む樹木の伐採処理、トヨの掃除その他何でもご相談ください。</p> 		
他団体との連携が可能なこと・したいこと	農業をはじめとする地域産業を支援する事業		
困っていること			
会員募集(募集の場合は○、しない場合は×)	○	条件等	川路地籍に住所を置き、当組織に賛同しボランティア精神を持って参加できる方
ボランティア募集(募集の場合は○、しない場合は×)	×	条件等	

(ふりがな)	みどりのそよかぜ		
団体名称	特定非営利活動法人緑のそよ風		
認証年月日	H27年 7月 21日		
(ふりがな)	はやし そうきち		
代表者氏名	林 宗吉		
主な事務所の所在地	飯田市龍江4299番地イ		
ホームページ	地域コミュニティサイト「南信州ぽおたる」使用		
主な活動分野	福祉		
活動内容	<p>保育園、福祉施設等でマリンバを演奏しました。またマリンバ演奏をしたい人に演奏方法を教えました。平成27年1月4日(川路Dサービス)以降12月18日(明星学園)現在まで51回の訪問を実施しました。特定非営利活動法人設立以降であれば23回の訪問を実施したことになります。大半の活動は大型木琴であるマリンバを演奏会場まで運搬・搬入・組立し、30分～60分の演奏をして後、解体・搬出・運搬という工程の繰り返しです。曲目は春夏秋冬の季節に応じて或いは年齢に応じて選択している。右は保育園児のマリンバ体験。</p> 		
PRしたいこと	<p>マリンバ演奏では通常マイク・スピーカーを使わないで木(音盤であるローズウッドのこと)の音を直接聴いていただいています。木の音は癒しの音でありこれらにより演奏者と聴き手との間でのふれあいを深めることが出来るものと考えます。飯田下伊那地方は松本諏訪地方に比べて極端にマリンバ人口が少ないので、これを松本諏訪地方並みに増やしたいと思います。猫もマリンバが好き。</p> 		
他団体との連携が可能なこと・したいこと	なし		
困っていること	大型楽器であり運搬・移動に悩んでおります。		
会員募集(募集の場合は○、しない場合は×)	○	条件等	年会費1000円
ボランティア募集(募集の場合は○、しない場合は×)	○	条件等	なし

(ふりがな)	NPOホウジン イイダブルーベリーシンコウカイ		
団体名称	NPO法人 飯田ブルーベリー振興会		
認証年月日	2015年10月27日		
(ふりがな)	しみず ミノル		
代表者氏名	清水 實		
主な事務所の所在地	飯田市川路1843番地1		
ホームページ	「飯田ブルーベリー振興会」で「検索」		
主な活動分野	科学技術の振興を図る活動 経済活動の活性化を図る活動		
活動内容	<p>ブルーベリーの栽培等に関する調査、研究を行い。その報告会と講習会を行うことで、ブルーベリー文化と産業の振興を図る。</p> 		
PRしたいこと	<p>ブルーベリー栽培体験教室を月1回年12回開催しています。自然と向き合う心地良さ、農の楽しさ、ブルーベリーの魅力を体験していただきたいと思います。どなたでも参加できます。希望者は電話080-5109-3652までご連絡ください。 特典として、果実の収穫1kg、苗2本の配布があります。</p>		
他団体との連携が可能なこと・したいこと	ブルーベリーに関する事であれば可能です。		
困っていること	なし		
会員募集(募集の場合は○、しない場合は×)	○	条件等	正会員入会金¥2,000年会費¥2,000(賛助会員入会金は¥1,000)
ボランティア募集(募集の場合は○、しない場合は×)	×	条件等	

一人ひとりが手を合わせることによって、多様な主体の協働の輪が広がります。



ムトス飯田ロゴマーク



～「ムトス」は 地域づくりの合言葉～

ムトス飯田

多様な主体の協働によるまちづくり



ムトス飯田

飯田の語源とも言われる「魁い」は、「多くの人の協力と役割分担により一つの事を成し遂げる仕組み」であり「協働」です。その前提には一人ひとりの「自立」が欠かせません。飯田のまちづくりの底流には、この長い歴史が息づいています。

●ムトスとは

「ムトス」とは、古語の言天原の言葉「ムトス」を引用したもので、「しよようとする」という意味であり、行動への意志や意欲を表す言葉です。

飯田市は昭和57年「10万都市構想」において理想とする都市像の実現に向けての行動理念として「ムトス」を使用しました。平成19年4月1日施行の飯田市自治基本条例にもムトスの精神について語られています。「ムトス」を地域づくりの合言葉に、私たち一人ひとりが持つ「燃える地域を想い、自分ができることからやってみよう」という自発的な意志や意欲により、具体的な行動で地域づくりをしていくことをめざします。

■ムトス飯田表彰事業

「ムトス飯田の精神を広めるために」という寄付を契機に、昭和60年度に創設されました。毎年、飯田の将来に向けて宗義的で主張ある活動をしている団体・個人を表彰しています。

■ムトス飯田助成事業

ムトス飯田推進委員会は、飯田市の交付金を財源に、団体や個人による社会的で波及効果のあるまちづくり活動に対して、助成をしています。

■ムトス飯田交流会・学習会

市民協働や相互連携を楽しくすることを目的に、毎年、多くの市民や団体等に呼びかけ、実践事例や課題などを語り合う交流会（または学習会）を開催しています。

■一般社団法人 ムトス飯田市民ファンド

市内の特定非営利活動法人を対象に300万円まで「無利子の融資（貸付）」をしています。

ムトス飯田推進委員会

〒395-8501 飯田市大久保町 2534 飯田市役所内 電話 0265 22 4511

ムトス飯田30周年記念 2015.2.4作成

ムトスの心で地域に活動の輪を広げよう！市民協働を推進します